対馬市文化財整備報告書第３集

清 水 山 城 跡

清水山城跡保存整備事業報告書

２０１８

対馬市教育委員会

対馬市文化財整備報告書第３集

清 水 山 城 跡

清水山城跡保存整備事業報告書

２０１８

対馬市教育委員会

巻頭写真１　清水山城跡全景（写真左が一ノ丸）

巻頭写真２　清水山城跡一ノ丸（南東から）

巻頭写真 3　清水山城跡二ノ丸（南東から）

巻頭写真 4　清水山城跡三ノ丸（南東から）

序　　文

清水山城跡の整備をはじめてから、20年が経過しました。

この間、わずかずつではありますが、往時の姿に近づけるように努めて参りました。

崩壊や変形が目立っていた城壁石垣に修理の手を加え、園路を舗装し、案内板や説明板を設置しました。

また、城の全体を覆っていた樹木を伐採し、一ノ丸、二ノ丸、三ノ丸のそれぞれが港や町の通りから眺められるようにしました。

修理や整備について残された課題はまだまだありますが、この度、一区切りとしてこれまでの整備事業をまとめた報告書を刊行する運びとなりました。

整備開始から今日まで、多くの労力と時間が、この清水山城跡に注がれてきました。

文化財は、私たちの郷土の社会的背景や変遷を明らかにし、成り立ちを知るための貴重な手掛かりです。その土地に暮らす私たち自身と私たちの祖先の姿を詳(つまび)らかにし、私たち自身を知るための重要な鍵です。

私たちは、この文化財を永く後世に引き継いでいく責任を負っています。

そのために労力や時間を注ぐことは、ごく当然のことと言えるでしょう。

今後も対馬市として、郷土を知り、深く親愛の情を抱き、誇りの醸成に繋(つな)がる貴重な財産として、この清水山城跡を守り伝えていく所存です。

この報告書が、対馬の貴重な財産を受け継いでいくための資料となれば幸いです。

平成30年３月31日

対馬市教育委員会
教育長　永　留　和　博

例　　言

1　本書は国宝重要文化財等保存整備事業補助金を受けて平成９年度から平成16年度まで実施した史跡「清水山城跡ほか」史跡等・登録記念物保存修理事業及び平成17年度から平成19年度まで実施した史跡「清水山城跡」史跡等・登録記念物保存修理事業、平成20年度から平成26年度まで実施した史跡「清水山城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業、平成27年度から平成29年度まで実施した史跡「清水山城跡」歴史活き活き史跡等総合活用整備事業及び関連事業の報告書である。

2　本書は対馬市教育委員会文化財課副参事兼係長　尾上博一が執筆、編集した。

3　本書に掲載した航空写真（巻頭カラー）は、株式会社埋蔵文化財サポートシステムに委託し、平成28年８月２日に撮影したものである。

4　本書に掲載した各年度の工事写真は、それぞれの受注者が撮影したものである。

5　上記以外の写真は尾上及び教育委員会職員が撮影したものである。

6　本書関係の図面及び写真は対馬市教育委員会文化財課が保存し管理している。

凡　　例

1　挿図の方位は国土調査法による第Ⅰ座標系を基準とした。磁針方位は約６°40′西偏する。

2　図１は国土地理院平成18年４月１日発行１/3,000,000「日本とその周辺」を使用して作成した。

3　図２は対馬市平成16年３月印刷1100,000「対馬市管内図」を使用して作成した。

4　図３は対馬市平成21年５月測図１/2,500「厳原都市計画基本図№２・№３」を使用して作成した。

5　写真図版の縮尺は任意・不統一である。

目　　次

第１章　本書概要……1
　第１節　掲載内容……1
　第２節　本書構成……1
第２章　史跡概要……3
　第１節　構成要素……3
第３章　事業解説……6
　第１節　事業経緯……6
　第２節　事業体制……9
　　第１項　事務局……9
　　第２項　指導機関……10
　　第３項　整備委員会……10
　第３節　整備基本計画……11
　第４節　実施年次計画……16
　第５節　整備委員会概要……17
　第６節　事業内容……21
　　第１項　平成６年度……23
　　第２項　平成７年度……23
　　第３項　平成８年度……23
　　第４項　平成10年度……24
　　第５項　平成11年度……25
　　第６項　平成12年度……25
　　第７項　平成13年度……26
　　第８項　平成14年度……27
　　第９項　平成15年度……28
　　第10項　平成16年度……29
　　第11項　平成17年度……29
　　第12項　平成18年度……30
　　第13項　平成19年度……31
　　第14項　平成24年度……31
　　第15項　平成25年度……32
　　第16項　平成26年度……33
　　第17項　平成27年度……34
　　第18項　平成28年度……35
　　第19項　平成29年度……36
　第７節　関連事業……92
　　第１項　土地購入……92
　　第２項　案内板……94
第４章　まとめ……95
　第１節　成果と課題……95
　　第１項　目標の概括……95
　　第２項　成果……96
　　第３項　課題……96
　第２節　展望……97

挿図目次

図１　対馬位置図……2
図２　清水山城跡位置図……2
図３　清水山城跡及び周辺遺跡位置図……2
図４　清水山城跡指定地範囲図……5
図５　平成６年度測量図……38
図６　平成７年度測量図……39
図７　平成８年度整備工事設計図１……40
図８　平成８年度整備工事設計図２……41
図９　平成11年度整備工事設計図１……42
図10　平成11年度整備工事設計図２……43
図11　平成11年度整備工事設計図３……44
図12　平成11年度整備工事設計図４……45
図13　平成11年度整備工事設計図５……46
図14　平成12年度整備工事設計図１……47
図15　平成12年度整備工事設計図２……48
図16　平成12年度整備工事設計図３……49
図17　平成13年度整備工事設計図１……50
図18　平成13年度整備工事設計図２……51
図19　平成13年度整備工事設計図３……52
図20　平成13年度整備工事設計図４……53
図21　平成13年度整備工事設計図５……54
図22　平成14年度整備工事設計図１……55

図23　平成14年度整備工事設計図２……56
図24　平成14年度整備工事設計図３……57
図25　平成15年度整備工事設計図１……58
図26　平成15年度整備工事設計図２……59
図27　平成15年度整備工事設計図３……60
図28　平成16年度整備工事設計図１……61
図29　平成16年度整備工事設計図２……62
図30　平成16年度整備工事設計図３……63
図31　平成16年度整備工事設計図４……64
図32　平成17年度整備工事設計図１……65
図33　平成17年度整備工事設計図２……66
図34　平成17年度整備工事設計図３……67
図35　平成17年度整備工事設計図４……68
図36　平成18年度整備工事設計図１……69
図37　平成18年度整備工事設計図２……70
図38　平成24年度整備工事設計図１……71
図39　平成24年度整備工事設計図２……72
図40　平成24年度整備工事設計図３……73
図41　平成25年度整備工事設計図１……74
図42　平成25年度整備工事設計図２……75
図43　平成25年度整備工事設計図３……76
図44　平成25年度整備工事設計図４……77
図45　平成25年度整備工事設計図５……78
図46　平成26年度整備工事設計図１……79
図47　平成26年度整備工事設計図２……80
図48　平成26年度整備工事設計図３……81
図49　平成26年度整備工事設計図４……82
図50　平成26年度整備工事設計図５……83
図51　平成27年度整備工事設計図１……84
図52　平成27年度整備工事設計図２……85
図53　平成28年度整備工事設計図１……86
図54　平成28年度整備工事設計図２……87
図55　平成28年度整備工事設計図３……88
図56　平成28年度整備工事設計図４……89
図57　平成29年度整備工事設計図１……90
図58　平成29年度整備工事設計図２……91
図59　購入林班図……92

表　目　次

表１　清水山城跡整備事業実施年次計画表……16
表２　清水山城跡整備事業年度別事業費一覧……21
表３　清水山城跡整備事業年度別事業名称等一覧……22
表４　清水山城跡指定地購入地番一覧……92
表５　清水山城跡指定地購入林班一覧……92
表６　清水山城址土地購入事業収支精算表……93
表７　清水山城址土地購入事業支出内訳明細表……93
表８　昭和61年度厳原町文化財説明板設置工事箇所一覧表……94

写真図版目次

写真図版１　写真１～８　平成６年度・平成７年度整備工事 ……100
写真図版２～３　写真９～24　平成８年度整備工事 ……101
写真図版４～６　写真25～48　平成11年度整備工事 ……103
写真図版７～８　写真49～64　平成12年度整備工事 ……106
写真図版９～11　写真65～88　平成13年度整備工事 ……108

写真図版12　写真89～96　平成14年度整備工事 ……111
写真図版13　写真97～104　平成15年度整備工事……112
写真図版14～15　写真105～120　平成16年度整備工事 ……113
写真図版16　写真121～128　平成17年度整備工事 ……115
写真図版17　写真129～136　平成18年度整備工事 ……116
写真図版18～21　写真137～168　平成24年度整備工事 ……117
写真図版22～23　写真169～184　平成25年度整備工事 ……121
写真図版24～26　写真185～208　平成26年度整備工事 ……123
写真図版27～29　写真209～232　平成27年度整備工事 ……126
写真図版30～32　写真233～256　平成28年度整備工事 ……129
写真図版33～34　写真257～272　平成29年度整備工事 ……132
写真図版35　写真273～280　清水山城跡現況 ……134

第１章　本書概要

第１節　掲載内容

本書は平成９年度から平成29年度まで実施した、史跡清水山城跡（しみずやまじょうあと）の整備事業内容をまとめた報告書である。国庫補助金を受けて実施した整備事業を主に、関連する事業についても報告する。なお、本事業は隣接する金石城跡と対馬藩主宗家墓所を合わせた３史跡を一体のものとして捉え、対象にした。金石城跡の範囲確認調査と保存整備工事、整備事業の報告書並びにその他金石城跡に関係する報告書は、巻末に載せた引用・参考文献の中に記しているので参照されたい。対馬藩主宗家墓所の整備事業に関わる報告書類も巻末の引用・参考文献に記している。

第２節　本書構成

本書は以下の章立てで構成されている。

まず第２章で史跡の概要を述べる。第１節では清水山城跡を構成する要素について解説した。この節では各構成要素について基本情報を記載する。

第３章では本事業について解説する。第１節では現在までの経緯を振り返り、画期となった計画や事業を一覧する。土地の公有化を巡る動きも概説する。第２節では本事業に当たった体制について明示する。第１項で事務局、第２項で指導機関、第３項で整備委員会について記載する。第３節では本事業を実行する基本となった、平成８年３月策定の整備基本計画について引用し掲載する。事業はこの整備基本計画に謳（うた）った方針と計画に基づいて進められてきた。第４節では、第３節の整備基本計画と対比して、事業で実際に行ってきた事柄を年度ごとにまとめる。第５節では整備委員会の協議概要を載せる。本事業の年度ごとの具体的な実施方針や計画、工法などは、この整備委員会で協議し決定してきた。第６節では、平成６年度から平成29年度までに実施した工事や業務の内容を、第１項から第19項までにまとめる。整備に係る工事の詳細については、項ごとに添付した設計図にて記述に代える。第７節では、清水山城跡及び本事業に関係の深い事業について紹介する。

第４章では本事業について統括する。第１節において成果と課題についてまとめた。第１項で目標の概括を、第２項で成果、第３項で課題について述べる。第２節では本事業を踏まえた、清水山城跡や史跡整備、対馬市における文化財行政の展望について述べる。

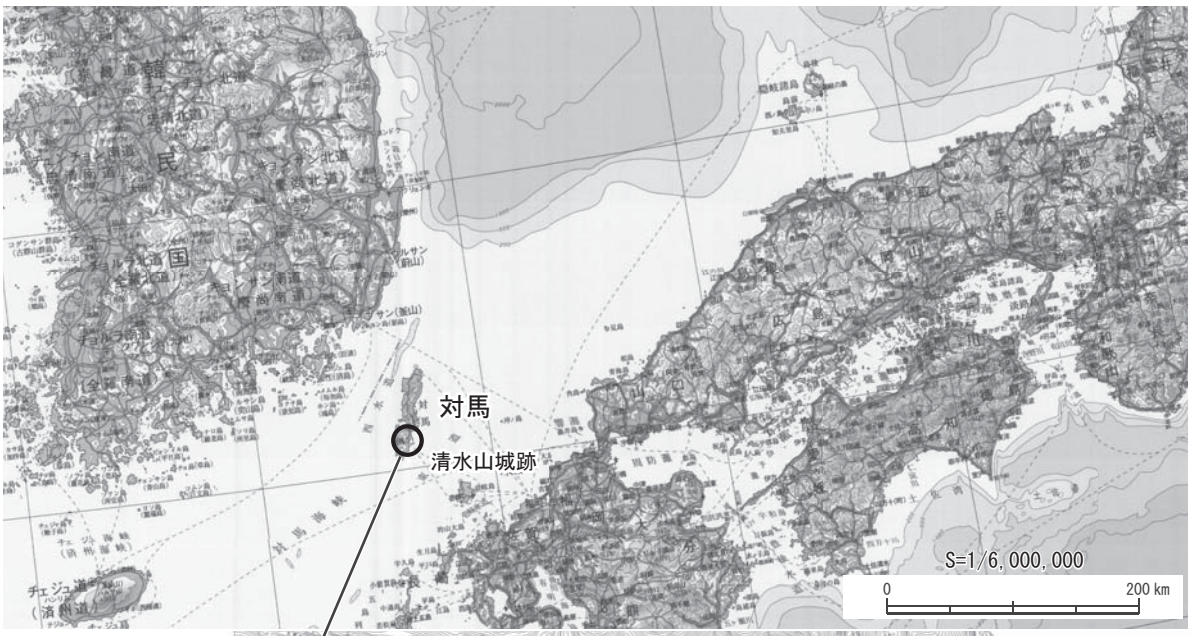


図１　対馬位置図

図２　清水山城跡位置図

図３　清水山城跡及び周辺遺跡位置図

第２章　史跡概要

第１節　構成要素

１　清水山城跡（周知の埋蔵文化財包蔵地）

①　種　　別　城館跡

②　名　　称　清水山城跡

③　時　　代　近世

④　所 在 地　対馬市厳原町西里字白川85－２、字清水山下142－２、字金石180－６・180－７

⑤　現　　状　山林

⑥　所 有 者　対馬市

２　清水山城跡（史跡）

①　種　　別　史跡　二

②　名　　称　清水山城跡

③　指 定 日　史跡指定　昭和59（1984）年12月６日　文部省告示第140号

④　指 定 地　対馬市厳原町西里字白川85－２、字清水山下142－２、字金石180－６・180－７

⑤　指定面積　87,200㎡

⑥　所 有 者　対馬市

３　史跡の環境

（１）史跡の地理的環境

清水山城跡がある対馬は、日本海と東シナ海の境界に位置する九州最北の島で、北西に朝鮮半島を望む。長崎県内には約600の島があるが、最大の面積を誇る。東の対馬海峡東水道（対馬海峡）と西の対馬海峡西水道（朝鮮海峡）に挟まれ、対馬暖流とリマン海流の影響を受けている。

清水山城跡は対馬市の最南に位置する厳原町に所在する。近隣への距離は、東岸の安神から隣島の壱岐まで約46㎞、小浦から福岡県の沖の島までも同じく約46㎞である。名護屋城跡がある佐賀県唐津市の東松浦半島までは町南端の豆酘から約83㎞を測る。一方西岸の阿連から韓国の巨済島まで約70㎞である。史跡所在地の西里は、厳原町の東岸で南東に開いた厳原港の西方に位置する。厳原港の北側には東西を山に挟まれた平野が細長く広がる。この狭隘な平野の西側に西里、東側に東里がある。西里の背後には南から北へ連なる宝満山、鶴翼山、清水山、成相山が聳え、さらに西方には558.2mの有明山が控える。史跡が造られた清水山は有明山の支脈の一つである。標高208mで、南東へ尾根が延びる。頂上からは南東方向に厳原港全体を俯瞰できるとともに、東里の山々と平野北部、そして西里一帯を一望することが可能である。

（２）史跡の歴史的環境

文禄元（1592）年に開戦し、停戦期間後の慶長２（1597）年に戦闘を再開、翌年に撤退した、豊臣秀吉が明への侵攻を企図して李氏朝鮮に対し朝鮮半島で起こした戦を文禄・慶長の役と呼ぶ。この対外戦争で出兵の拠点とすべく築いた本営が、現在の佐賀県唐津市にある名護屋城である。秀吉が「唐入り」と称したこの文禄・慶長の役で、名護屋城のほかに設置した兵站基地、軍事拠点に壱岐市勝本町に所在する勝本城があるが、対馬においては清水山城跡と上対馬町大浦に所在する撃方山城跡が

同種の城砦に比定されている。

清水山城跡は、文禄元年の開戦にあたり、豊臣秀吉が本営とした肥前名護屋城から海を渡った後の中継地として、壱岐の勝本城とともに築いたと考えられる。ルイス・フロイスは著書『日本史』の中で、秀吉は壱岐と対馬に「屋敷と宿舎、食糧用貯蔵庫」を設けたと記している。記述にある施設が清水山城跡に相当するのだろうが、縄張りや構造を見る限り、いわゆる御座所の役割は金石城に担わせていたと考える。勝本城については、天正19（1591）年９月３日付けの朱印状が秀吉から松浦鎮信に出され、築城が命じられたことが分かっている。一方、清水山城については秀吉の築城指令を記す史料は確認されていない。しかし、この城が秀吉の命により築かれたという所伝は、対馬では古くからあったらしく、陶山訥庵が元禄12（1699）年に成した『津島紀略』巻之二、山川下、有明峯条には、秀吉が肥前、壱岐、対馬の３箇所に駅城として名護屋城とともに築かれたと説明されている。また、藤定房による享保８（1723）年成立の『対州編年略』にも同じ内容が書かれており、文化６（1809）年に編纂された平山東山による『津島紀事』では、秀吉の命により毛利高政が築城したと書かれている。築城者についてはこの説が長く流布してきたが、現在では20世紀初頭に池内宏が出した、宗義智が主力になり、相良長毎、高橋直次、筑紫廣門らが加勢したとする説が有力である。

（３）史跡の構造

城は一ノ丸、二ノ丸、三ノ丸と呼ばれる三つの曲輪からなり、延長は約500m である。標高208m の山頂部から南東の標高95m までの高低差のある地形に位置する。各曲輪は尾根筋の平坦部に石垣を築いて造られており、尾根沿いの石塁でつながっている。尾根は岩盤が露出した狭隘な地形のため、曲輪をつなぐ石塁も10～15m の狭い幅で囲われた回廊状になっている。

一ノ丸は清水山の頂上部を石垣で楕円形に囲って造られた曲輪である。平入り虎口が南東側と北西側の２箇所に設けられている。南東側の虎口は外と内の２列の石垣に１箇所ずつ二門が開くが、食い違いに配置され直線上には並ばない。一方、北西側の平入り虎口は、二の丸に続く南東側とは異なり、幅の広い石段が設けられている。この２箇所の平入り虎口周辺は、扁平で小さめの石を積み上げており、他の曲輪を形作る石垣とは明らかに様相が異なる。二ノ丸は一ノ丸と三ノ丸の間にあり、標高160m 前後の平坦部に不整な長方形の曲輪を形作る。曲面を持たず、鋭角と直角に近い鈍角で構成される。直線的な曲輪の塁線や枡形虎口は、織豊系城郭の様相をよく表している。三ノ丸は城の東端に位置する曲輪で、標高95～105m の敷地両肩部に石垣を築き、尾根に沿って細長い形状を呈する。曲輪の石垣は直線で構成され曲面は見られないが、長辺が10～20m 間隔で緩やかに折れて繋がっているため、一見すると長楕円形を呈する。南端から下には、等高線に直交する竪堀がある。

朝鮮半島に築かれた倭城には、退路の確保などを目的に、港湾から城までを囲う登り石垣と呼ばれる構造があるが、清水山城跡の石塁をつないで囲った曲輪は、内部の防御機能向上を意識した結果であろうか。

４　関連報告書

①　池内　宏1914『文禄慶長の役正編第壱』歴史調査報告第参　南満州鉄道株式会社

②　長　節子1985「（五）勝本城・清水山城」『文禄・慶長の役城跡図録解説篇』佐賀県文化財調査報告書第81集　特別史跡名護屋城跡並び陣跡３　佐賀県教育委員会

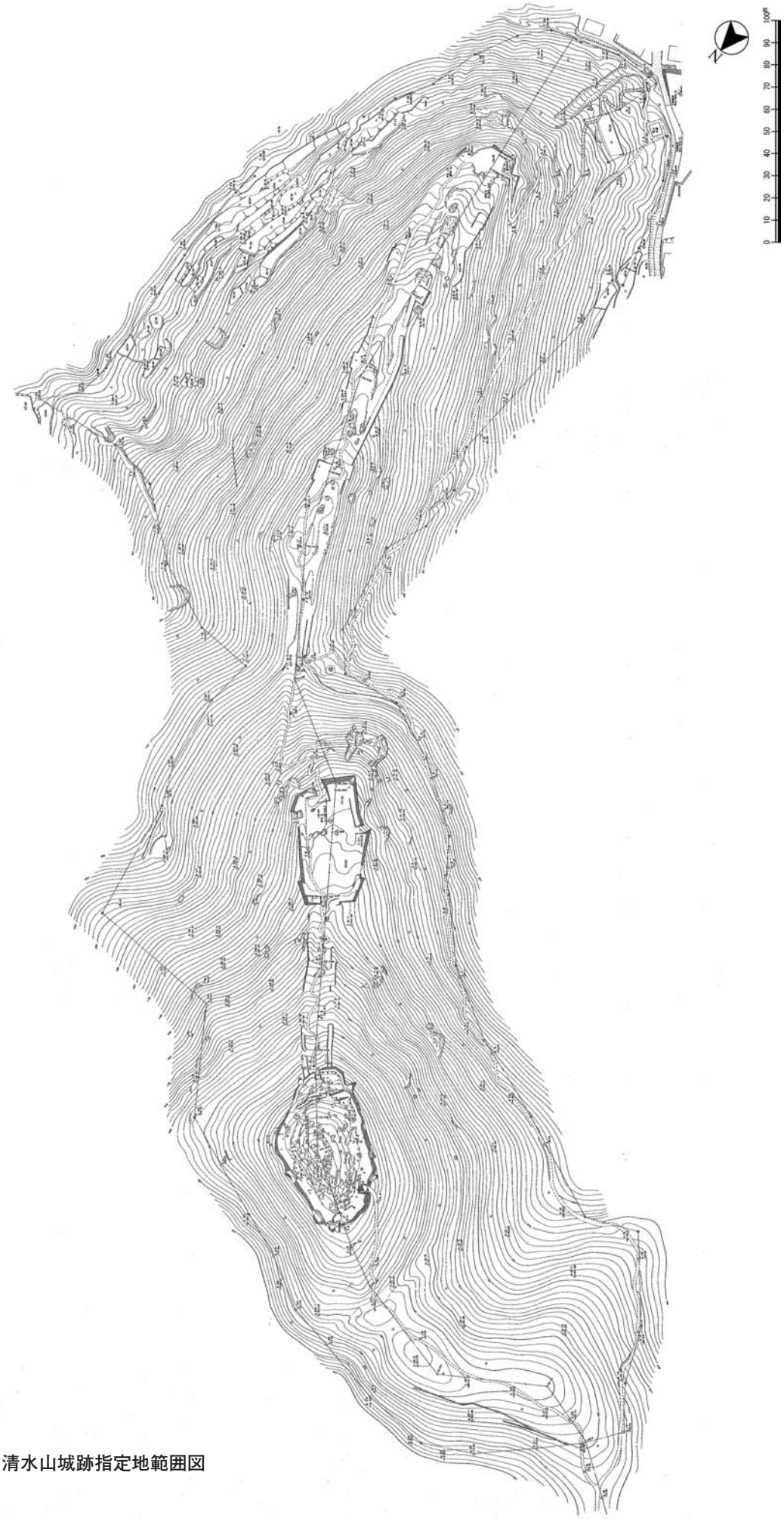


図 4　清水山城跡指定地範囲図

第３章　事業解説

第１節　事業経緯

清水山城跡の整備事業は、金石城跡、対馬藩主宗家墓所と一体的に実施してきた。その経緯や背景、計画の詳細は、平成21、22、27、28年度に発行した、金石城跡保存整備事業における範囲確認調査報告書、保存整備工事報告書、保存整備事業報告書に記載した。既刊４冊を参照されたい。ここでは既刊の記載と重複する部分もあるが、清水山城跡の整備事業に関わる事務手続きや事案のほか、画期となった計画、関連事業を一覧にまとめる。なお、清水山城跡は国有林を厳原町が公有化し、国から史跡指定を受けてから、単独で最初の整備を実施している。そこで、前段では、まずこの経緯について記す。

金石城跡の整備事業と同じく、本事業の実施方針と計画は、平成８年３月に策定された史跡対馬藩主宗家墓所等保存整備基本計画書に謳われている。計画書は平成５年度に発足した対馬藩主宗家墓所等保存整備委員会での協議を経て策定された。基本計画に基づいて平成９年度から開始した史跡整備事業だが、当初は史跡「清水山城跡ほか」史跡等・登録記念物保存修理事業として清水山城跡と対馬藩主宗家墓所、金石城跡の３史跡を一括して対象としていた。その後、平成20年度に３史跡の整備は独立した個別の事業に再編され、新たに史跡「清水山城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業と称して事業を進めていくことになった。補助金交付要綱の改正に伴い、平成27年度からは史跡「清水山城跡」歴史活き活き史跡等総合活用整備事業の名称に変更となり、事業を行っている。

１　清水山城跡の史跡指定と公有化

昭和49年６月21日	県教育長あて指定申請
７月４日	対馬営林署に指定希望申し入れ
10月14日	対馬営林署へ指定協力陳情
昭和55年１月30日	県から進捗状況の照会
１月31日	県の照会について対馬営林署に問い合わせ。県と町の照会を踏まえ今後の処理について協議する旨の回答を受ける
２月18日	文化財指定に関する調査報告について照会あり
昭和57年11月27日	文化財指定に関する調査報告について回答
12月17日	電話打合せ
昭和58年４月12日	対馬営林署へ電話連絡
４月18日	対馬営林署と打合せ
４月20日	現地調査及び打合せ
７月30日	国有林内史跡の国指定について協議
昭和59年４月11日	対馬営林署あて史跡現況写真送付
８月25日	国有財産（土地）買い受け申し込み書提出
９月12日	国指定申請書提出
10月10日	国指定予定地の買い受けと境界確認覚書提出
12月６日	史跡指定

12月20日　　史跡指定決定を対馬営林署に報告
12月10日　　「清水山城跡」用地鑑定評価依頼
12月17日　　県教育長あて史跡整備計画提出
昭和60年１月15日　　不動産鑑定評価
２月27日　　不要存置国有林買受申請書提出
３月８日　　文化財用地売買契約締結伺い
３月13日　　不要存置国有林売り払い（対馬営林署）
３月23日　　用地取得費支払い
３月28日　　国有財産売買契約に伴う物件引き渡し
３月29日　　受領書収受
６月25日　　取得財産移管

2　清水山城跡保存整備事業に係る経緯

昭和59年12月20日　　国指定史跡整備立案
昭和60年１月７日　　県教育長あて整備計画提出
昭和63年10月31日　　文化財保護審議会において文化財ゾーン調査に係る協議
11月21日　　文化財ゾーン整備のための調査及び懇談会
昭和63年　　文化財ゾーン懇談会
平成元年４月　　整備計画及び問題点について協議

概要　(文化庁)清水山城跡は本土には見られない異色のイメージがある。山頂から山麓に向かって細長く直線に囲い込む韓国の倭城と特色が同じであり、清水山城跡は韓国に築くための実験的なものではないかと思う。樹木を刈り、低い石塁が見られるようにして、さらに、特色を明瞭にしてもらいたい。城の構図についての看板を設置してはどうか。金石城跡、対馬藩主宗家墓所、清水山城跡が連携した活用形態を考えていくべきである。清水山城跡に至る道が私道であることを排除しなければならない。登り口もはっきりさせる。清水山城跡の石垣保全を図るとともに、町からでも見えるようにすると迫力がある。対馬藩主宗家墓所から清水山城跡への連絡口をつくる。清水山城跡まで歩きやすくする。万松院と清水山城跡を繋ぐのが整備の決め手で、要が旧金石城庭園。清水山城跡一ノ丸に登って損はしない。苦労して登っても十分な価値がある。三ノ丸から一ノ丸までの間、ツツジ等があるが、その他の植物も積極的に植えて、観賞しつつ自然と一ノ丸にたどり着くような計画を立てて欲しい。登りやすい道や休憩所を整備してほしい。

６月27日　　周辺整備設計委託伺い
12月　　整備計画書完成
平成元年12月～同２年10月　　自ら考え自ら実践する地域づくり（ふるさと創生１億円）
平成２年４月　　県教育長あて三カ年整備計画書提出
８月12日　　設計委託契約締結
平成２年９月３～４日　　城下町厳原拠点整備事業町県協議

概要　（町）整備計画の考え方は、史跡保存を基本に、隣接して存在する史跡「清水山城跡」「金石城跡」「対馬藩主宗家墓所」を柱とした町の文化財ゾーンとして整備を図っていく。

11月　町振興計画計上

以下に引用するのは、「清水山城跡整備計画」と題された文書綴りに閉じられていた文書である。Ｂ４用紙に印刷した１枚の文書であるが、これが整備計画の抜粋なのか、原本のままなのかは不明である。例えば「一ノ丸」を「本丸」、「二ノ丸」を「二の丸」と表記するなど、現在の用語とは異なっているが、修正左図にそのまま掲載した。また、誤字と疑わしき表記もあるが、原文のまま記載した。

清水山城跡整備計画
（昭和59年12月６日国指定）

天正19年（1591）豊臣秀吉の朝鮮出兵に先だって築城した山城が清水山にある。馬背状を呈した稜線上に、山頂から本丸・二の丸・三の丸と地形に即して階段上に連なった中世風の山城である。昭和60年３月の史跡の土地買い上げに伴い、計画的な整備が必要である。

（１）遊歩道の整備

清水山城跡入口から、三の丸・二の丸・一の丸を経由して、下の道を通り入口に至る巡回路を整備して、公開の便を図りたい。また、二の丸から水の手に至る経路を整備したい。

（２）道標及び休憩施設の整備

現在、入口から三の丸・二の丸を経由して一の丸に至る道は、道標もなく樹木に覆われており、見学もしにくい状態である。したがって、道標を設置し、展望のきく三の丸・二の丸・一の丸に、それぞれ休憩用ベンチを設置したい。

（３）石垣の修復と雑木の伐採

山城の石垣遺構から樹木が茂り、成長にしたがって崩壊の危険がある。保存上及び景観上からも多大の支障がある樹木を伐採除去し、石垣の修復を図りたい。

平成３年12月20日　　清水山城周辺史跡整備計画作成遺跡の保存整備の基本方針を策定。

保存整備方針　①保存整備基本計画策定に必要な調査実施。②基本計画策定（保存方針の決定・活用計画の決定）。③事業計画決定。④整備事業の実施。

平成２～４年度　　地域づくり推進事業　城下町厳原拠点整備事業

自ら考え自ら行う地域づくり事業（１億円ふるさと創生事業）を継続発展させるための事業。地域総合整備事業債を適用。本町最大の財産である「自然」と「歴史」を活かした町づくりを行う。清水山城跡、対馬藩主宗家墓所を含めた城下町の史跡ゾーンの核とする。

平成３年３月　　第３次厳原町総合計画策定

平成４年度　　対馬藩主宗家墓所保存修理事業

平成５年度　　対馬藩主宗家墓所外保存修理事業

平成５年度　　対馬藩主宗家墓所等保存整備委員会発足

平成６年度	史跡清水山城跡ほか保存修理事業
平成７年３月	厳原町『夢づくり構想』対馬藩主宗家墓所等周辺整備事業
平成８年３月	史跡対馬藩主宗家墓所等保存整備基本計画書策定
平成９年度	史跡「清水山城跡ほか」史跡等・登録記念物保存修理事業
平成17年度	史跡「清水山城跡」史跡等・登録記念物保存修理事業
平成20年度	史跡「清水山城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
平成27年度	史跡「清水山城跡」歴史活き活き史跡等総合活用整備事業

第２節　事業体制

本事業に関わる組織についてまとめる。金石城跡保存整備事業に係る既刊掲載内容も参照されたい。敬称は略する。役職は所属における最終時のものである。なお、厳原町教育委員会は町教委、対馬市教育委員会は市教委、長崎県教育委員会は県教委と表記する。

第１項　事務局

１　執行部署及び構成員

厳原町教育委員会生涯学習課文化財係　平成５年度～平成16年２月28日

対馬市教育委員会厳原事務所生涯学習班　平成16年３月31日～平成18年４月30日

対馬市教育委員会文化財課　平成18年５月１日～

阿比留伴次　参事兼係長　平成18年５月１日～平成24年度

田中　淳也　副参事兼係長　平成18年５月１日～

田口　憲一　副参事兼係長　平成27年度～平成28年９月30日

尾上　博一　副参事兼係長／担当　平成18年５月１日～

杉村　修一　係長　平成28年10月１日～

村瀬　達郎　主事　平成24年度～

２　責任者及び担当者

植村　忠光　町教育長　平成５～12年度

村瀬　　巌　同上　平成13～15年度

米田　幸人　市教育長　平成16～19年度

河合　　徹　同上　平成20～21年度

梅野　正博　同上　平成22～27年度

永留　和博　同上　平成28年度～

松本　暦幸　町教委生涯学習課長　平成５～８年度

高松　久之　同上・市教委厳原事務所長　平成９～10、17年度

財部　純臣　町教委生涯学習課長　平成11～12年度

小島　武博　同上・市教委厳原事務所長・文化財課長　平成13～16、18～20年度

梅野　菊次　市教委文化財課長　平成21～24年度

平江　俊哉　同上　平成25年度

小島　克喜　同上　平成26年度～

長久　敏一　町教委生涯学習課文化財係長　平成５～８年度

小礒　嘉文　同上　平成６～13年度

井田　喜啓　同上・市教委厳原事務所生涯学習班副参事兼係長　平成14～17年度

尾上　博一　町教委生涯学習課文化財係主事・市教委厳原事務所生涯学習班主査・市教委文化財課副参事兼係長　平成12年度～

３　設計監理

真鍋　建男　株式会社　空間文化開発機構　代表取締役　平成６年度～

田口　直人　同上　研究員　平成20年度

増田　洋佑　同上　研究員　平成18年度～

第２項　指導機関

加藤　充彦　文化庁記念物課文化財調査官　平成５年度

本中　　眞　文化庁文化財保護部記念物課主任調査官　平成７～26年度

平澤　　毅　文化庁文化財部記念物課文化財調査官　平成27年度～

安楽　　勉　県教委文化課埋蔵文化財班係長　平成５～６年度

田川　　肇　県教委文化課埋蔵文化財班課長補佐　平成７年度

高野　晋司　県教委文化課埋蔵文化財班課長補佐　平成８～10年度

町田　利幸　県教委文化課埋蔵文化財班主任文化財保護主事　平成９年度

副島　和明　県教委文化課埋蔵文化財班係長兼副参事　平成11～13年度

宮崎　貴夫　県教委学芸文化課課埋蔵文化財班係長　平成14～16年度

渕原　　恵　県教委学芸文化課文化企画班指導主事　平成16年度

村山　拓男　県教委学芸文化課文化企画班主事　平成16年度

古門　雅高　県教委学芸文化課埋蔵文化財班係長　平成17年度

荒木　隆裕　県教委学芸文化課文化企画班指導主事　平成17年度

伊藤　修一　県教委学芸文化課文化財班指導主事　平成18～20年度

小林　利彦　県教委学芸文化課文化財班指導主事　平成21～24年度

松尾　俊幸　県教委学芸文化課文化財班文化財保護主事　平成25～

第３項　整備委員会

１　対馬藩主宗家墓所等保存整備委員会（金石城跡）50音順

長　　節子　九州産業大学名誉教授　平成５年度～平成28年度

齋藤　弘征　郷土史研究者　副委員長　平成19年度～

永留　久恵　郷土史研究者　副委員長　平成５～18年度

中村　　一　京都大学名誉教授　平成５～19年度

西谷　　正　九州大学名誉教授・海の道むなかた館館長　委員長　平成５年度～

西村　幸夫　東京大学大学院工学系研究科教授　平成５年度～

高瀬　要一　公益財団法人　琴ノ浦温山荘園代表理事（理事長）　平成19年度～

服部　英雄　九州大学名誉教授・熊本県立くまもと文学・歴史館館長　平成７年度～

2　対馬藩主宗家墓所等保存整備委員会環境整備部会（金石城跡）50音順

齋藤　弘征　郷土史研究者　副委員長　平成19年度～

永留　久恵　郷土史研究者　副委員長　平成13～18年度

高瀬　要一　公益財団法人　琴ノ浦温山荘園理事長　平成13年度～

中村　　一　京都大学名誉教授　平成13～19年度

第３節　整備基本計画

第１節に記したとおり、本事業の実施方針と計画は平成８年３月に策定された史跡対馬藩主宗家墓所等保存整備基本計画書に示されている。以下に引用する。表記は原文のままだが項目を整理するため章番号を一部修正してある。

1　史跡清水山城跡及び周辺整備計画

①　現況

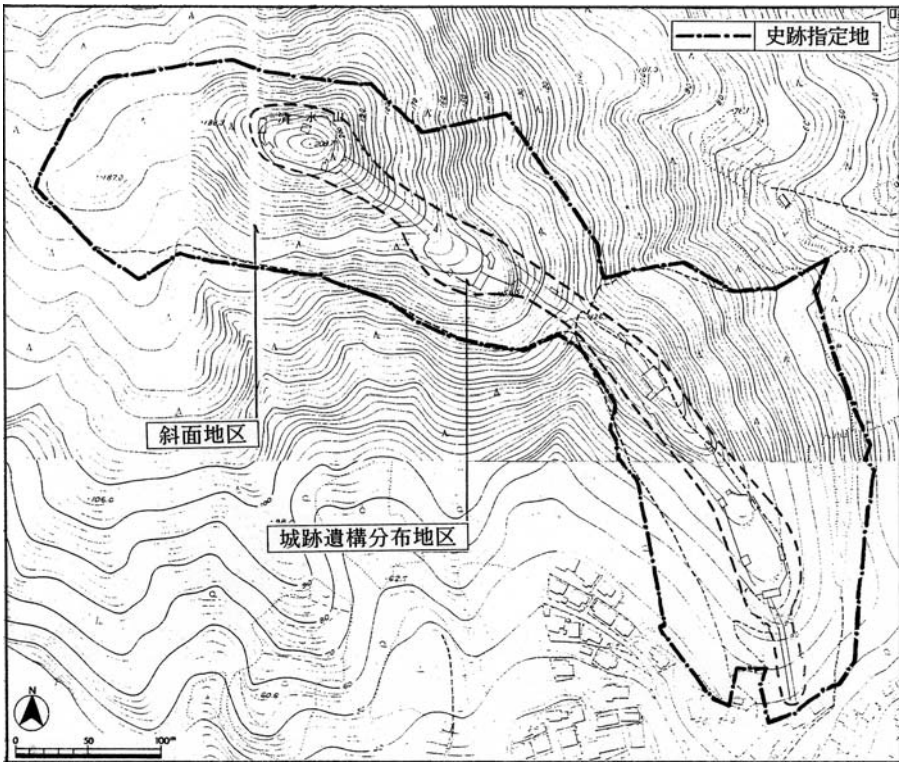
ア．指定状況等

名　　称　清水山城跡

指　　定　国指定史跡　昭和59年12月６日

指定面積　87,200㎡

指定理由　豊臣秀吉の朝鮮出兵に備え、築いた中世風の山城



イ．状況・課題等

計画地である史跡清水山城跡及び周辺は、先に述べた清水山城跡エリアに当たるが、当計画地は遺構の分布状況や地形条件等から、概ね尾根線上に延びる石垣等壁に囲われた城跡遺構分布地区と、それをとり囲む比較的急傾斜な樹林に覆われた斜面地区に区分され、各地区の現況は以下の通りである。

１）城跡遺構分布地区

標高約60～約210m、延長約560m の清水山から東に延びる尾根上に当たり、登城道（標高約60～約100m、延長約100m）、三ノ丸（標高約100m～約110m、幅約30m、長さ約80m）、三ノ丸と二ノ丸を連結する幅約10～20m の石垣（城壁、標高約110～160m、延長約200m）、二ノ丸（標高約160m～165m、幅約20m、長さ約50m）、二ノ丸と一ノ丸を連結する幅約10m の石垣（城壁、標高約165～約200m、延長約80m）、一ノ丸（標高約200～210m、幅約30m、長さ約50m）が階段状に並んでいる。

石垣等遺構は崩れやハラミ等が所々に見られるが、比較的良好に残っている。しかし、樹木の成長により石垣等の損傷が予測される所もあり、また、全般に既存木が鬱蒼と茂り、石垣等遺構を隠すばかりか周辺への眺望を妨げているところが多い。

今まで、殆ど保存整備はなされておらず、また案内板や道標もなく、訪れる人は少ない。

なお、史跡指定地は、村野庁から昭和59年度に国庫補助事業で買い上げられ、町有地となっている。厳原町に払い下げられ、用地は公有化されている。また、平成６年度から一部遺構を中心に地形測量がなされている。

２）斜面地区

全域が鬱蒼とした既存木に覆われ、一部地道があるが、殆ど人の立ち入りはない。

しかし、豊かな植生の多数多くの小動物や鳥類、昆虫類が確認されており、その自然景観と合わせて、清水山城跡遺構分布地区の足元を支える貴重な自然地となっている。

②　整備方針

ア．計画地全体の整備方針

計画地は、山容険しい天然の要害地に築かれた城跡であり、また優れた自然景観、豊かな植生等自然資源を有している。大半が公有地である。

今後、計画的、系統的な地形測量、発掘調査や植生調査等の各種調査を行い、遺構の解明を図りつつ、遺構や自然環境の保存、保全に努める。また、石垣、石塁等の遺構は必要に応じ、適宜修復整備を図りつつ、樹木の間伐、園路や解説版、道標等あるいは適所に展望所や四阿を設けるなど、人々が散策、見学しやすいよう整備を図る。

イ．地区別整備方針

１）城跡遺構分布地区

地形測量はもとより、石垣、石塁等遺構の分布状況調査等により、遺構の解明を図り、これらの成果をもとに遺構保存及び修復整備を図る。合わせて植生調査等の成果を踏まえつつ、遺構に損傷を与える可能性のある樹木、あるいは眺望を妨げている樹木については伐採、除去す

る。

また、登城道等歴史的道路を活用しつつ、散策道を整備し、案内板、解説版、道標等の設置はもとより、適宜展望所、四阿、ベンチ等来訪者のための休養、便益施設を設置する。なお、必要に応じ、柵等安全管理施設を設置する。

2）斜面地区

植生調査等自然環境調査を行い、その成果をもとに現況の植生等を保全する。また、地道等を利用し、金石城跡及び宗家墓所との連絡散策道を整備する。

なお、「水の手」についても、この周遊路に取り込むこととする。

③　整備計画概要

史跡清水山城跡及び周辺整備計画の概要は下表に示す通りである。

ア．調査等

1）現況地形測量

主として尾根部の城跡遺構が分布する地区の現況地形測量を行う（縮尺１／500）

2）石垣等遺構調査

石垣、石塁等の分布状況を把握するための調査を行い、必要箇所の現況図等（縮尺１／20～１／100）を作成する

3）自然環境調査

植生、動物等の環境調査を行う

4）実施設計

環境整備工事のための実施設計を行う

イ．環境整備工事

1）石垣・石塁等保存修復整備工事

崩壊の恐れのある石垣等の修復を行う

2）支障木伐採工事

遺構を損傷する恐れのある樹木及び歩行や展望を妨げる支障木の適宜伐採を行う

3）遊歩道整備工事

かつての登城道の整備及びアクセスのための遊歩道整備を行う（水の手道の整備含む）

4）休養・便益・安全施設設置工事

眺望の優れた地点に四阿やベンチ等休養施設を適宜設置する他、危険箇所に転落防止柵等の安全施設を設置する

5）サイン設置工事

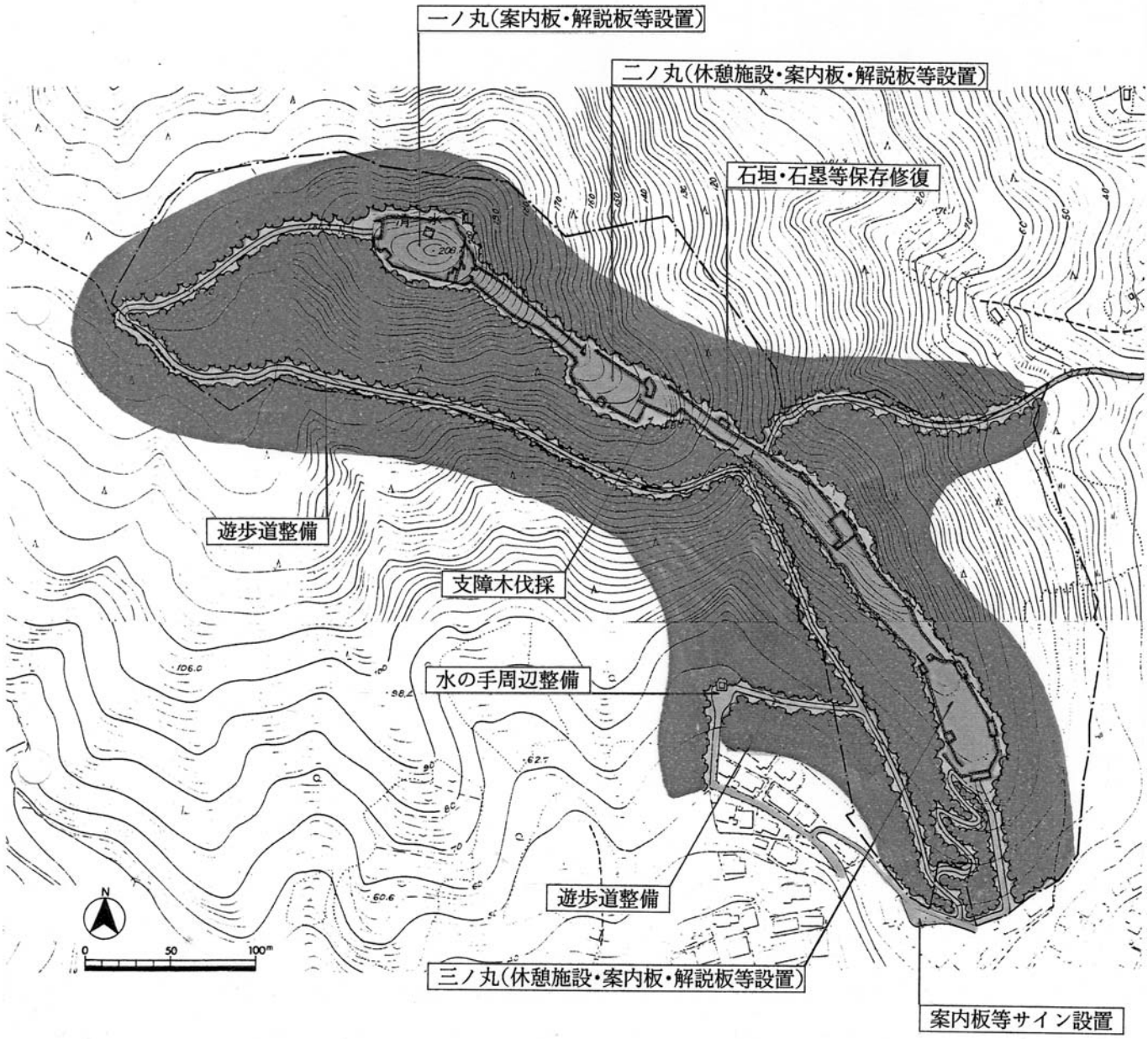
エントランス部や園路の分岐点等に誘導のためのサインを設置する

2　史跡清水山城跡及び周辺整備事業費概算

区分	名称	数量・規模等	金額（円）	備考
調査等	現況地形測量	面積約15,000㎡	9,000,000	縮尺１/500
	石垣等遺構調査	１式	12,000,000	実測図作成、報告書含む
	自然環境調査	１式	3,000,000	
	実施設計	１式	9,100,000	工事費の約９％　監理費含む
	（　小　計　）		（　33,100,000　）	
環境整備工事	石垣・石塁等保存修復整備工事	１式	50,000,000	解体修理等
	支障木伐採工事	１式	12,000,000	
	遊歩道整備工事	約1,800m	16,200,000	適宜階段含む、水の手整備含む
	休養・便益・安全	四阿　２基	12,000,000	木製
	施設設置工事	ベンチ、柵等　１式	8,000,000	
	サイン設置工事	１式	3,500,000	
	（　小　計　）		（　101,700,000　）	
合　　計			134,800,000	

3　史跡清水山城跡及び周辺整備の年次計画

区分	名称	Ｈ８	Ｈ９	Ｈ10	Ｈ11	Ｈ12	Ｈ13	Ｈ14	Ｈ15	Ｈ16	Ｈ17
調査等	現況地形測量	←	—	—	→						
	石垣等遺構調査 自然環境調査										
	実施設計				←	—	—	—	—	—	→
環境整備工事	石垣・石塁等保存修復整備工事		←	—	—	—	—	—	—	—	→
	支障木伐採工事			←	—	—	—	—	—	—	→
	遊歩道整備工事				←	—	—	—	—	—	→
	休養・便益・安全施設設置工事				←	—	—	—	—	—	→
	サイン設置工事				←	—	—	—	—	—	→



史跡清水山城跡及び周辺整備計画概念図

第４節　実施年次計画

当該事業の実施年次計画（経過）表を掲載する。第３節に掲載した基本計画策定段階の年次計画と比較していただきたい。表は、文化財課設置後の平成18年度以降を記載している。事業費は工事の休止時期を経て再開した平成24年度以降を記載している。

事業箇所	事業年度												
	9～17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
全域							東日本大震災 休止	地形・石垣測量					
一ノ丸								石垣修理	石垣修理	修理完了状況測量	道標設置 整備状況測量	説明板設置	
二ノ丸										石垣修理	道標設置 説明板設置	伐木	
三ノ丸											道標設置 説明板設置		
城内園路			園路整備									園路整備	
登山道・遊歩道		遊歩道舗装61m、側溝敷設64m、木製階段敷設17基、側溝補修16m									伐採	道標設置	案内説明板設置 城内道整備 支障木伐採
記録										整備状況記録	整備状況記録	整備状況記録 航空写真	整備状況記録
史跡整備委員会 （環境整備部会）		宗家墓所 金石城跡 清水山城跡	宗家墓所 金石城跡 清水山城跡	宗家墓所 金石城跡 清水山城跡	宗家墓所 金石城跡 清水山城跡	宗家墓所 金石城跡 清水山城跡	宗家墓所 金石城跡 清水山城跡	宗家墓所 金石城跡 清水山城跡	宗家墓所 金石城跡 清水山城跡	宗家墓所 金石城跡 清水山城跡	宗家墓所 金石城跡 清水山城跡	宗家墓所 金石城跡 清水山城跡	宗家墓所 金石城跡 清水山城跡
整理作業 報告書等								写真図面等 記録整理	写真図面等 記録整理	写真図面等 記録整理	写真図面等 記録整理	写真図面等 記録整理	整備事業 報告書
事業費								5,115,000円	3,815,000円	4,905,000円	5,000,000円	3,600,000円	3,000,000円

表１　清水山城跡整備事業実施年次計画表

第５節　整備委員会概要

整備事業の方針や計画、工法などは平成５年度に発足した対馬藩主宗家墓所等保存整備委員会において協議し、決定してきた。協議内容のうち、清水山城跡に関する概要を以下に記す。各回の出席者は記載を省略した。

１　第１回（平成５年度　第１回）

① 日時　平成５年９月30日（木）～10月１日（金）

② 内容　清水山城跡周辺管理計画の範囲、崩落石垣の処置、二ノ丸下からの園路造作方法、表示板設置、サイン計画、宗家墓所から清水山城跡及び宮谷地区への動線整備について

２　第２回（平成５年度　第２回）

① 日時　平成６年３月14日（月）～３月15日（火）

② 内容　整備構想、整備計画について

３　第３回（平成６年度　第１回）

① 日時　平成６年７月12日（火）～７月13日（水）

② 内容　整備基本計画書記載内容について

４　第４回（平成６年度　第２回）

① 日時　平成７年２月23日（木）～２月24日（金）

② 内容　整備基本計画書記載内容について

５　第５回（平成７年度　第１回）

① 日時　平成７年７月25日（火）～７月26日（水）

② 内容　整備基本計画書記載内容、史跡への動線、石垣修理について

６　第６回（平成７年度　第２回）

① 日時　平成７年11月22日（水）

② 内容　整備基本計画書記載内容について

７　第７回（平成８年度）

① 日時　平成８年10月25日（金）

② 内容　整備基本計画書、事業進捗状況、次年度以降の事業計画、石垣調査と整備、休養施設、遊歩道について

８　第８回（平成９年度）

① 日時　平成９年10月31日（金）

② 内容　整備計画、次年度以降の事業計画、石垣保存について

９　第９回（平成10年度）

① 日時　平成10年10月８日（木）

② 内容　整備計画、次年度以降の事業計画について

10　第10回（平成11年度）

① 日時　平成11年11月22日（月）～11月23日（火）

② 内容　整備計画、次年度以降の事業計画について

11　第11回（平成12年度）

① 日時　平成12年11月27日（月）

② 内容　整備計画、次年度以降の事業計画について

12　第12回（平成13年度）

① 日時　平成13年７月６日（金）

② 内容　整備計画、次年度以降の事業計画について

13　第13回（平成14年度　第１回）

① 日時　平成14年６月18日（火）～６月19日（水）

② 内容　平成13年度事業について

14　第14回（平成14年度　第２回）

① 日時　平成14年12月４日（水）

② 内容　次年度以降の計画、平成10年度の石垣調査、道標設置予算、一ノ丸・二ノ丸の石垣写真測量図化、石垣修理方針について

15　第15回（平成15年度）

① 日時　平成15年７月15日（火）

② 内容　平成14年度整備工事、環境整備工事で設置のベンチ、石垣遺構写真測量業務、三ノ丸におけるパノラマ式解説板について

16　第16回（平成16年度）

① 日時　平成16年９月17日（金）

② 内容　平成16年度整備工事について

17　第17回（平成17年度　第１回）

① 日時　平成17年７月28日（木）

② 内容　サイン及び遊歩道・園路、支障木伐採について

18　第18回（平成17年度　第２回）

① 日時　平成18年２月28日（水）

② 内容　遊歩道への横断溝設置について

19　第19回（平成18年度　第１回）

① 日時　平成18年７月28日（金）

② 内容　平成17年度整備工事、平成18年度遊歩道工事の改善、平成19年度整備工事について

20　第20回（平成18年度　第２回）

① 日時　平成19年２月14日（水）

② 内容　18年度整備工事状況、園路舗装箇所と指定範囲の位置関係、19年度以降の計画見直し（延長）について

21　第21回（平成19年度）

① 日時　平成19年８月17日（金）

② 内容　石垣の顕在化、園路整備、整備事業の史跡別分離、20年度以降の事業休止、除草清掃管理の委託について

22　第22回（平成20年度）

① 日時　平成21年２月24日（火）

② 内容　石垣の顕在化、修復、イノシシ被害について

23　第23回（平成21年度）

① 日時　平成21年10月15日（木）

② 内容　23年度以降の事業計画、23年度刊行予定の整備工事報告書の体裁、現地視察について

24　第24回（平成22年度）

① 日時　平成22年10月18日（月）

② 内容　22・23年度事業、23年度以降の事業計画について

25　第25回（平成23年度）

① 日時　平成23年８月９日（火）

② 内容　平成22年度事業、平成23年度事業の中止と年次計画の見直し、平成24年度事業及び工事の基本設計について

26　第26回（平成24年度第１回）

① 日時　平成24年６月22日（金）

② 内容　平成24年度事業一ノ丸石垣修理、平成25年度事業、年次計画及び周辺地の整備、一ノ丸石垣修理について

27　第27回（平成24年度第２回）

① 日時　平成24年12月17日（月）

② 内容　平成24年度事業、平成25年度事業、建物遺構の確認、年次計画について

28　第28回（平成25年度第１回）

① 日時　平成25年７月29日（月）～７月30日（火）

② 内容　平成24・25年度整備事業、支障木伐採、門跡遺構調査、石垣修理、園路整備について

29　第29回（平成25年度第２回）

① 日時　平成26年２月19日（水）～２月20日（木）

② 内容　平成25年度事業、一ノ丸城壁内部出土石垣、建物遺構、園路整備、支障木伐採、史跡入口の整備、平成26年度事業、年次計画について

30　第30回（平成26年度第１回）

① 日時　平成26年９月11日（木）～９月12日（金）

② 内容　平成26～28年度事業、一ノ丸城壁内部出土石垣、説明板、二ノ丸石垣修理について

31　第31回（平成26年度第２回）

① 日時　平成27年２月17日（火）～２月18日（水）

② 内容　平成26年度事業、平成27年度事業について

32　第32回（平成27年度第１回）

① 日時　平成27年７月30日（木）～７月31日（金）

② 内容　平成27年度整備事業、平成28年度整備事業について

33　第33回（平成27年度第２回）

① 日時　平成28年２月23日（火）～２月24日（水）

② 内容　平成27年度整備事業、年次計画の修正、平成28年度以降の整備事業について

34　第34回（平成28年度第１回）

① 日時　平成28年５月17日（火）～５月18日（水）

② 内容　平成27年度事業、平成28年度事業、平成29年度以降の事業について

35　第35回（平成28年度第２回）

① 日時　平成28年12月20日（火）

② 内容　平成28年度事業、平成29年度以降の事業、第２期整備事業について

36　第36回（平成29年度第１回）

① 日時　平成29年６月１日（木）～６月２日（金）

② 内容　平成28年度事業、平成29年度以降の事業、第２期整備事業について

37　第37回（平成29年度第２回）

① 日時　平成30年１月22日（月）～１月23日（火）

② 内容　平成28年度事業、平成29年度以降の事業、第２期整備事業について

本文写真１　第20回委員会風景

本文写真２　第22回委員会風景

本文写真３　第23回委員会風景

本文写真４　第24回委員会風景

第６節　事業内容

この節では、平成６年度以降に実施した事業の概要を記す。事業の実施期間や内容、請負工事や委託業務の契約期間、成果を、年度別に紹介する。工事に関しては当初のものは省略し、最終的な変更後の設計図を参考に添付する。工事の様子は巻末の写真図版に主要な写真を掲載し、紹介する。

まず、事業の規模が把握できるように、実施年度ごとの事業費と内訳を提示する。各年度における事業費と、補助金、市の支出内訳をまとめた一覧が表２である。清水山城跡の整備事業が対馬藩主宗家墓所や金石城跡の整備事業と分かれ、単独で実施する形態となった平成20年度以降について記している。平成19年度以前は、三つの史跡の整備を一つの事業として実施していたことから、清水山城跡のみに掛かる補助額と事業主体の支出額が分離できないため、省略した。

次の表３は事業における請負工事や委託業務、整理作業に要した費用を年度別にまとめたものである。平成20年度以降は清水山城跡を単独で整備の対象として事業が組まれているので、費用の合計は事業費と合致する。平成19年度以前は、前述のとおり三つの史跡を対象とした事業構成だった都合により、記載した費用の合計は、直接には補助対象となった事業費に合致しない。ただし、この期間も、事業の中で清水山城跡に関して要した費用は、他の史跡に要した費用とは分けて実施していた。各年度で申請し、実施した事業費は、全て史跡ごとに積み上げ、組み立てられたものである。したがって、記載した額の合計は、補助事業において清水山城跡を対象として支出した事業費であり、事業形式上も実態としても、単独の事業としての総額になっている。

なお、年度ごとの工事や業務の名称で、箇所によっては、例えば「一ノ丸」が「一の丸」と記されている部分がある。現在は「一ノ丸」「二ノ丸」「三ノ丸」の表記に統一しているが、公表された施工実施時の表記のまま記載しているためなので、承知されたい。

年度（平成）	事業種別	国庫補助金	県費補助金	市費	総計	備考
20	保存整備	0円	0円	0円	0円	遺構記録
21	保存整備	0円	0円	0円	0円	遺構記録
22	保存整備	0円	0円	0円	0円	遺構記録
23	保存整備	0円	0円	0円	0円	遺構記録
24	保存整備	2,557,000円	255,000円	2,303,000円	5,115,000円	整備工事・測量
25	保存整備	1,907,000円	305,000円	1,603,000円	3,815,000円	整備工事・測量
26	保存整備	2,452,000円	490,000円	2,453,000円	4,905,000円	整備工事・測量
27	活用整備	2,500,000円	500,000円	2,000,000円	5,000,000円	整備工事・測量
28	活用整備	1,800,000円	324,000円	1,476,000円	3,600,000円	整備工事・測量
総事業費					22,435,000円	

表２　清水山城跡整備事業年度別事業費一覧

年度(平成)	補助金名 （上段：国、下段：県）	事業名 （上段：国、下段：県、括弧内は事業内名称）	工事名・業務名	金額 （単位：円）
6	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	史跡清水山城跡ほか保存修理事業 史跡清水山城跡ほか保存修理事業	清水山城（一の丸）遺構測量業務委託	1,081,500
7	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	史跡清水山城跡ほか保存修理事業 史跡清水山城跡ほか保存修理事業	清水山城跡外保存修理事業遺構測量業務委託	6,798,000
8	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	史跡清水山城跡ほか保存修理事業 史跡清水山城跡ほか保存修理事業	清水山城跡石塁周辺樹木伐採業務委託	3,151,800
10	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	史跡清水山城跡ほか保存修理事業 史跡清水山城跡ほか保存修理事業	史跡清水山城跡石垣調査等業務委託 史跡清水山城跡石垣修理工事実施設計及び監理業務委託 史跡清水山城跡石垣修理工事	2,625,000 325,000 1,785,000 1,490
11	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	史跡清水山城跡ほか保存修理事業 清水山城跡ほか保存修理事業	史跡清水山城跡石垣保全修復設計監理業務委託 清水山城跡石垣保全修復工事	630,000 4,173,750 8,000
12	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	清水山城跡ほか保存整備事業 清水山城跡ほか保存修理事業	清水山城跡石垣修復工事設計管理業務委託 清水山城跡石垣修復工事	367,500 2,387,700
13	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	清水山城跡ほか保存整備事業 清水山城跡ほか保存整備事業	清水山城跡石垣修復工事設計監理業務委託 清水山城跡石垣修復工事	472,500 525,000
14	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	清水山城跡ほか保存修理事業 清水山城跡ほか保存修理事業	平成14年度史跡清水山城跡環境整備工事設計・監理業務委託 史跡清水山城跡石垣遺構写真測量業務委託 清水山城跡環境整備工事	246,750 2,814,000 577,500
15	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	史跡清水山城跡ほか保存修理事業 清水山城跡ほか保存修理事業	平成15年度史跡清水山城跡環境整備工事実施設計・監理業務委託 平成15年度史跡清水山城跡石垣遺構写真測量業務委託 史跡清水山城跡環境整備工事	92,400 1,470,000 1,050,000 95,539
16	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	史跡清水山城跡ほか記念物保存修理事業 史跡清水山城跡ほか記念物保存修理事業	史跡清水山城跡環境整備工事実施設計及び監理業務委託 史跡清水山城跡環境整備工事	189,000 2,954,700
17	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	史跡清水山城跡ほか史跡等・登録記念物保存修理事業 清水山城跡ほか保存修理事業	史跡清水山城跡環境整備工事実施設計及び監理業務委託 史跡清水山城跡環境整備工事	367,500 3,735,900
18	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	史跡清水山城跡ほか史跡等・登録記念物保存修理事業 史跡清水山城跡ほか保存修理事業	史跡清水山城跡環境整備工事設計監理業務委託 史跡清水山城跡環境整備工事	252,000 1,428,000
19	国宝重要文化財等保存整備費補助金 長崎県教育文化振興費補助金	史跡清水山城跡ほか史跡等・登録記念物保存修理事業 清水山城跡ほか記念物保存修理事業	整備等	26,000
24	国宝重要文化財等保存整備費補助金 指定文化財保存整備補助金	史跡「清水山城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業 史跡「清水山城跡」史跡名勝天然記念物等保存整備事業	史跡清水山城跡保存整備工事 史跡清水山城跡石垣写真測量業務委託 史跡清水山城保存整備工事実施設計・監理業務委託	3,479,700 1,102,500 304,500
25	国宝重要文化財等保存整備費補助金 指定文化財保存整備補事業助金	史跡「清水山跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業 史跡「清水山城跡」史跡名勝天然記念物等保存整備事業	史跡清水山城跡保存整備工事 史跡清水山城跡石垣写真測量業務委託 史跡清水山城跡保存整備工事実施設計・監理業務委託	2,067,450 1,239,000 204,750
26	国宝重要文化財等保存整備費補助金 指定文化財保存整備事業補助金	史跡「清水山城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業 「清水山城跡」史跡名勝天然記念物等保存整備事業	史跡清水山城跡保存整備工事 史跡清水山城跡保存整備工事設計監理業務委託 史跡清水山城跡石垣等遺構写真測量業務委託	3,099,600 210,600 972,000
27	国宝重要文化財等保存整備費補助金 指定文化財保存整備事業補助金	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業史跡「清水山城跡」 「清水山城跡」史跡名勝天然記念物等保存整備事業	史跡清水山城跡保存整備工事 史跡清水山城跡保存整備工事設計監理業務委託 清水山城跡二ノ丸石垣測量委託	3,062,880 205,200 1,069,200
28	国宝重要文化財等保存整備費補助金 指定文化財保存整備事業補助金	歴史活き活き史跡等総合活用整備事業史跡「清水山城跡」 「清水山城跡」史跡名勝天然記念物等保存整備事業	史跡清水山城跡学習施設整備工事設計監理委託 史跡清水山城跡環境整備工事設計監理委託 清水山城跡航空写真撮影委託 史跡清水山城跡学習施設整備工事 史跡清水山城跡環境整備工事	138,240 138,240 313,200 1,250,640 1,560,600

表３　清水山城跡整備事業年度別事業名称等一覧

第１項　平成６年度

１　事業概要

③ 主　　体　厳原町

④ 期　　間　平成６（1994）年７月12日～平成７年３月29日

⑤ 内　　容　史跡の現況図を作成するために一ノ丸の遺構測量を実施した。

２　委託業務

① 業 務 名　清水山城跡（一の丸）遺構測量業務委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　拓山測量設計

④ 契 約 日　平成７年２月14日

⑤ 期　　間　平成７年２月14日～平成７年３月15日

⑥ 委 託 料　1,081,500円

⑦ 成果概要　平面図（S＝１/250・S＝１/100）各１部、縦断面図（V＝１/250・H＝１/100）１部、横断面図（S＝１/100）３部、測量成果簿１部

第２項　平成７年度

１　事業概要

① 主　　体　厳原町

② 期　　間　平成７（1995）年７月25日～平成８年３月27日

③ 内　　容　史跡の現況図を作成するために二ノ丸と三ノ丸及び一ノ丸周辺の測量を実施した。

２　委託業務

（１）測量

① 業 務 名　清水山城跡外保存修理事業遺構測量業務委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　拓山測量株式会社

④ 契 約 日　平成７年12月13日

⑤ 期　　間　平成７年12月19日～平成８年３月27日

⑥ 委 託 料　6,798,000円

⑦ 成果概要　平面図（S＝１/500）１部、縦断面図（V＝１/100・H＝１/500）１部、横断面図（S＝１/100）４部、詳細図（S＝１/100）20部、各種計算書１式、測量成果簿２部

第３項　平成８年度

１　事業概要

① 主　　体　厳原町

② 期　　間　平成８（1996）年６月10日～平成９年３月28日

③ 内　　容　石塁等遺構に影響を及ぼす支障木を伐採し、環境を整備した。

2　委託業務

① 業 務 名　清水山城跡石塁周辺樹木伐採業務委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　下県郡森林組合

④ 契 約 日　平成９年２月13日

⑤ 期　　間　平成９年２月13日～平成９年３月31日

⑥ 委 託 料　3,151,800円

⑦ 成果概要　下草刈8,600㎡、除伐2,300㎡、伐木8,600㎡、集石8,600㎡

第４項　平成10年度

1　事業概要

① 主　　体　厳原町

② 期　　間　平成10（1998）年５月18日～平成11年３月31日

③ 内　　容　平成８年度までの測量調査の成果を踏まえ、実測図を参考にしながら石垣の保存状況やハラミ・欠落等崩落危険箇所を把握し、石垣保存修理に対する考慮等を含めた石垣調査を行った。また、緊急な保存修理を要すると思われる箇所の石垣実測並びに実施設計を行い、石垣の保存修理工事を実施した。

2　整備工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡石垣修理工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　宮崎建設

④ 契 約 日　平成10年12月１日

⑤ 期　　間　平成10年12月１日～平成11年２月１日

⑥ 請負金額　1,785,000円

⑦ 成果概要　石垣修復工16.3㎡

3　委託業務

（１）設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡石垣修理工事実施設計及び監理業務委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成10年８月６日

⑤ 期　　間　平成10年８月６日～平成11年２月１日

⑥ 委 託 料　325,500円

⑦ 成果概要　実施設計書１式、変更設計書１式

（２）調査

① 業 務 名　史跡清水山城跡石垣調査等業務委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構
④ 契 約 日　平成10年８月６日
⑤ 期　　間　平成10年８月６日～平成10年10月14日
⑥ 委 託 料　2,625,000円
⑦ 成果概要　報告書１式、石垣状況図・石垣崩落等危険箇所図・石垣平面図・石垣立面図１式

第５項　平成11年度

１　事業概要

① 主　　体　厳原町
② 期　　間　平成11（1999）年５月１日～平成12年３月31日
③ 内　　容　平成10年度の石垣調査の成果を踏まえ、三ノ丸虎口の石垣の一部解体並びに補足石材による積み直し修復工事を行った。

２　整備工事

① 工 事 名　清水山城跡石垣保全修復工事
② 事業方法　請負
③ 受 注 者　有限会社　マルハ
④ 契 約 日　平成12年２月29日
⑤ 期　　間　平成12年２月29日～平成12年３月31日
⑥ 請負金額　4,173,750円
⑦ 成果概要　石垣解体工7.3㎡、裏込め栗石解体工5.5㎥、裏込め栗石敷均し工5.5㎥、裏込め栗石敷均し工（補足石）7.9㎥、石積み積直し工5.8㎡、石積み積直し工（補足石）13.1㎡、整形仕上げ工16.5m、土のう積工（小口並べ）128袋

第６項　平成12年度

１　事業概要

① 主　　体　厳原町
② 期　　間　平成12（2000）年５月１日～平成13年３月31日
③ 内　　容　平成10年度の石垣調査の成果を踏まえ、三ノ丸虎口の石垣の一部解体並びに補足石材による積み直し修復工事を行った。

２　整備工事

① 工 事 名　清水山城跡石垣修復工事
② 事業方法　請負
③ 受 注 者　有限会社　マルハ
④ 契 約 日　平成13年３月８日
⑤ 期　　間　平成13年３月８日～平成13年３月30日
⑥ 請負金額　2,387,700円
⑦ 成果概要　石垣解体工4.42㎡、裏込め栗石解体工2.65㎥、裏込め栗石敷均し工7.9㎥、裏込め栗

石敷均し工（補足石）1.58㎡、石積み積直し工13.1㎡、石積み積直し工（補足石）2.7㎡、除根工１本、土のう積工（小口並べ）32㎡、テーラー運転（積込み～取卸し）11㎥、伐開工289.03㎡

3　委託業務

（1）設計監理

① 業 務 名　清水山城跡石垣修復工事設計監理業務委託
② 事業方法　委託
③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構
④ 契 約 日　平成13年１月30日
⑤ 期　　間　平成13年１月30日～平成13年３月30日
⑥ 委 託 料　367,500円
⑦ 成果概要　図面（実施設計平面図ほか）原図・青焼、設計書（設計内訳書ほか）白焼、施工監理報告書

第７項　平成13年度

1　事業概要

① 主　　体　厳原町
② 期　　間　平成13（2001）年４月16日～平成14年３月31日
③ 内　　容　平成10年度の石垣調査の成果を踏まえ、三ノ丸入口付近の石垣の一部解体並びに補足石材による積み直し修理工事を行った。

2　整備工事

① 工 事 名　清水山城跡石垣修復工事
② 事業方法　請負
③ 受 注 者　有限会社　親和建設
④ 契 約 日　平成14年２月８日
⑤ 期　　間　平成14年２月８日～平成14年３月19日
⑥ 請負金額　525,000円
⑦ 成果概要　石垣解体工2.46㎡、裏込め栗石解体工1.47㎥、石積み積直し工2.42㎡、裏込め栗石敷直し工1.45㎥、石積み積直し工（石材補足）3.57㎡、裏込め栗石敷直し工（補足材）2.14㎥、人力盛土（埋戻）0.57㎥、土のう工132袋

3　委託業務

（1）設計監理

① 業 務 名　清水山城跡石垣修復工事設計監理業務委託
② 事業方法　委託
③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構
④ 契 約 日　平成13年10月11日
⑤ 期　　間　平成13年10月11日～平成14年３月19日
⑥ 委 託 料　472,500円

⑦ 成果概要　施工箇所図１・２（S＝１/500）原図１部・青焼３部、平面図・石積解体図（S＝１/50・１/100）原図１部・青焼３部、石積積み直し図（S＝１/20・１/50・１/100）原図１部・青焼３部、C面石積解体積み直し図（S＝１/30・１/100）原図１部・青焼３部、設計内訳書・数量計算書・特記仕様書・見積書等綴り各原稿１部・白焼３部

第８項　平成14年度

１　事業概要

① 主　　体　厳原町

② 期　　間　平成14（2002）年４月10日～平成15年３月31日

③ 内　　容　環境整備（道標設置）工事及び一ノ丸と二ノ丸の遺構写真測量を行った。

２　整備工事

① 工 事 名　清水山城跡環境整備工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　有限会社　親和建設

④ 契 約 日　平成15年２月17日

⑤ 期　　間　平成15年２月17日～平成15年３月28日

⑥ 請負金額　577,500円

⑦ 成果概要　除草伐開工27.9㎡、道標設置工１基

３　委託業務

（１）設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡環境整備工事実施設計・監理業務委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成14年７月25日

⑤ 期　　間　平成14年９月10日～平成15年３月28日

⑥ 委 託 料　246,750円

⑦ 成果概要　道標設置箇所図（S＝１/500）原図１部・青焼３部、除草伐開範囲図（S＝１/500）原図１部・青焼３部、道標詳細図（S＝１/10）原図１部・青焼３部、実施設計書原稿１部・白焼３部

（２）測量

① 業 務 名　史跡清水山城跡石垣遺構写真測量業務委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成15年１月８日

⑤ 期　　間　平成15年１月14日～平成15年３月20日

⑥ 委 託 料　2,814,000円

⑦ 成果概要　立面図（S＝１/20）原図１部・第２原図１部・青焼３部、縮小図（S＝１/50）１部、

計算簿等資料１式

第９項　平成15年度

１　事業概要

① 主　　体　厳原町

② 期　　間　平成15（2003）年６月２日～平成16年３月31日

③ 内　　容　環境整備工事及び崩落の恐れのある二ノ丸の石垣遺構写真測量を行った。

２　整備工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡環境整備工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　STONE・MASON

④ 契 約 日　平成16年１月20日

⑤ 期　　間　平成16年１月20日～平成16年３月19日

⑥ 請負金額　1,050,000円

⑦ 成果概要　道標設置工１基、ベンチ設置工２台

３　委託業務

（１）設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡環境整備工事実施設計・監理業務

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成15年10月１日

⑤ 期　　間　平成15年10月１日～平成16年２月25日

⑥ 委 託 料　92,400円

⑦ 成果概要　実施設計図面（施設配置図ほか）原図１部・青焼３部、設計書（内訳書ほか）原稿１部・白焼３部

（２）測量

① 業 務 名　史跡清水山城跡石垣遺構写真測量業務

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成15年12月１日

⑤ 期　　間　平成15年12月１日～平成16年２月25日

⑥ 委 託 料　1,470,000円

⑦ 成果概要　立面図・断面図（S＝１/20）原図１部・第２原図１部・青焼３部、縮小図（S＝１/50）各１部、計算簿等資料１式

第10項　平成16年度

1　事業概要

① 主　　体　対馬市

② 期　　間　平成16（2004）年７月１日～平成17年３月31日

③ 内　　容　環境整備（園路整備）工事を行った。

2　整備工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡環境整備工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　有限会社　旭建設

④ 契 約 日　平成17年１月24日

⑤ 期　　間　平成17年１月24日～平成17年３月25日

⑥ 請負金額　2,954,700円

⑦ 成果概要　園路工（遊歩道212.05m、木製階段（踏み面1.2m）115基、木製階段（踏み面0.5m）47基、素掘側溝244.45m）、伐木工（整理伐39.5㎡）

3　委託業務

(１)設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡環境整備工事実施設計及び監理業務委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成16年10月29日

⑤ 期　　間　平成16年10月29日～平成17年３月25日

⑥ 委 託 料　189,000円

⑦ 成果概要　図面（実施設計平面図、施設配置図、施設詳細図、各種構造図）原図１部・青焼３部、設計書（設計内訳書、代価表、数量計算書、構造計算書、特記仕様書、見積書等綴）原稿１部・白焼３部

第11項　平成17年度

1　事業概要

① 主　　体　対馬市

② 期　　間　平成17（2005）年６月１日～平成18年３月31日

③ 内　　容　環境整備（園路整備）工事を行った。

2　整備工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡環境整備工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　株式会社　ライフ工業

④ 契 約 日　平成17年12月21日

⑤ 期　　間　平成17年12月21日～平成18年３月15日

⑥ 請負金額　3,735,900円

⑦ 成果概要　園路工（階段・遊歩道補修202.05m、素堀側溝108.60m）

3　委託業務

（1）設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡環境整備工事実施設計及び監理業務委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成17年9月20日

⑤ 期　　間　平成17年9月20日～平成18年3月15日

⑥ 委 託 料　367,500円

⑦ 成果概要　図面（実施設計平面図、施設配置図、施設詳細図、各種構造図）原図1部・青焼3部、設計書（設計内訳書、代価表、数量計算書、構造計算書、特記仕様書、見積書等）原稿1部・白焼3部

第12項　平成18年度

1　事業概要

① 主　　体　対馬市

② 期　　間　平成18（2006）年6月1日～平成19年3月31日

③ 内　　容　環境整備として階段・遊歩道補修及び舗装による園路工を行った。

2　整備工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡環境整備工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　有限会社　豊田組

④ 契 約 日　平成18年2月14日

⑤ 期　　間　平成18年2月15日～平成19年3月31日

⑥ 請負金額　1,428,000円

⑦ 成果概要　園路工（遊歩道舗装61m、側溝敷設64m、木製階段敷設17基、側溝補修16m）

3　委託業務

（1）設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡環境整備工事設計監理業務委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成18年10月2日

⑤ 期　　間　平成18年10月2日～平成19年3月31日

⑥ 委 託 料　252,000円

⑦ 成果概要　図面（実施設計平面図、施設配置図、施設詳細図）原図1部・青焼3部、設計書（設計内訳書、代価表、数量計算書、特記仕様書、見積書等）原稿1部・白焼3部

第13項　平成19年度

1　事業概要

整備作業員を雇用し、直営で園路と階段を整備した。

① 主　　体　対馬市

② 期　　間　平成19（2007）年６月１日～平成20年３月31日

③ 内　　容　園路と階段整備を行った。

2　整備作業

① 作 業 名　清水山城跡保存整備作業

② 事業方法　直営

③ 作 業 員　４名

④ 期　　間　平成20年３月

⑤ 支出金額　26,000円

⑥ 成果概要　園路・階段整備（土砂除去・整地）

第14項　平成24年度

1　事業概要

① 主　　体　対馬市

② 期　　間　平成24（2012）年４月10日～平成25年３月31日

③ 内　　容　一ノ丸の遺構測量と石垣修理を行った。

2　整備工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡保存整備工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　対馬天和産業　株式会社

④ 契 約 日　平成24年11月５日

⑤ 期　　間　平成24年11月７日～平成25年２月14日

⑥ 請負金額　3,479,700円

⑦ 成果概要　石垣修理工22.3㎡

3　委託業務

（１）設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡保存整備工事実施設計・監理業務

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成24年５月14日

⑤ 期　　間　平成24年５月14日～平成25年２月26日

⑥ 委 託 料　304,500円

⑦ 成果概要　図面（施設配置図、施設詳細図）原図１部・白焼３部、設計書（設計内訳書、代価表、数量計算書、構造計算書、特記仕様書、見積書等）原稿１部・白焼３部、施工監理報告書１部

（２）測量

① 業 務 名　史跡清水山城跡石垣写真測量業務

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成25年１月28日

⑤ 期　　間　平成25年１月28日～平成25年３月19日

⑥ 委 託 料　1,102,500円

⑦ 成果概要　石垣立・断面図（原図、第２原図、青焼）、縮小図、電子データ、計算簿等資料

第15項　平成25年度

１　事業概要

① 主　　体　対馬市

② 期　　間　平成25（2013）年５月15日～平成26年３月31日

③ 内　　容　一ノ丸の遺構測量と石垣修理を行った。

２　整備工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡保存整備工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　有限会社　佐伯建設

④ 契 約 日　平成25年12月20日

⑤ 期　　間　平成25年12月26日～平成26年３月５日

⑥ 請負金額　2,067,450円

⑦ 成果概要　石積修理工（石垣修理工11㎡（石積解体・積直））、伐木工（支障木伐採10本（幹周20㎝未満）、吸出防止材設置10㎡（t＝３㎜、引張強度635N/５㎝））

３　委託業務

（１）設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡保存整備工事実施設計・監理業務

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成25年６月７日

⑤ 期　　間　平成25年６月７日～平成26年３月28日

⑥ 委 託 料　204,750円

⑦ 成果概要　図面（修理箇所図、石垣修理平面図、詳細図）原図１部・青焼３部、設計書（設計内訳書、代価表、数量計算書、特記仕様書、見積書等）原稿１部・白焼３部、施工監理報告書１部

（２）測量

① 業 務 名　史跡清水山城跡石垣写真測量業務

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成25年７月１日
⑤ 期　　間　平成25年７月１日～平成26年３月28日
⑥ 委 託 料　1,239,000円
⑦ 成果概要　平面図・立面図・断面図（S＝１/20原図、第２原図、白焼）、縮小図（S＝１/40）、電子データ、計算簿等資料

第16項　平成26年度

１　事業概要

① 主　　体　対馬市
② 期　　間　平成26（2014）年４月１日～平成27年３月31日
③ 内　　容　一ノ丸の遺構測量と二ノ丸の石垣修理を行った。

２　整備工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡保存整備工事
② 事業方法　請負
③ 受 注 者　西山工務店
④ 契 約 日　平成27年１月９日
⑤ 期　　間　平成27年１月15日～平成27年３月31日
⑥ 請負金額　3,099,600円
⑦ 成果概要　石垣修理工（裏込栗石充填0.2㎥（一ノ丸）、石積解体積直8.29㎡、石積補足積8.02㎡、裏込栗石充填7.01㎡、裏込栗石解体2.54㎡（二ノ丸））

３　委託業務

（１）設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡保存整備工事設計監理業務
② 事業方法　委託
③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構
④ 契 約 日　平成26年５月26日
⑤ 期　　間　平成26年５月26日～平成27年３月27日
⑥ 委 託 料　210,600円
⑦ 成果概要　図面（実施設計平面図、施設配置図、施設詳細図、植栽平面図、各種構造図）原図１部・青焼３部、設計書（設計内訳書、代価表、数量計算書、構造計算書、特記仕様書、見積書等）原稿１部・白焼３部、施工監理報告書１部

（２）測量

① 業 務 名　史跡清水山城跡石垣等遺構写真測量業務
② 事業方法　委託
③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構
④ 契 約 日　平成26年６月９日
⑤ 期　　間　平成26年６月９日～平成27年３月27日

⑥ 委 託 料　972,000円

⑦ 成果概要　石垣立・断面図（S＝１/20原図、第２原図、白焼）、縮小図（S＝１/50）、電子データ、計算簿等資料

第17項　平成27年度

１　事業概要

① 主　　体　対馬市

② 期　　間　平成27（2015）年４月９日～平成28年３月31日

③ 内　　容　曲輪の説明板と道標の設置及び二ノ丸の遺構測量を行った。

２　整備工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡保存整備工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　有限会社　山工

④ 契 約 日　平成27年11月19日

⑤ 期　　間　平成27年11月25日～平成28年３月30日

⑥ 請負金額　3,062,880円

⑦ 成果概要　学習施設工（説明板２基（二ノ丸・三ノ丸）、道標３基（一ノ丸・二ノ丸・三ノ丸））、撤去工（伐木14本）

３　委託業務

（１）設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡保存整備工事設計監理委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成27年５月１日

⑤ 期　　間　平成27年５月１日～平成28年３月30日

⑥ 委 託 料　205,200円

⑦ 成果概要　図面（施設配置図、施設詳細図）原図１部・青焼３部、設計書（設計内訳書、代価表、数量計算書、特記仕様書、見積書等）原稿１部・白焼３部、施工監理報告書１部

（２）測量

① 業 務 名　清水山城跡二ノ丸石垣測量委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成27年11月11日

⑤ 期　　間　平成27年11月11日～平成28年２月28日

⑥ 委 託 料　1,069,200円

⑦ 成果概要　石垣立・断面図（S＝１/20原図、第２原図、白焼）、縮小図（S＝１/50）、電子データ、計算簿等資料

第18項　平成28年度

1　事業概要

① 主　　体　対馬市

② 期　　間　平成28（2016）年４月１日～平成29年３月31日

③ 内　　容　整備工事として一ノ丸の説明板と道標設置及び三ノ丸の園路整備を実施した。また業務委託として航空写真を撮影した。

2　整備工事

（1）学習施設工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡学習施設整備工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　株式会社　対馬機工

④ 契 約 日　平成28年11月10日

⑤ 期　　間　平成28年11月16日～平成29年３月24日

⑥ 請負金額　1,250,640円

⑦ 成果概要　学習施設工（説明板１基（一ノ丸）、道標１基（一ノ丸～有明山））

（2）環境整備工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡環境整備工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　株式会社　ひかり建設

④ 契 約 日　平成28年11月７日

⑤ 期　　間　平成28年11月11日～平成29年３月24日

⑥ 請負金額　1,560,600円

⑦ 成果概要　園路工（枕木階段16段（登城口～三ノ丸）、城内道整備63㎡（三ノ丸））

3　委託業務

（1）学習施設工設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡学習施設整備工事設計監理委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成28年５月２日

⑤ 期　　間　平成28年５月２日～平成29年３月31日

⑥ 委 託 料　138,240円

⑦ 成果概要　図面（施設配置図、施設詳細図）原図１部・青焼３部、設計書（設計内訳書、代価表、数量計算書、構造計算書、特記仕様書、見積書等）原稿１部・白焼３部、施工監理報告書１部

（2）園路工設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡環境整備工事設計監理委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成28年８月12日

⑤ 期　　間　平成28年８月12日～平成29年３月31日

⑥ 委 託 料　138,240円

⑦ 成果概要　図面（施設配置図、施設詳細図）原図１部・青焼３部、設計書（設計内訳書、代価表、数量計算書、構造計算書、特記仕様書、見積書等）原稿１部・白焼３部、施工監理報告書１部

（３）航空写真

① 業 務 名　清水山城跡航空写真撮影委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　埋蔵文化財サポートシステム長崎支店

④ 契 約 日　平成28年５月11日

⑤ 期　　間　平成28年５月11日～平成28年10月28日

⑥ 委 託 料　313,200円

⑦ 成果概要　航空写真フィルム・プリント・電子データ（１式）

第19項　平成29年度

１　事業概要

① 主　　体　対馬市

② 期　　間　平成29（2017）年４月３日～平成30年３月31日

③ 内　　容　案内板の改修と城内道整備を行った。

２　整備工事

① 工 事 名　史跡清水山城跡保存整備工事

② 事業方法　請負

③ 受 注 者　株式会社　対馬機工

④ 契 約 日　平成29年10月30日

⑤ 期　　間　平成29年11月１日～平成30年２月28日

⑥ 請負金額　2,009,880円

⑦ 成果概要　撤去工（伐木１本）、学習施設工（既設案内板撤去１基、案内説明板１基）、園路工（城内道整備７m、枕木階段５段）

３　委託業務

（１）設計監理

① 業 務 名　史跡清水山城跡保存整備工事設計監理委託

② 事業方法　委託

③ 受 注 者　株式会社　空間文化開発機構

④ 契 約 日　平成29年５月22日

⑤ 期　　間　平成29年５月22日～平成30年３月30日

⑥ 委 託 料　190,080円

⑦ 成果概要　図面（施設配置図、施設詳細図）原図１部・青焼３部、設計書（設計内訳書、代価表、

数量計算書、特記仕様書、見積書等）原稿１部・白焼３部、施工監理報告書１部

清水山城（一の丸）遺構測量詳細測量図
S=1:100
平成 6 年度
工事名 清水山城（一の丸）遺構測量
位置 下閉伊郡岩泉町大字 新区西田地内
図種 許 認 測 量 図
縮尺 1:100
枚の内
第 2 号
岩泉町

図5　平成6年度測量図

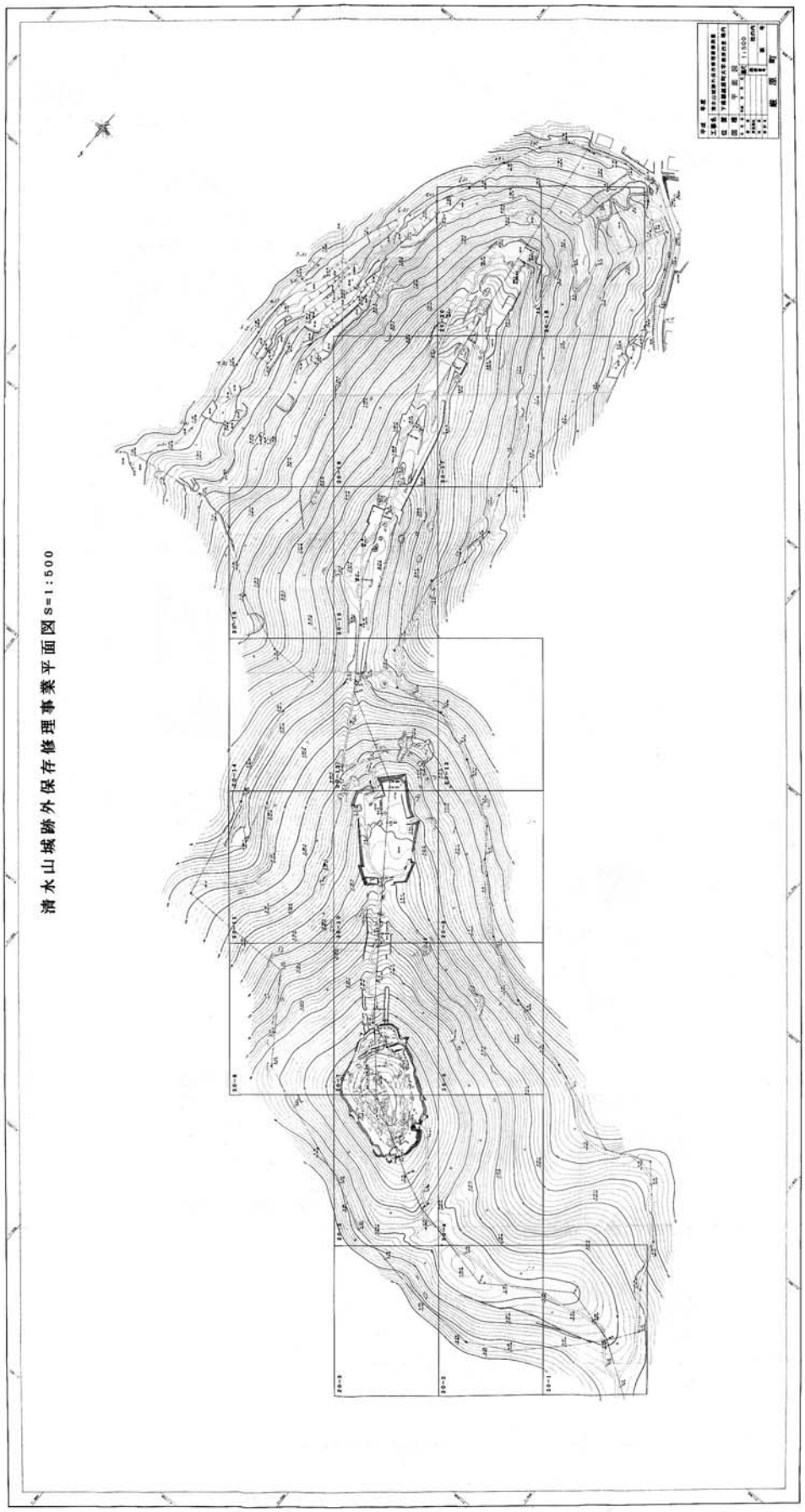


図6　平成7年度測量図

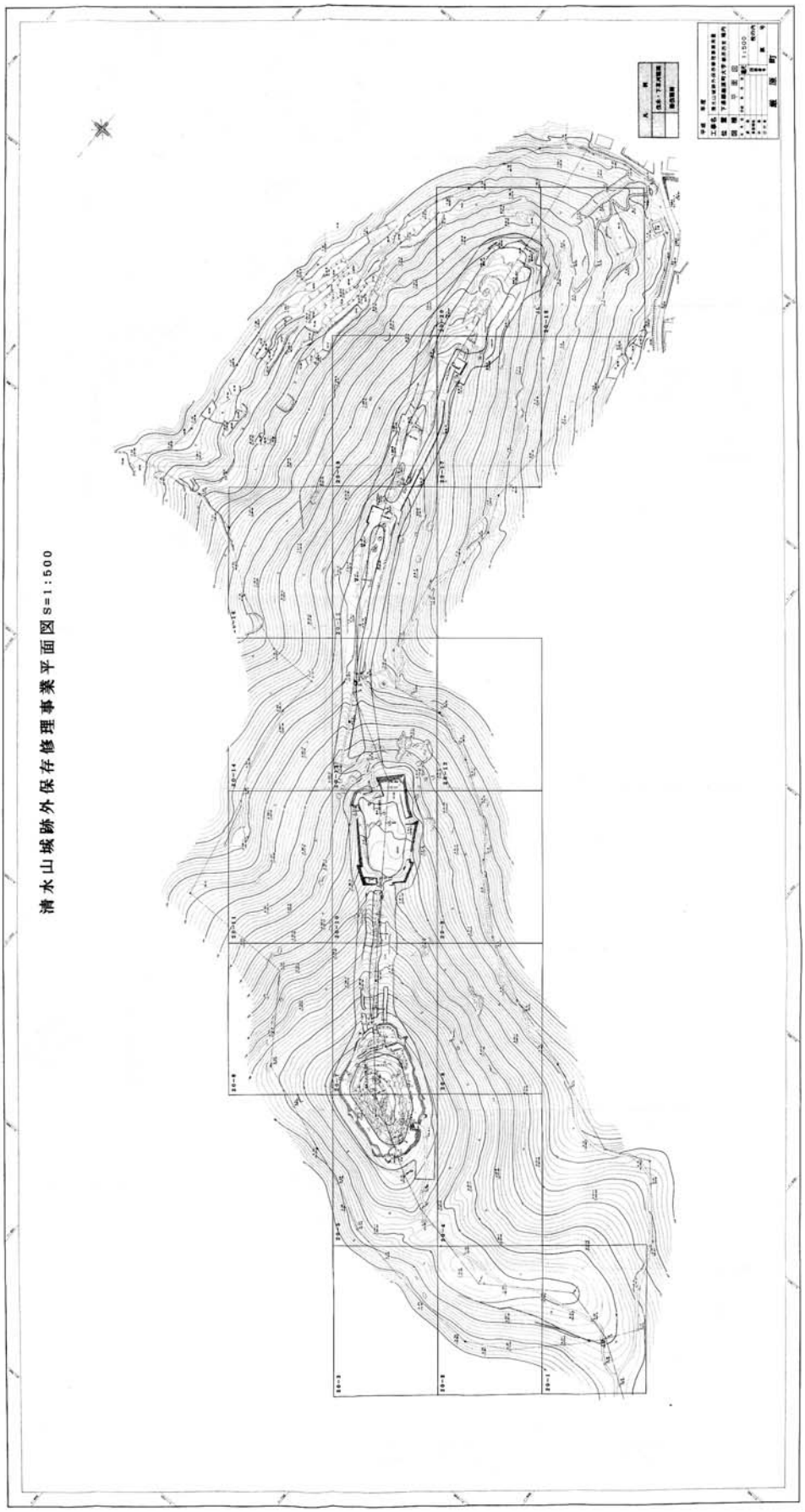


図７　平成８年度整備工事設計図１

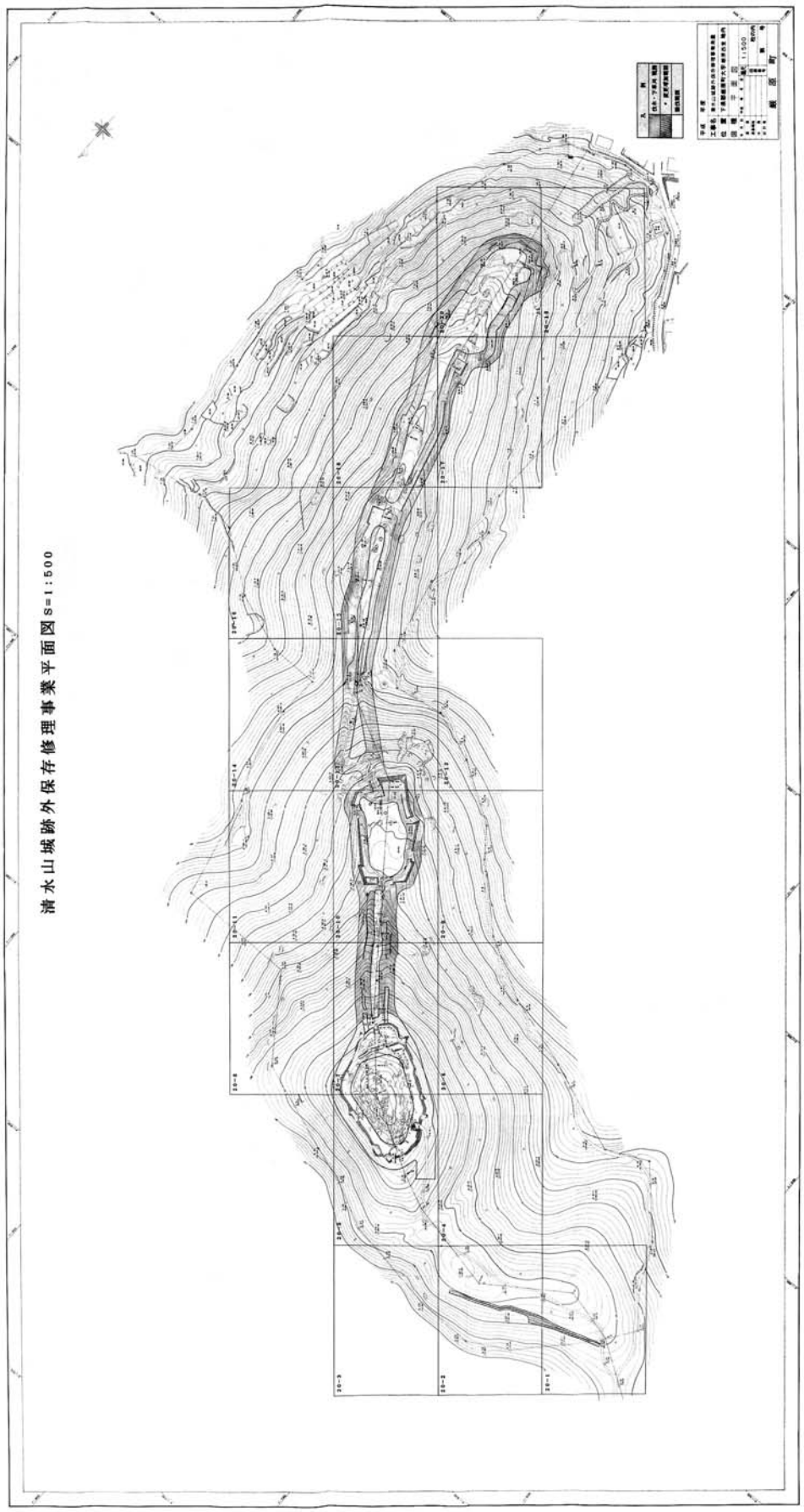


図8　平成8年度整備工事設計図2

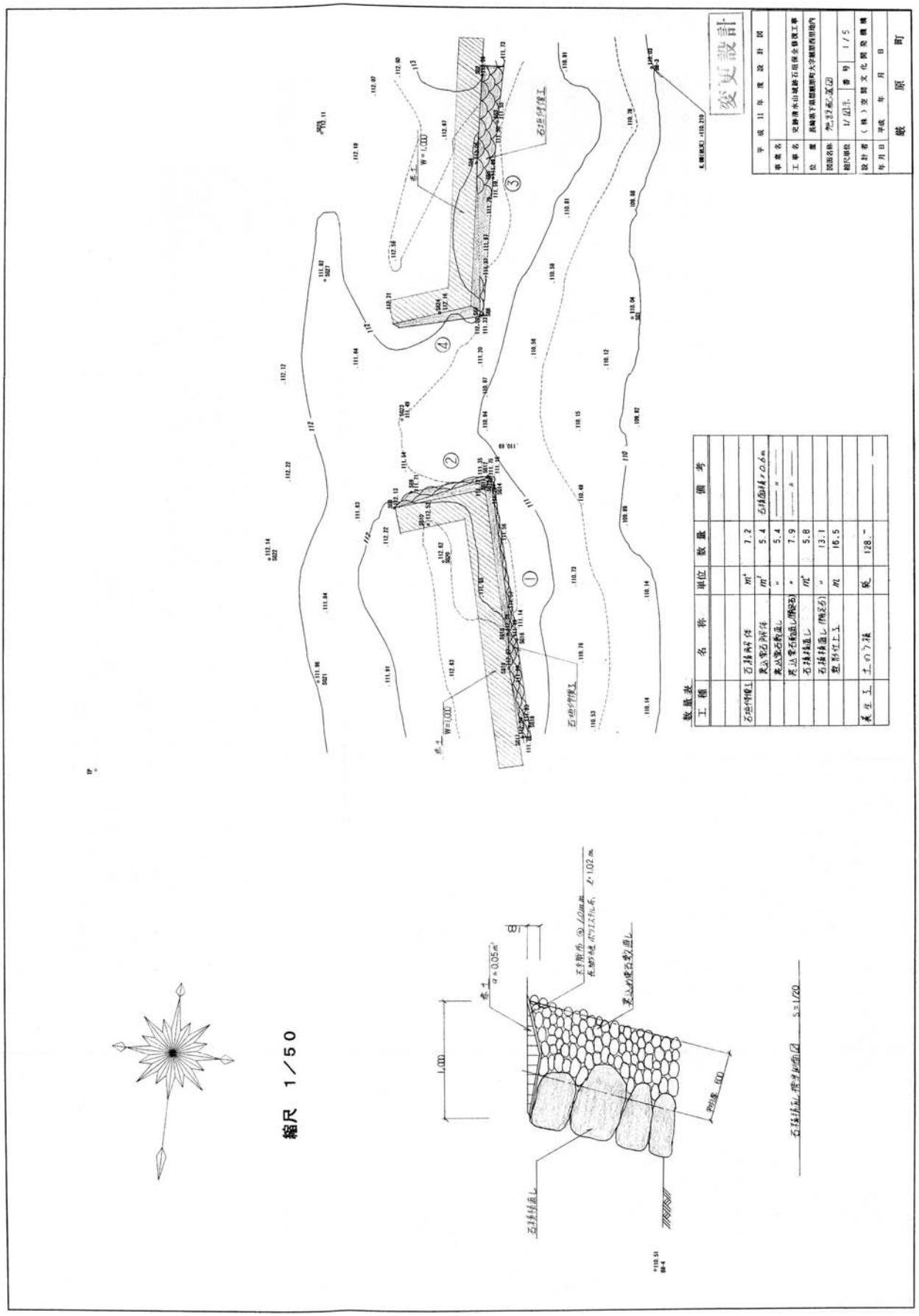


図９　平成11年度整備工事設計図１

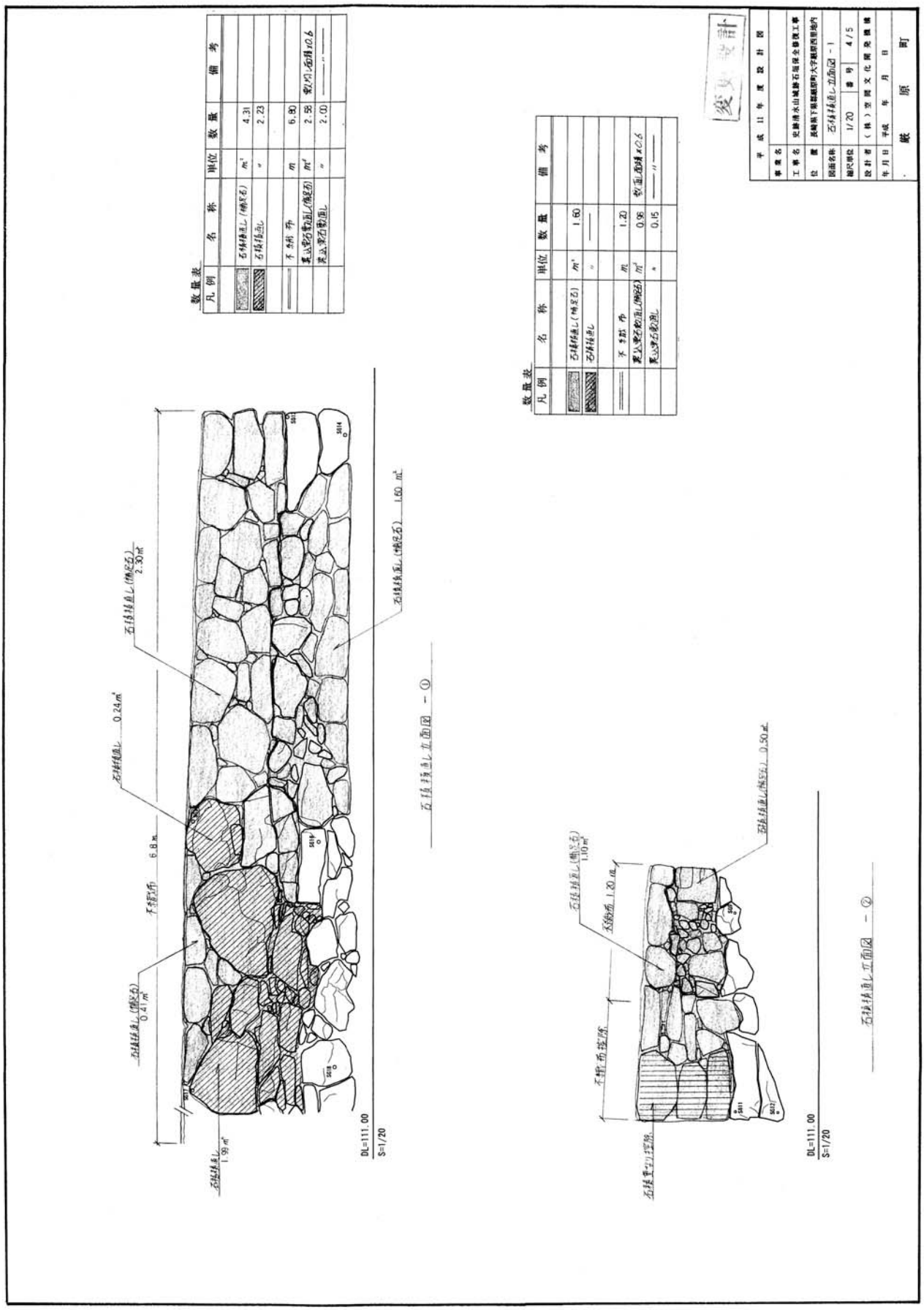


図10　平成11年度整備工事設計図２

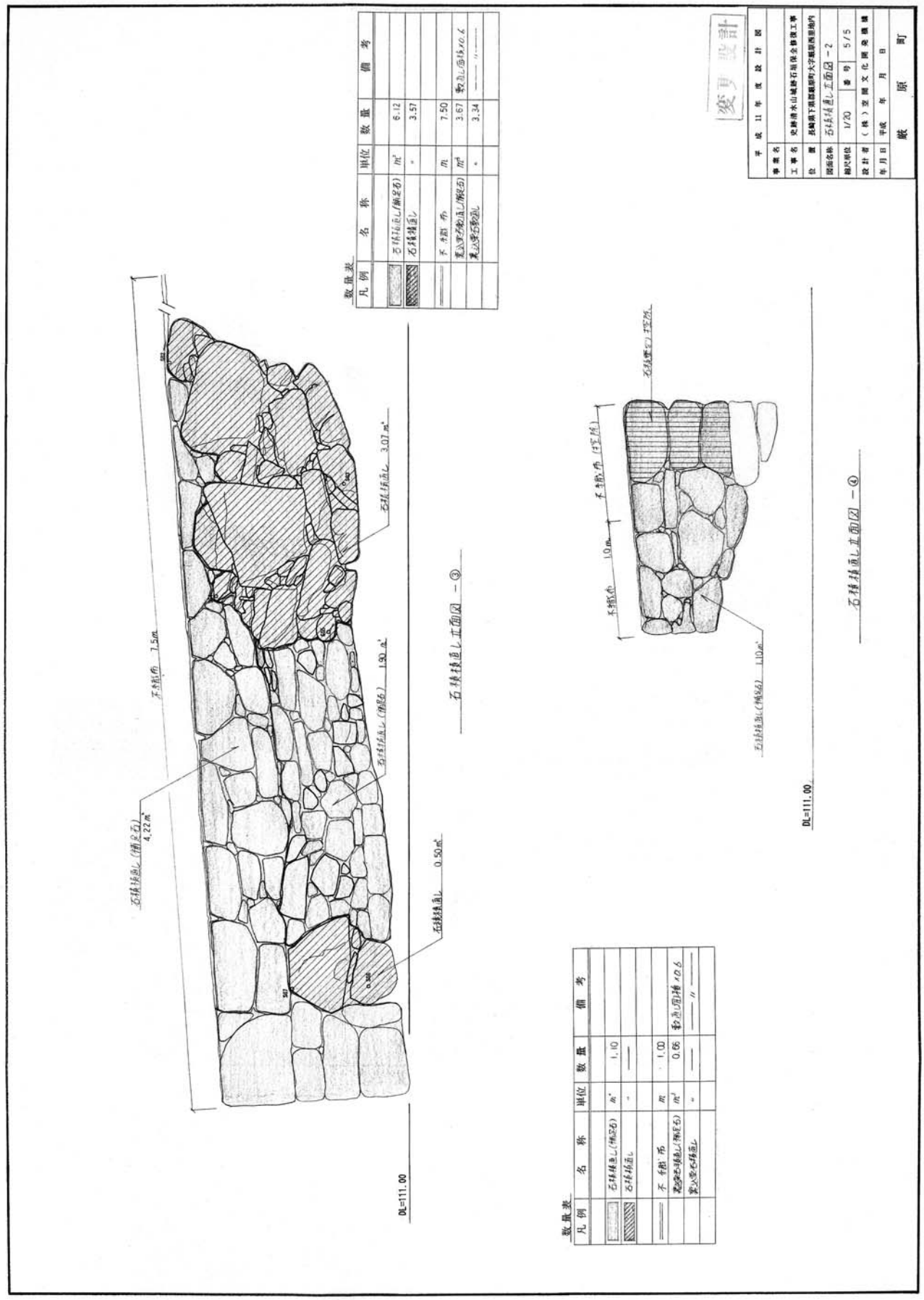


図11　平成11年度整備工事設計図 3

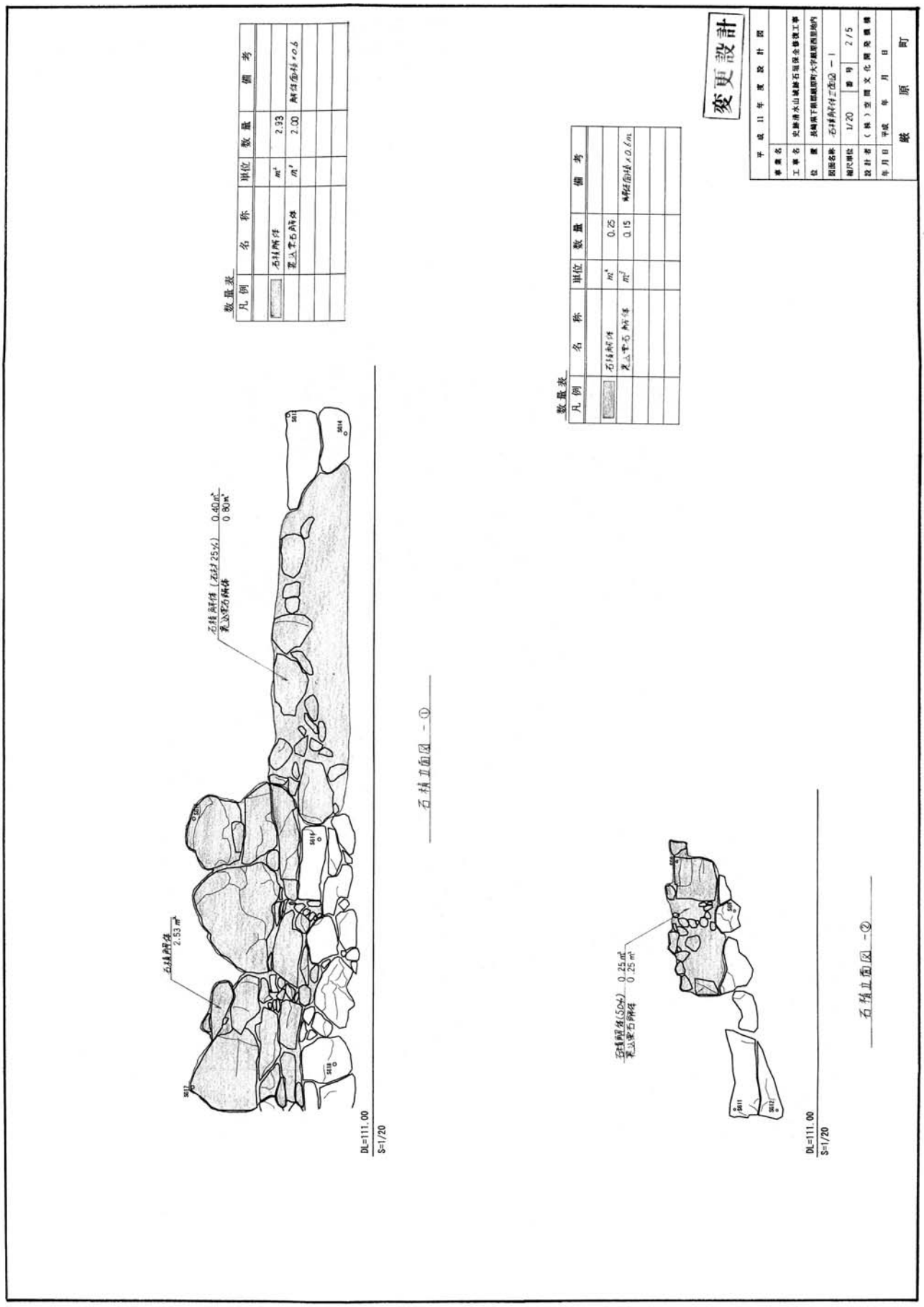


図12　平成11年度整備工事設計図 4

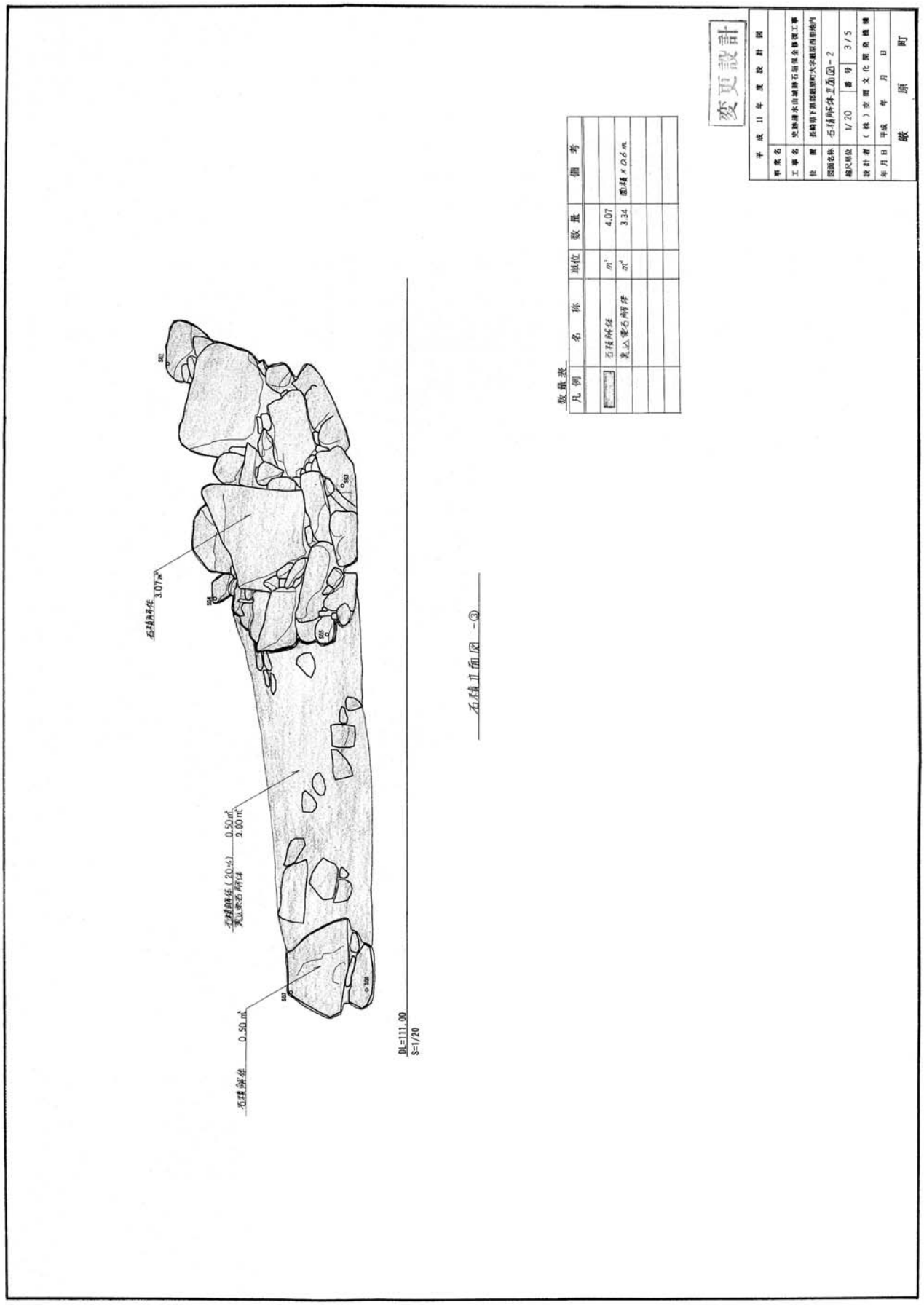


図13　平成11年度整備工事設計図 5

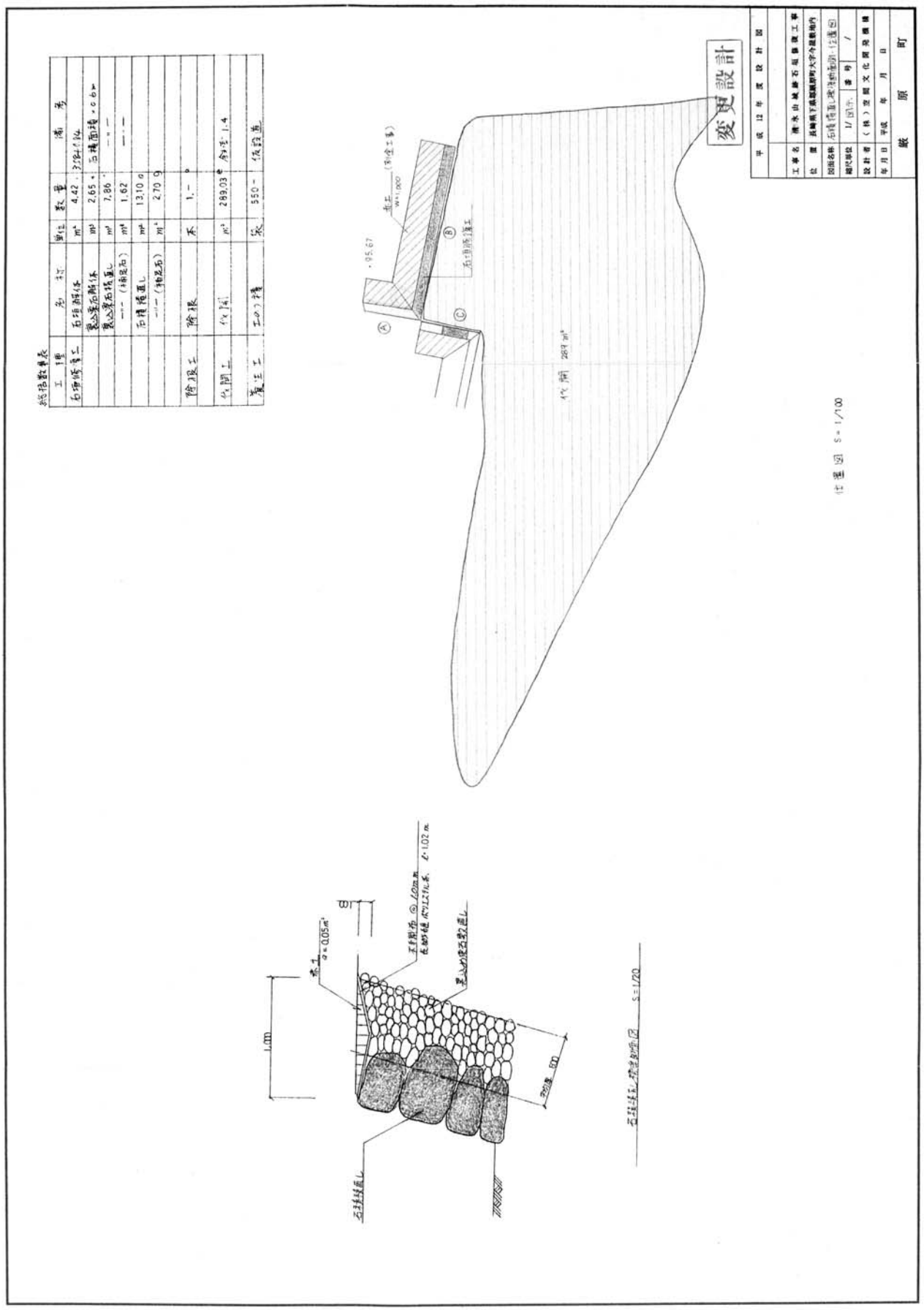


図14　平成12年度整備工事設計図 1

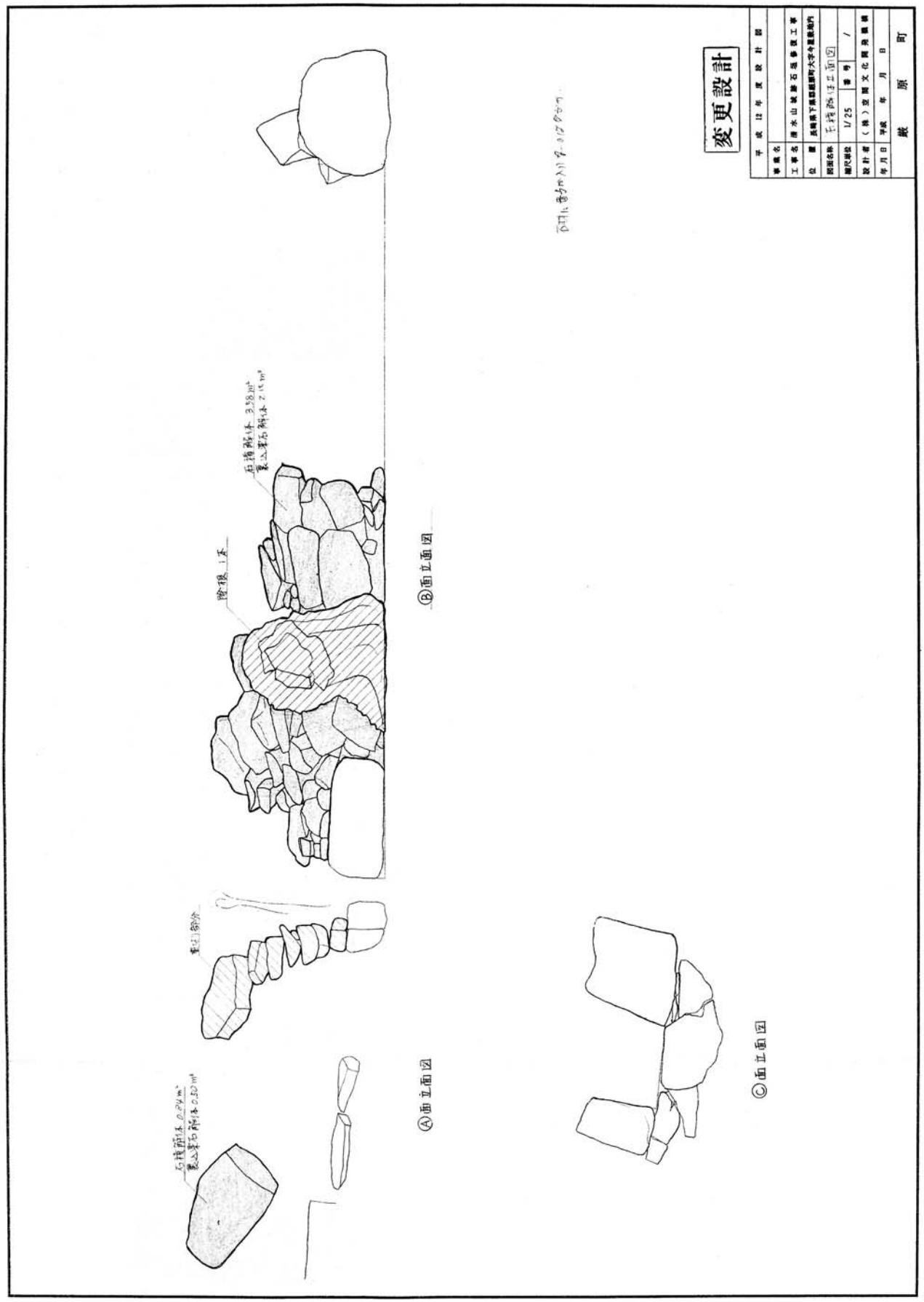


図15　平成12年度整備工事設計図 2

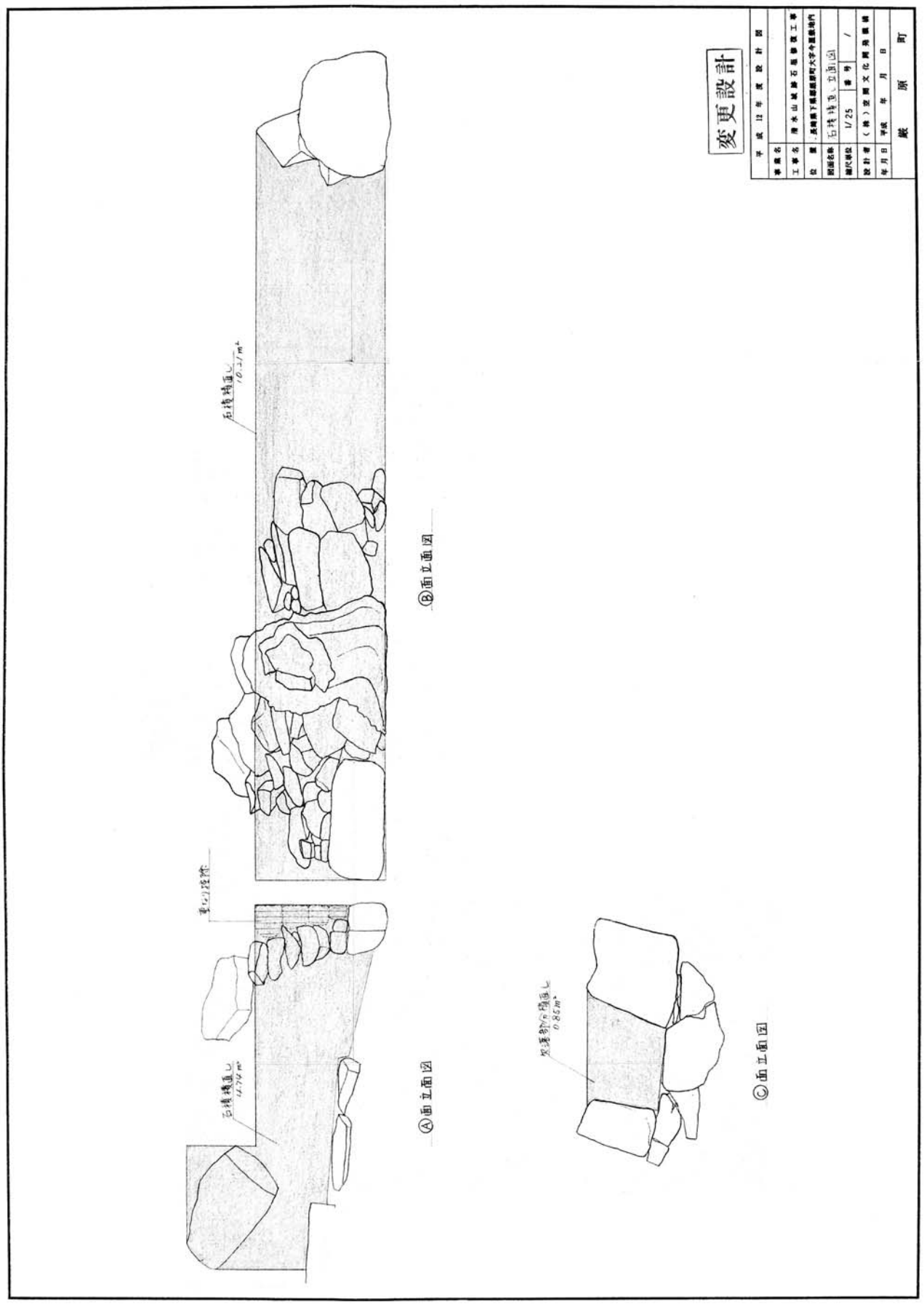


図16　平成12年度整備工事設計図 3

図17　平成13年度整備工事設計図 1

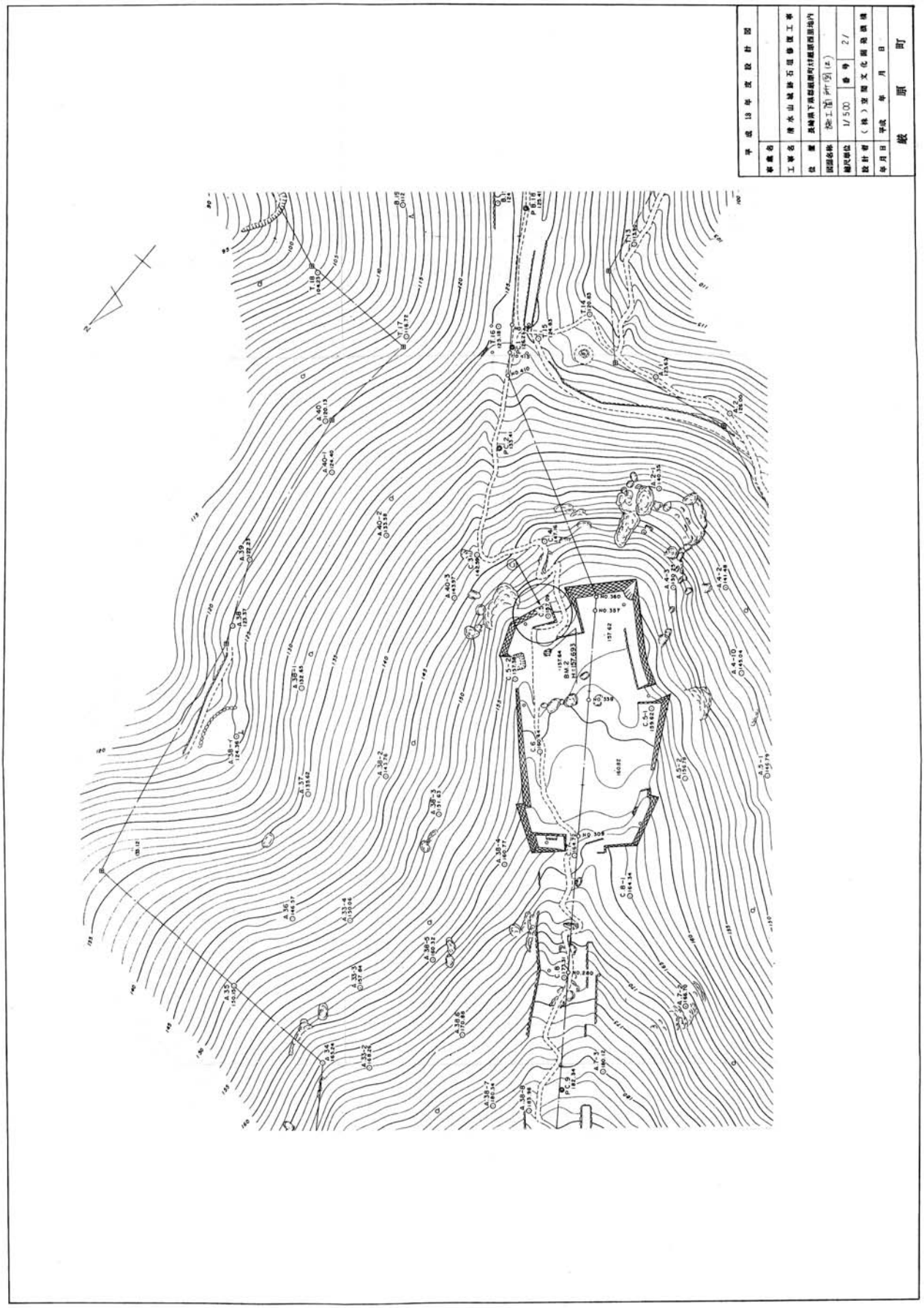
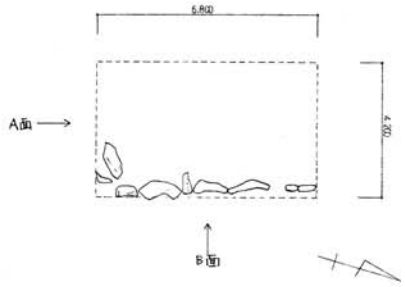


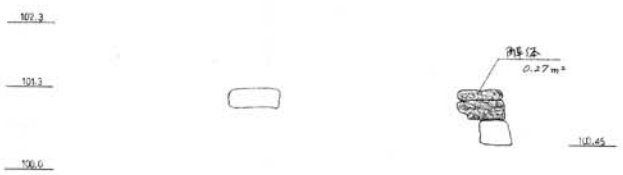
図18　平成13年度整備工事設計図２



平面図　S=1/100

数量表

凡例	名称	数量	単位	備考
	石積解体	1.47	m^3	
	裏込栗石解体	0.88	m^3	解体面積×0.6
	土のう工	132.−	袋	



A面立面図　S=1/50

B面立面図　S=1/50

平成13年度設計図			
事業名			
工事名	清水山城跡石垣修復工事		
位置	長崎県下県郡厳原町大字厳原西里地内		
図面名称	平面図・石積解体図		
縮尺単位	1/図示	番号	3/
設計者	(株)空間文化開発機構		
年月日	平成　年　月　日		
厳原町			

図19　平成13年度整備工事設計図3

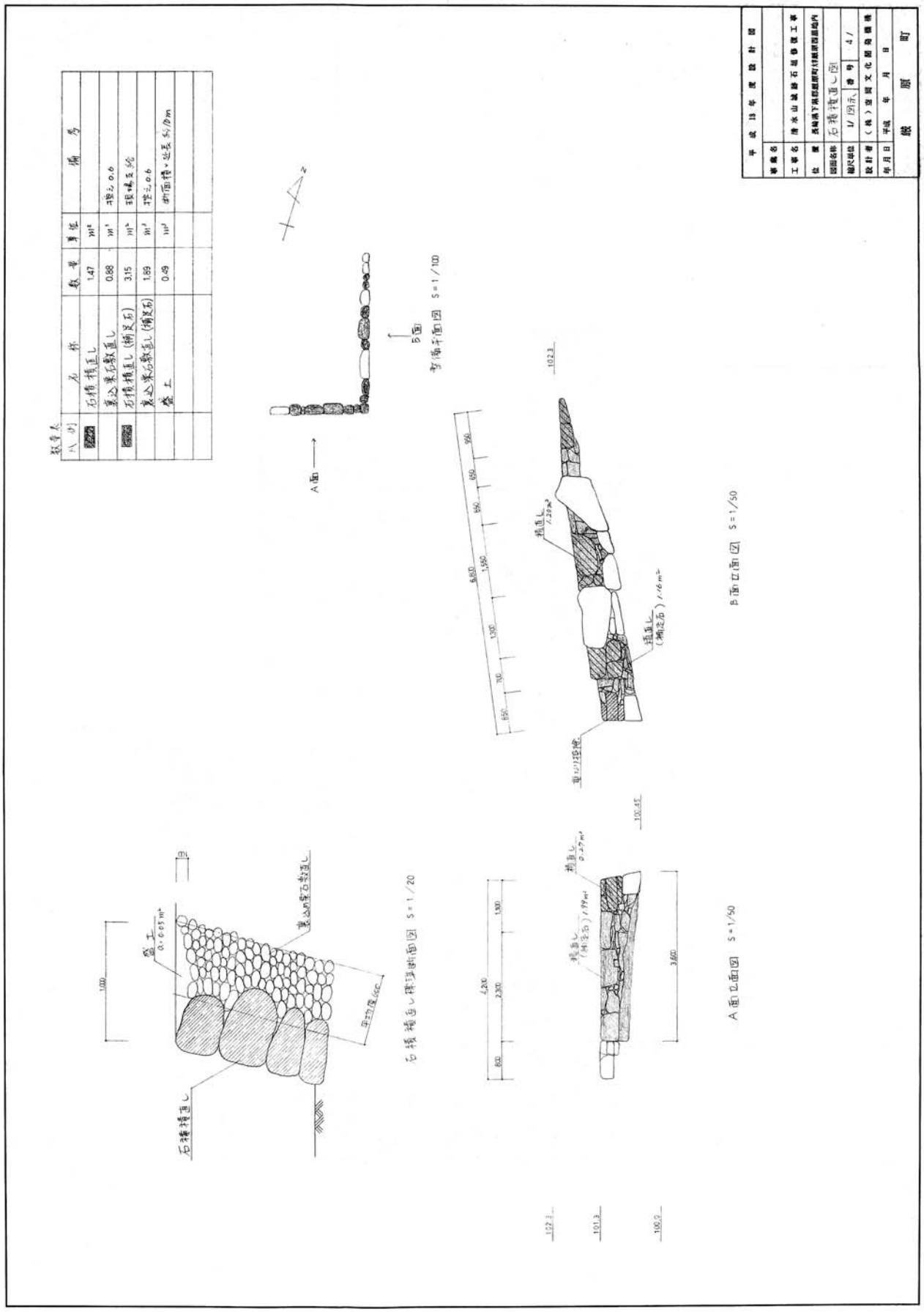
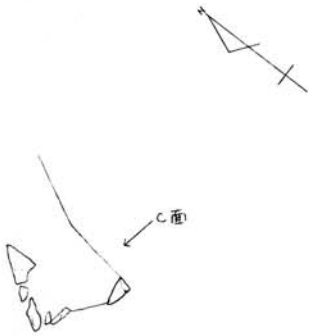


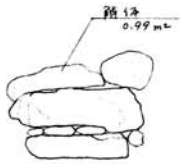
図20　平成13年度整備工事設計図 4



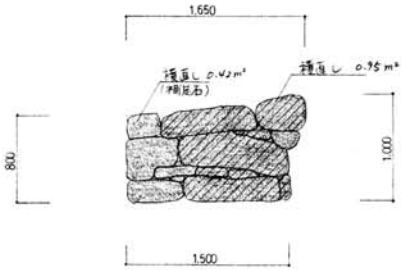
平面図 S=1/100

数量表

凡例	名称	数量	単位	備考
	石積解体	0.99	m²	
	裏込め栗石解体	0.59	m³	解体面積×0.6
	石積積直し	0.95	m²	
	裏込め栗石敷直し	0.57	m³	埋土0.6
	石積積直し(補足石)	0.42	m²	現場支給
	裏込め栗石敷直し(補足石)	0.25	m³	埋土0.6
	盛土	0.08	m³	断面積×延長 1.6m



C面解体立面図 S=1/30



C面積直し立面図 S=1/30

平成13年度設計図			
事業名			
工事名	清水山城跡石垣修復工事		
位置	長崎県下県郡厳原町大字厳原西里地内		
図面名称	C面石積解体・積直し図		
縮尺単位	1/例示	番号	5/
設計者	(株)空間文化開発機構		
年月日	平成 年 月 日		
厳原町			

図21 平成13年度整備工事設計図5

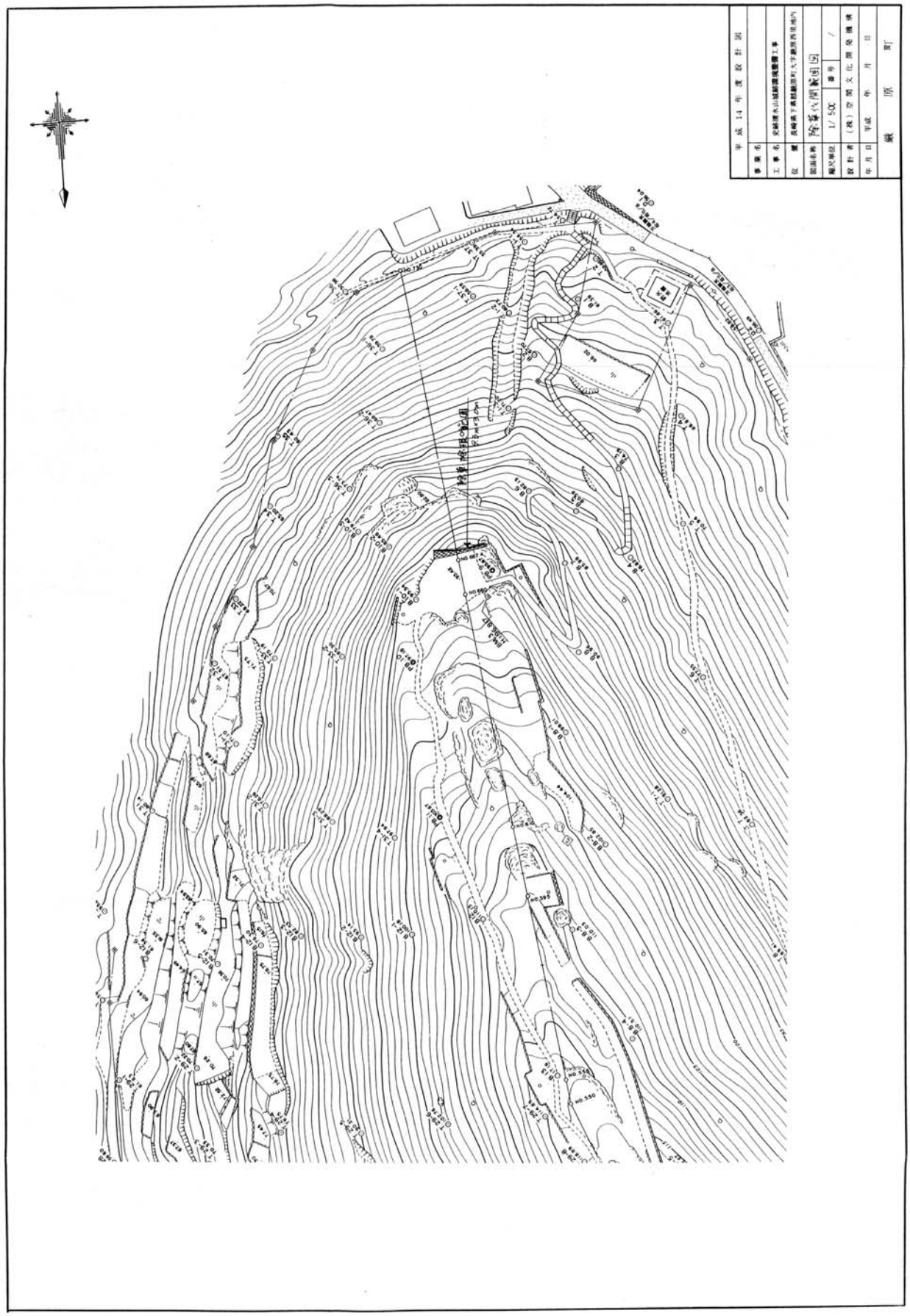


図22　平成14年度整備工事設計図 1

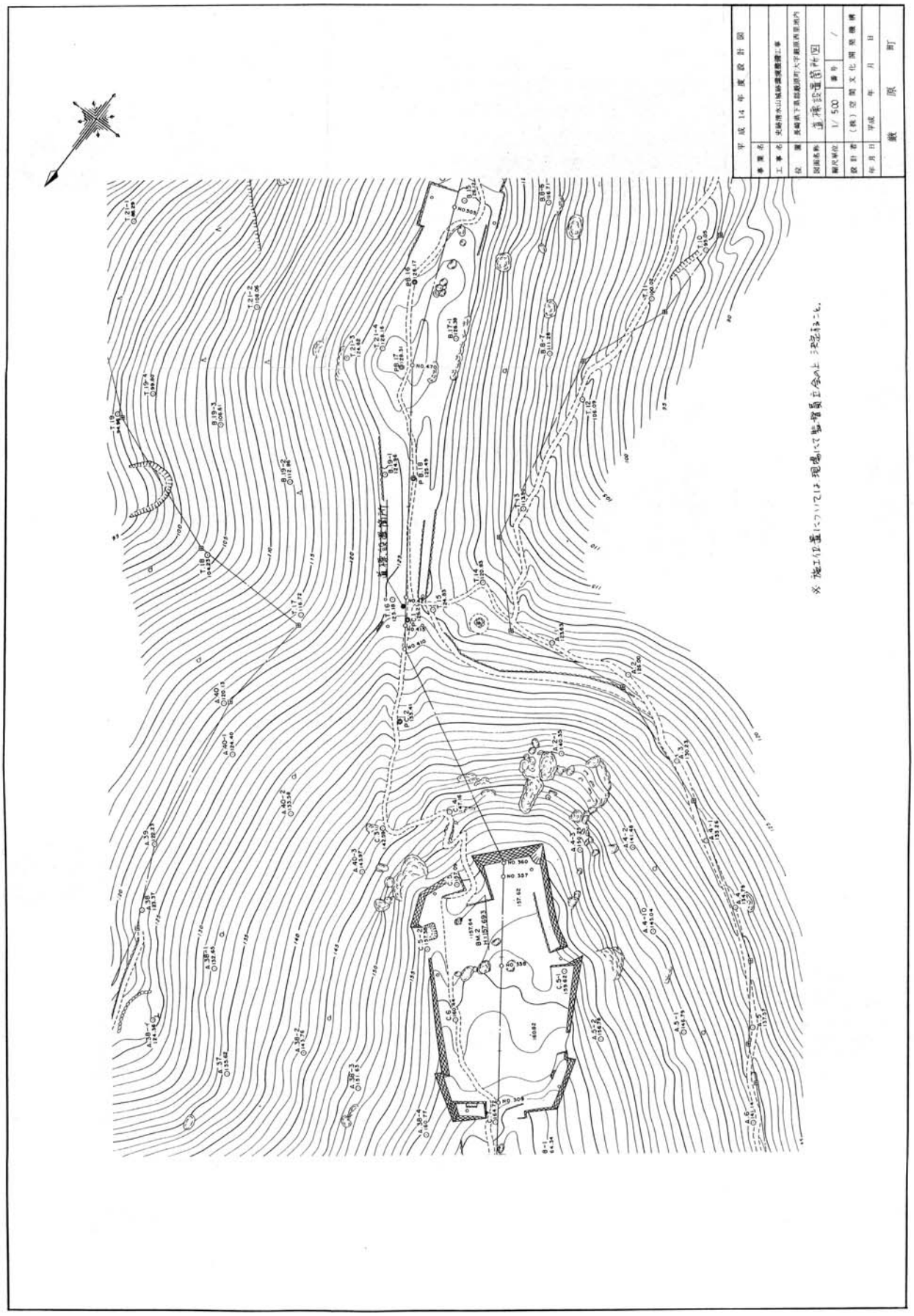


図23　平成14年度整備工事設計図 2

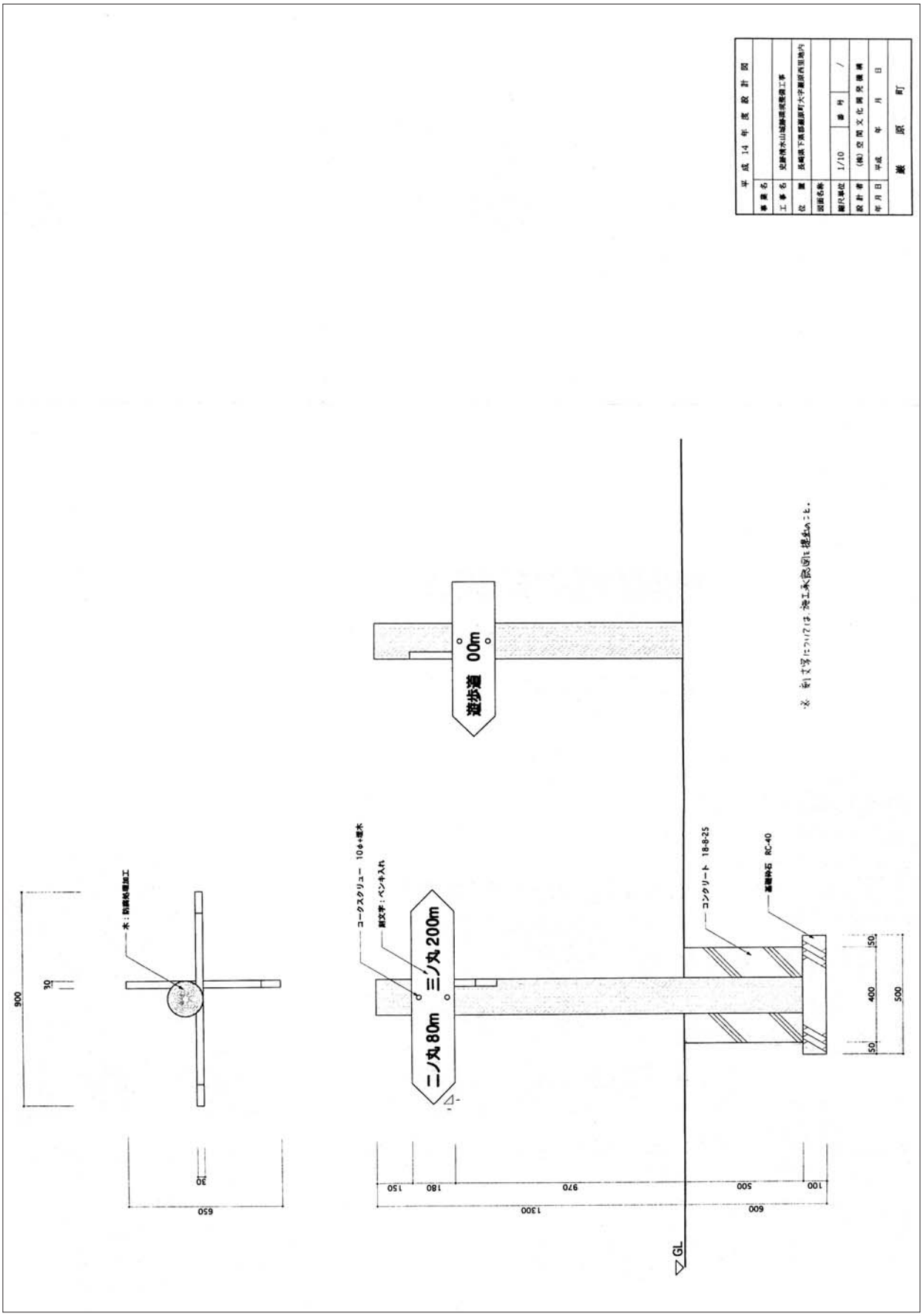


図24　平成14年度整備工事設計図 3

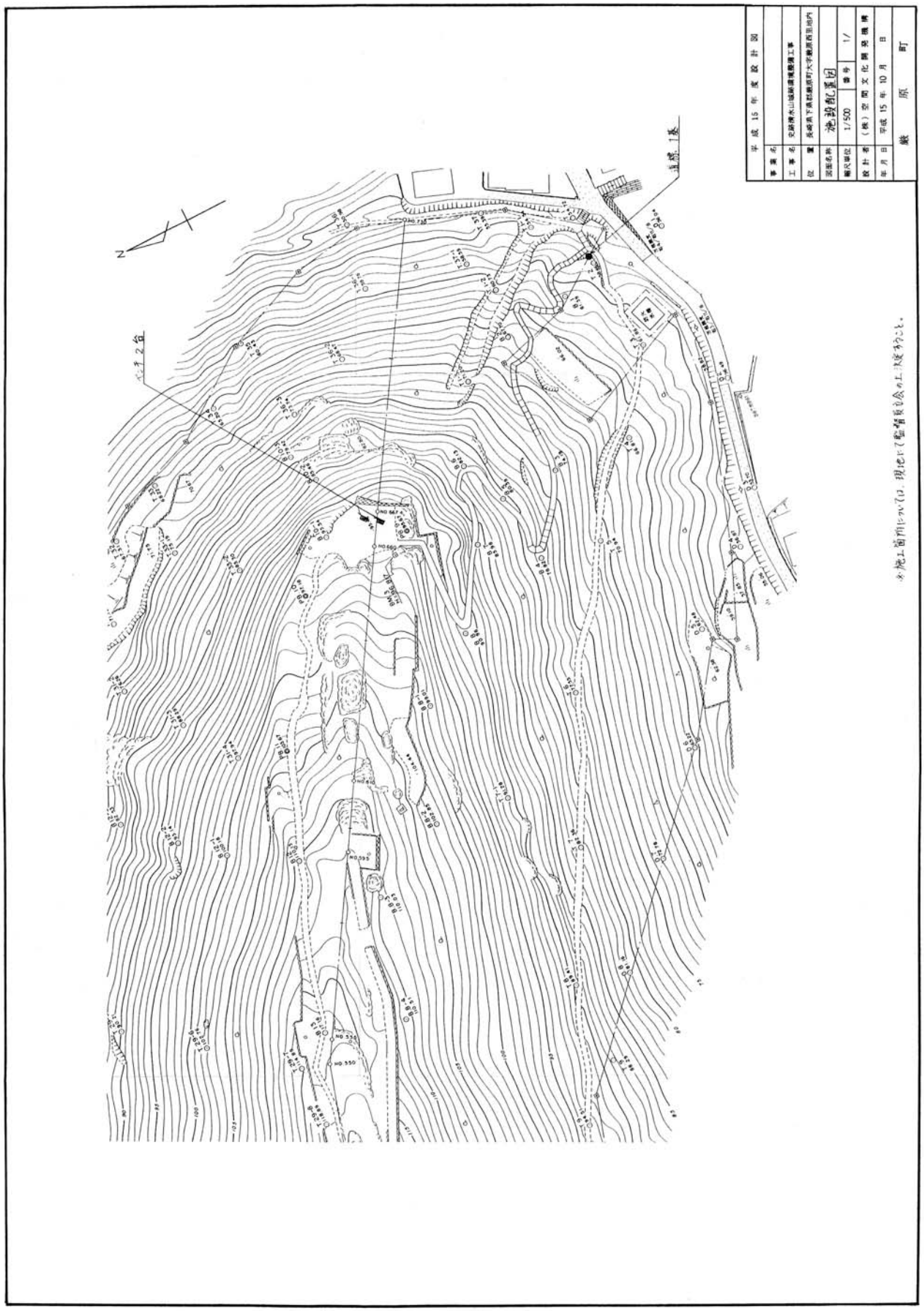


図25　平成15年度整備工事設計図 1

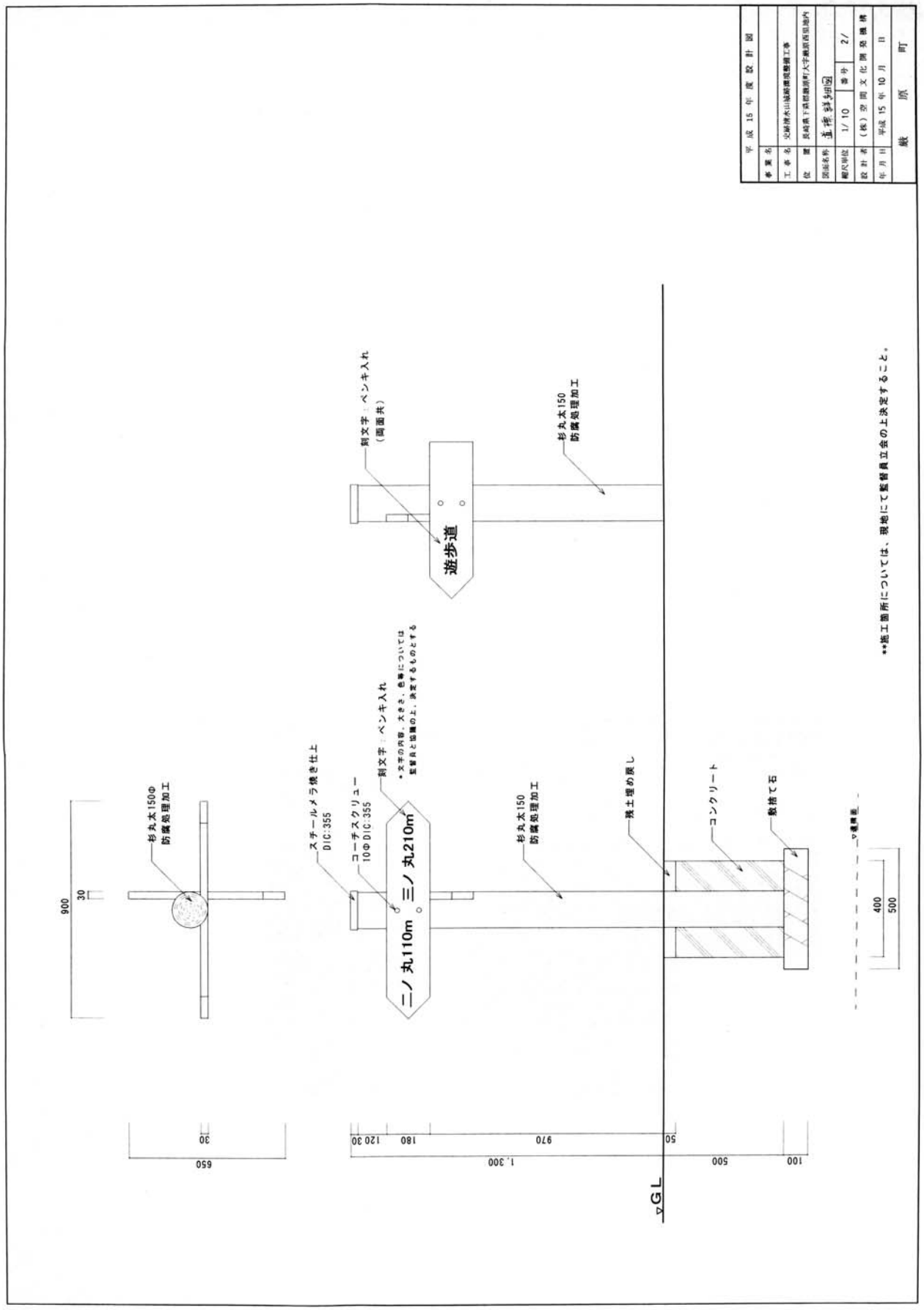


図26　平成15年度整備工事設計図２

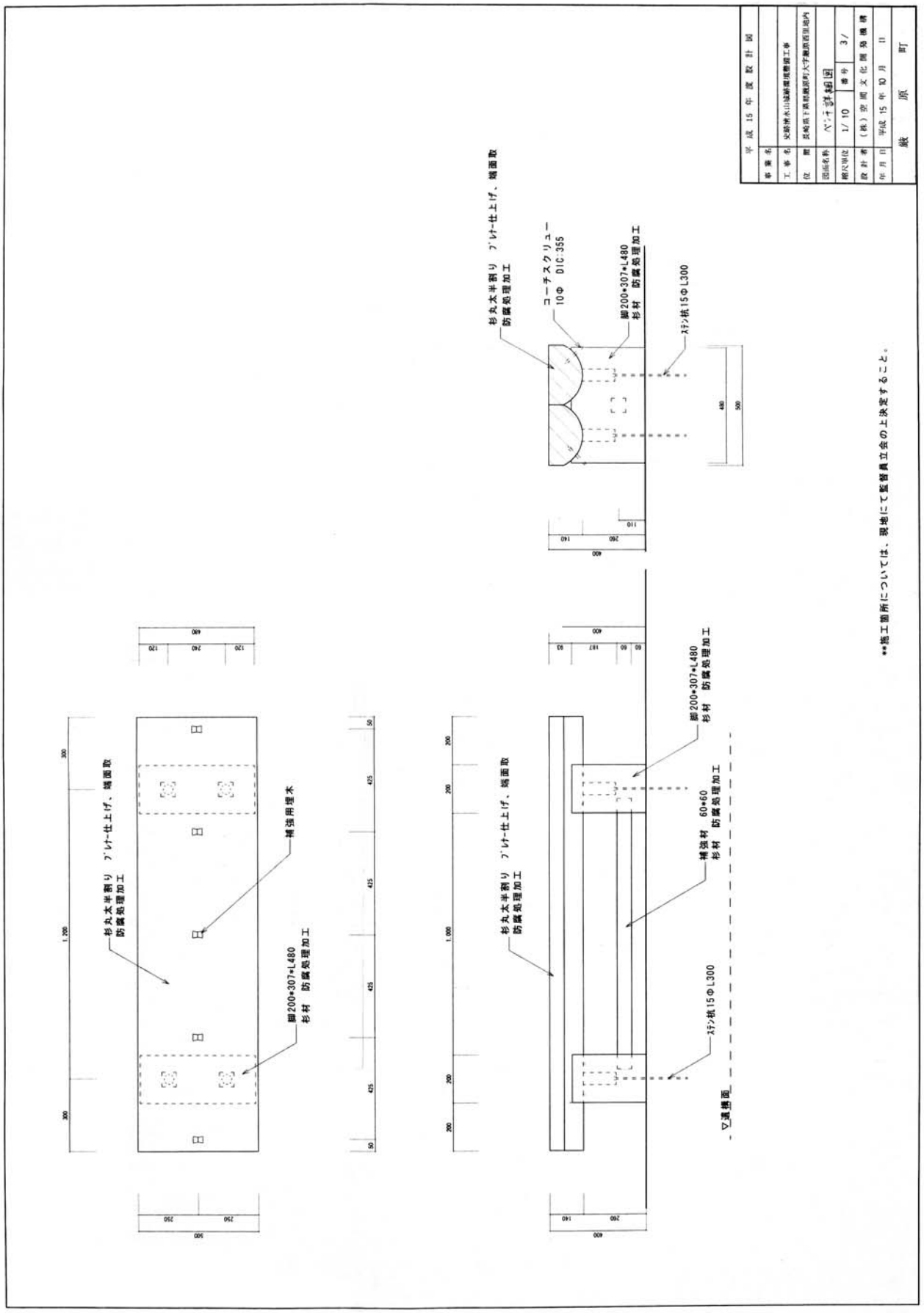


図27　平成15年度整備工事設計図 3

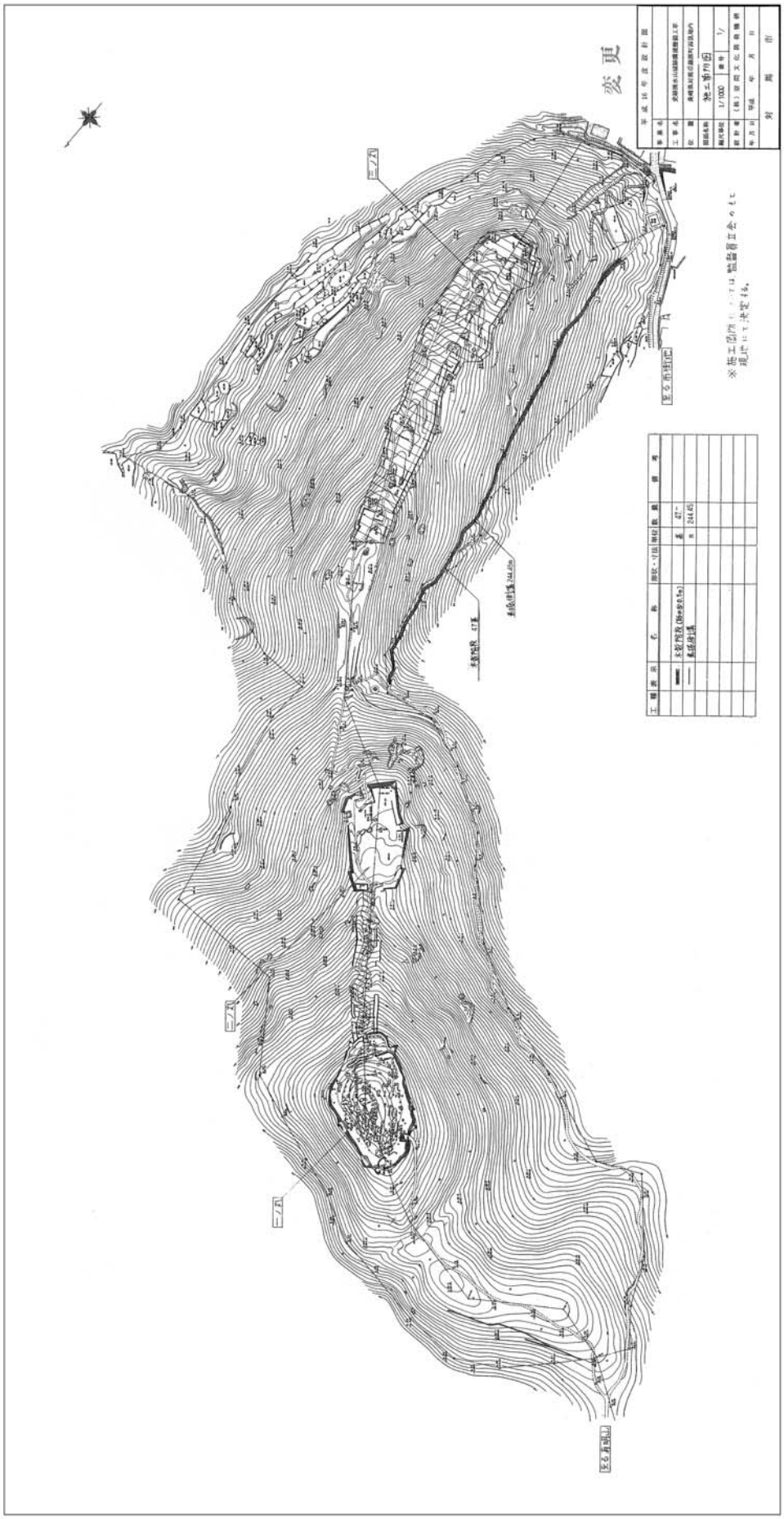


図28　平成16年度整備工事設計図 1

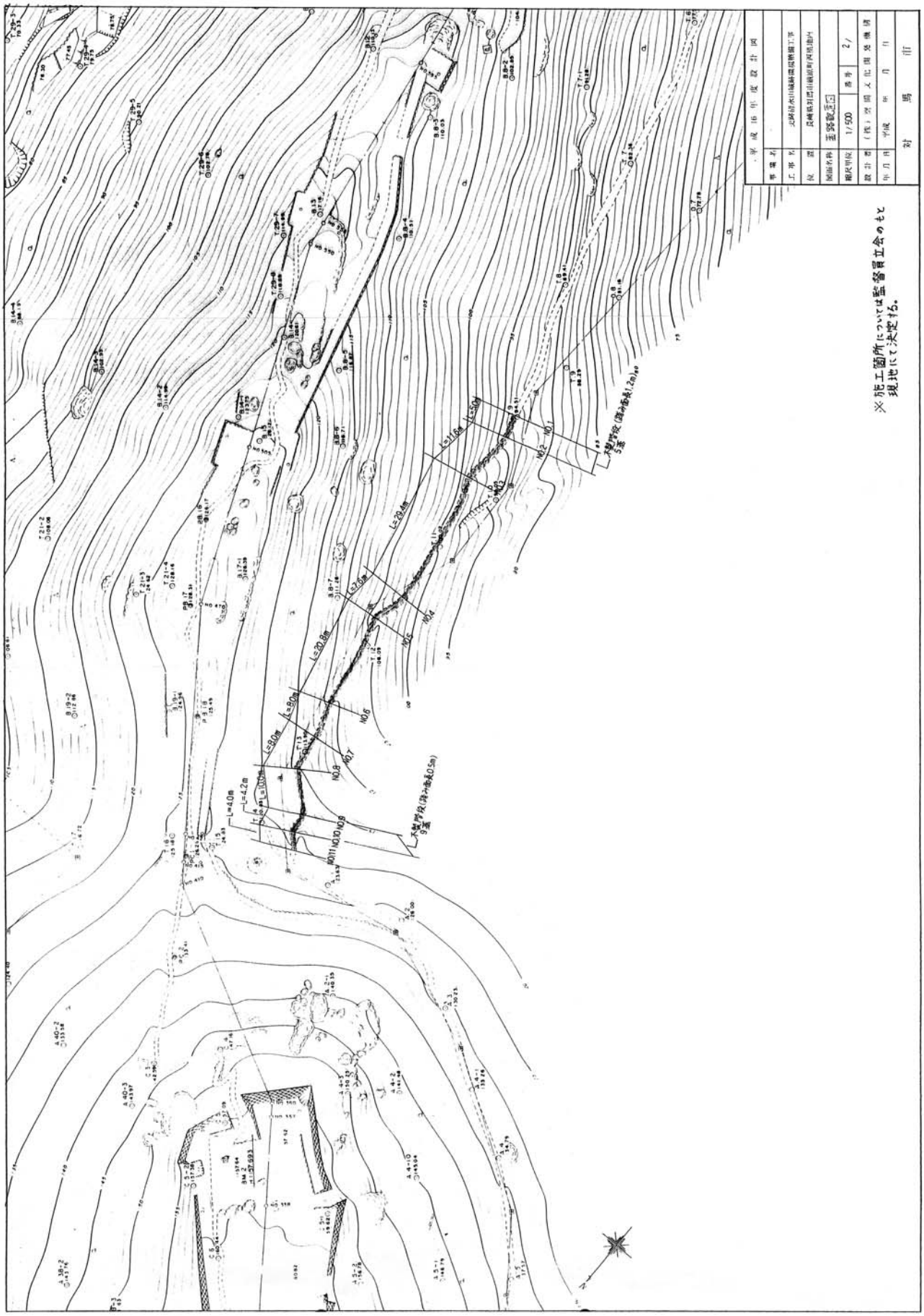


図29　平成16年度整備工事設計図 2

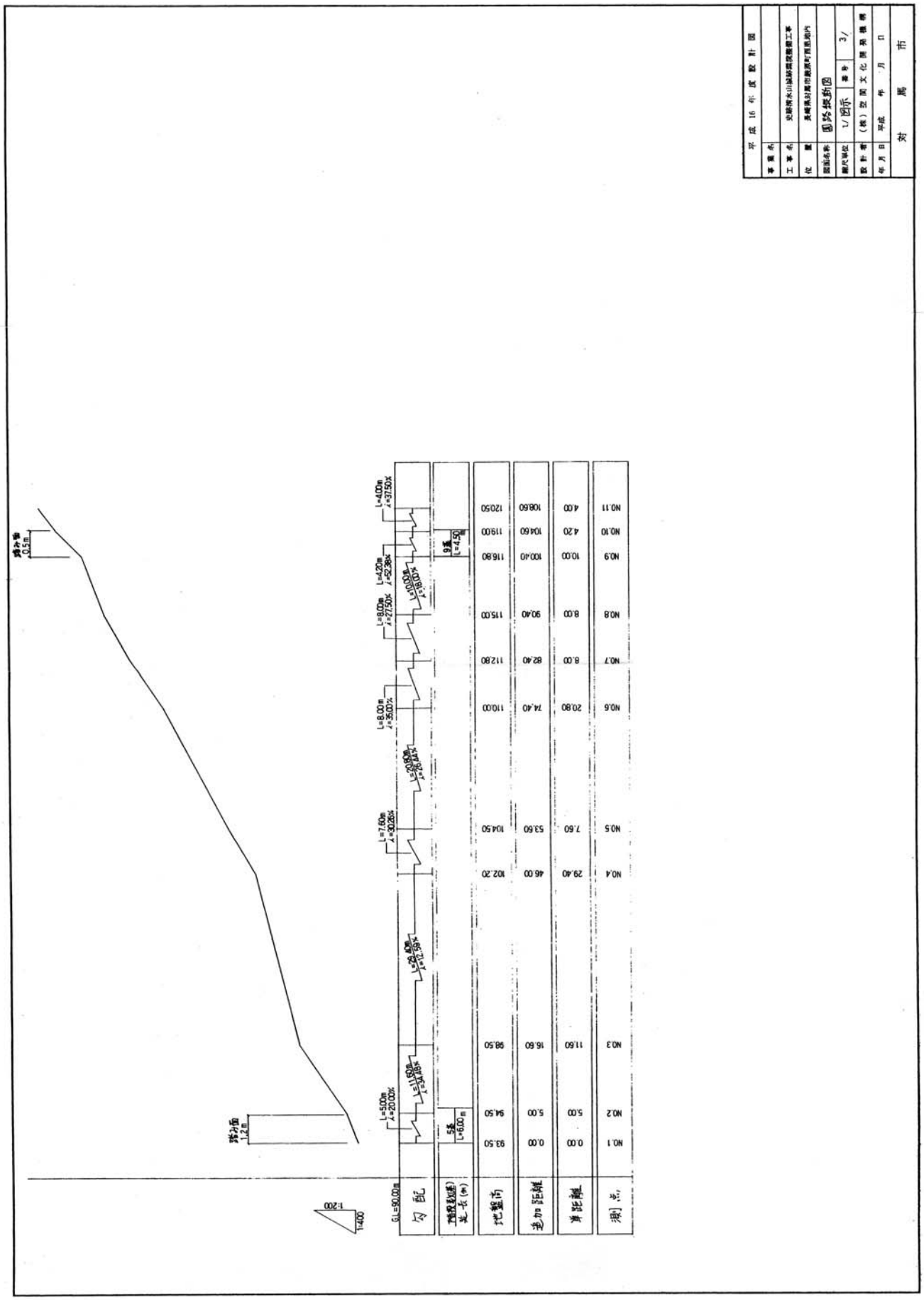


図30　平成16年度整備工事設計図 3

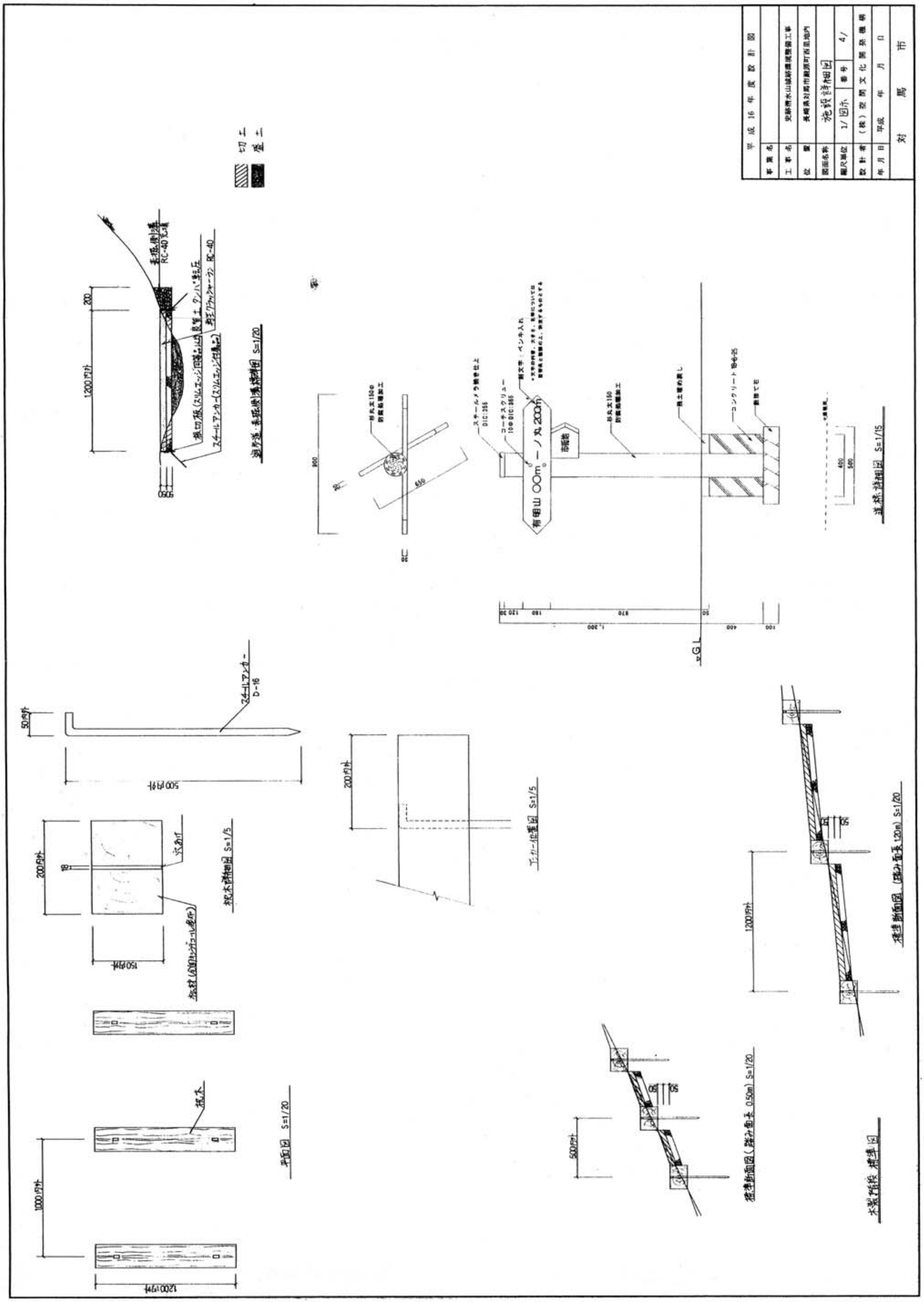


図31　平成16年度整備工事設計図 4

図32　平成17年度整備工事設計図 1

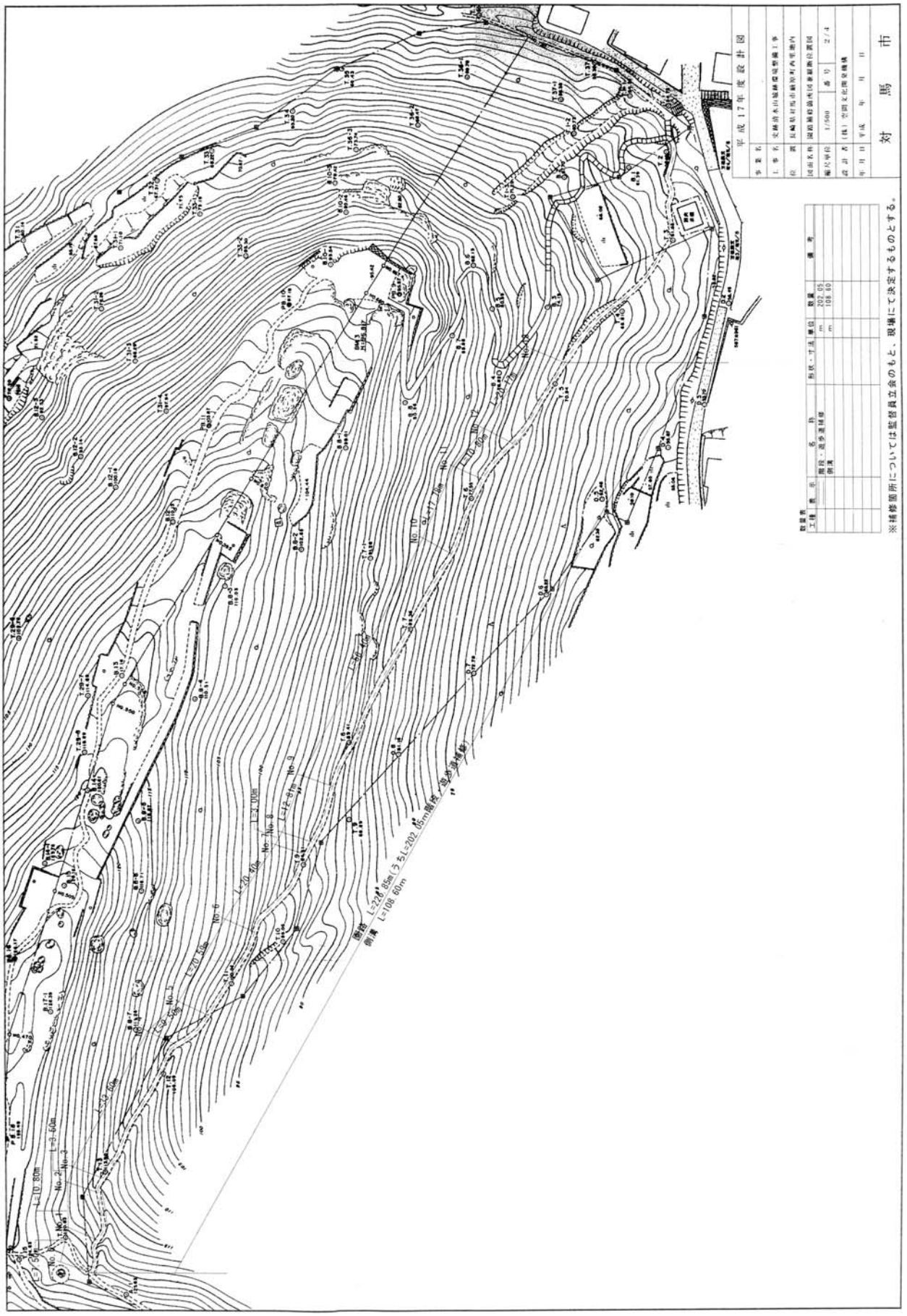


図33　平成17年度整備工事設計図 2

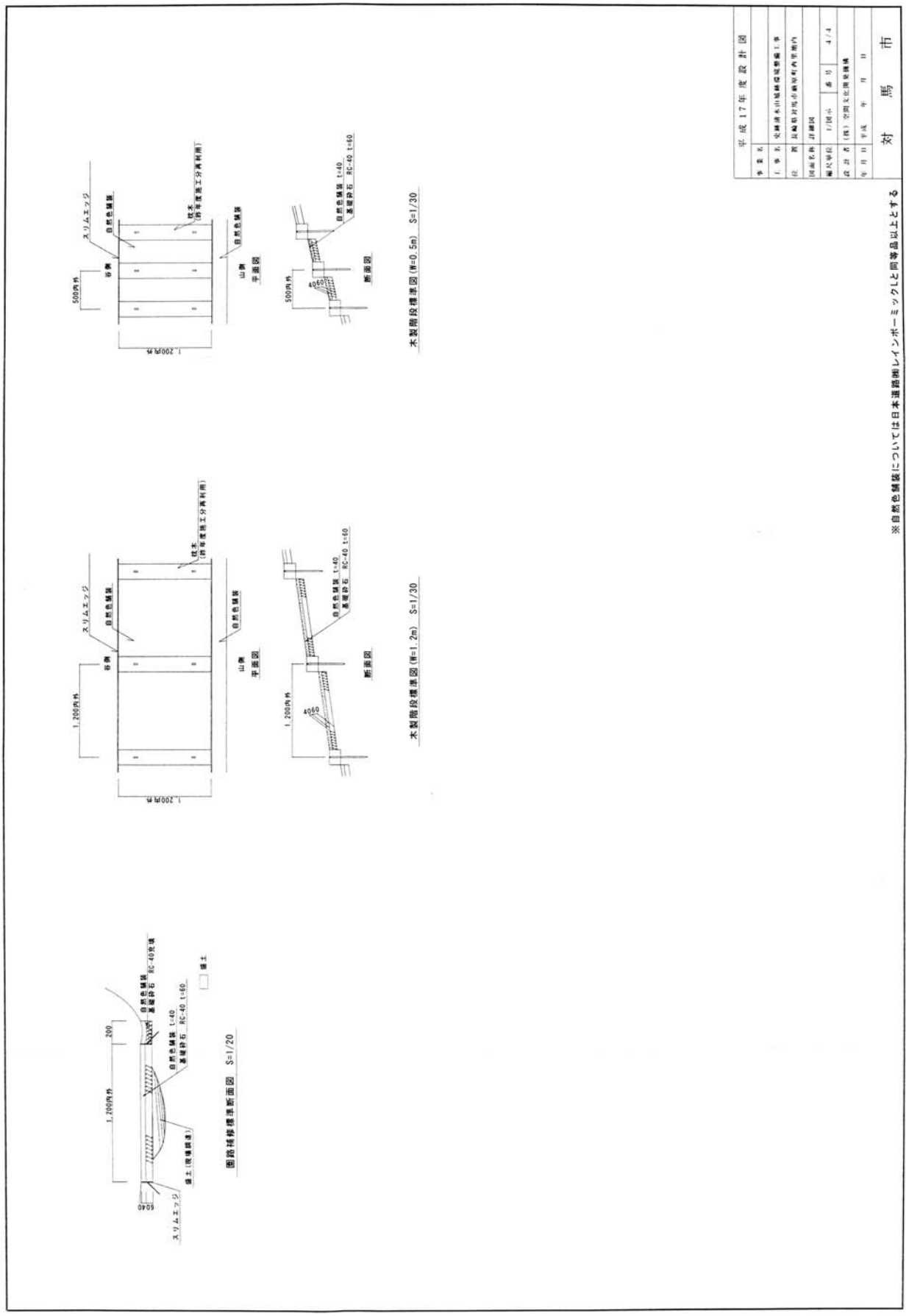


図34　平成17年度整備工事設計図 3

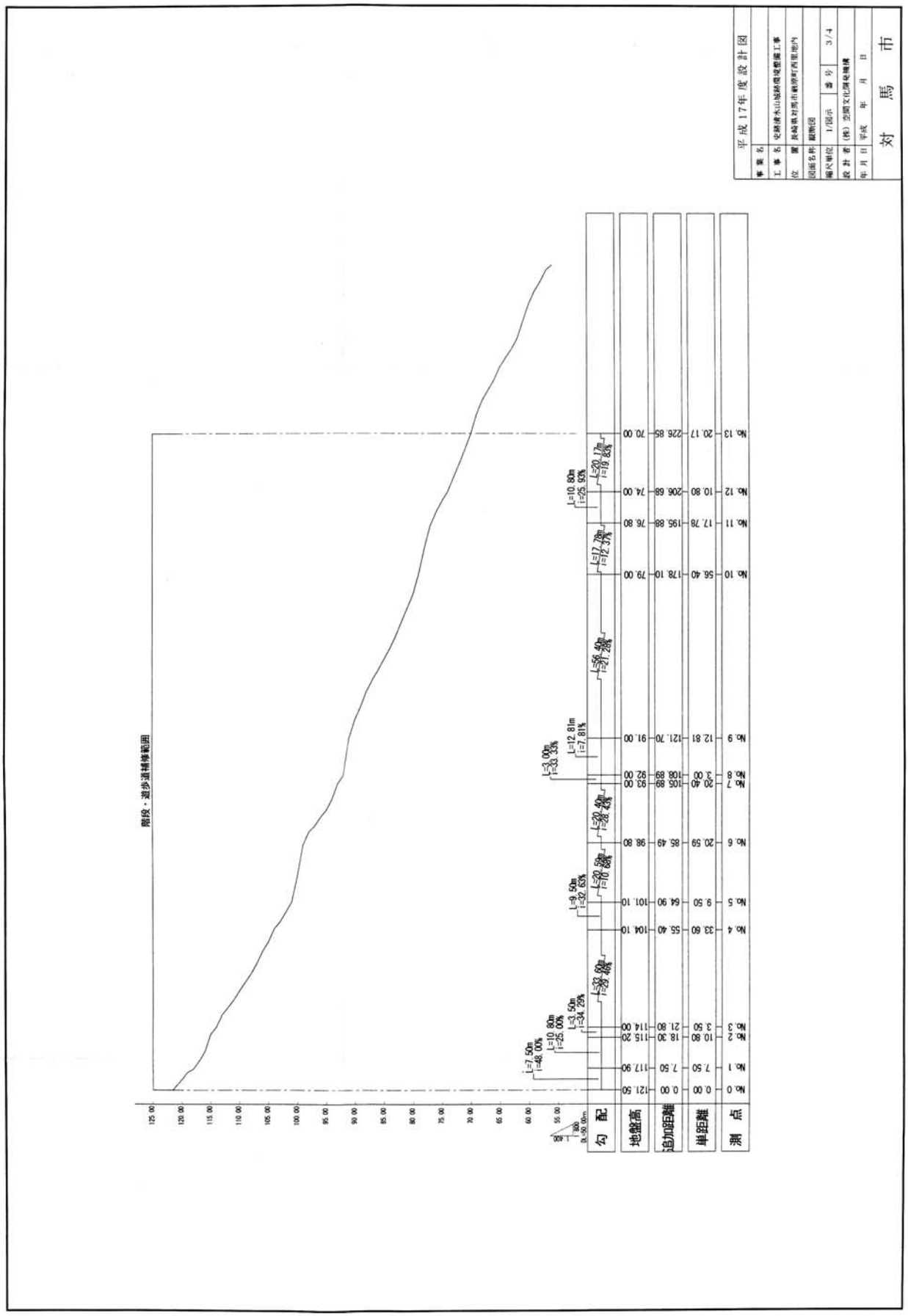
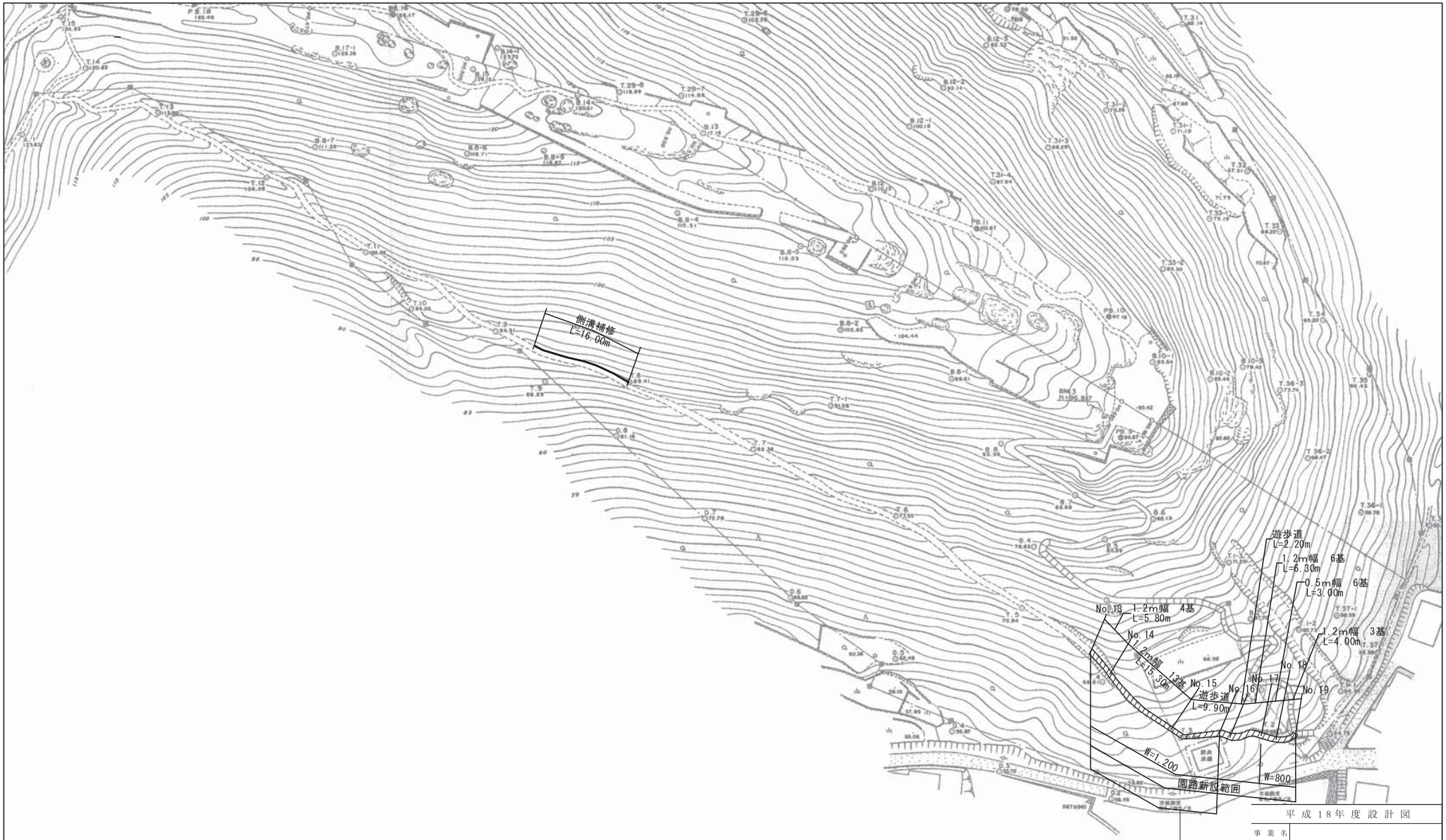


図35　平成17年度整備工事設計図 4

図36　平成18年度整備工事設計図 1



数量表

工種	表示	名称	形状・寸法	単位	数量	備考
		園路新設		m	31.00	園路新設総延長
		遊歩道	W=1,200	m	27.60	31.00-17段＊0.2=27.60
		木製階段	W=1,200	基	17.00	
		側溝		m	31.00	
		側溝補修		m	16.00	

※補修箇所については監督員立会のもと、現場にて決定するものとする。

平成18年度設計図

事業名	
工事名	史跡清水山城跡環境整備工事
位置	長崎県対馬市厳原町今里地内
図面名称	園路施工箇所図兼縦断位置図
縮尺単位	1/500　番号　1/3
設計者	(株) 空間文化開発機構
年月日	平成　年　月　日

対　馬　市

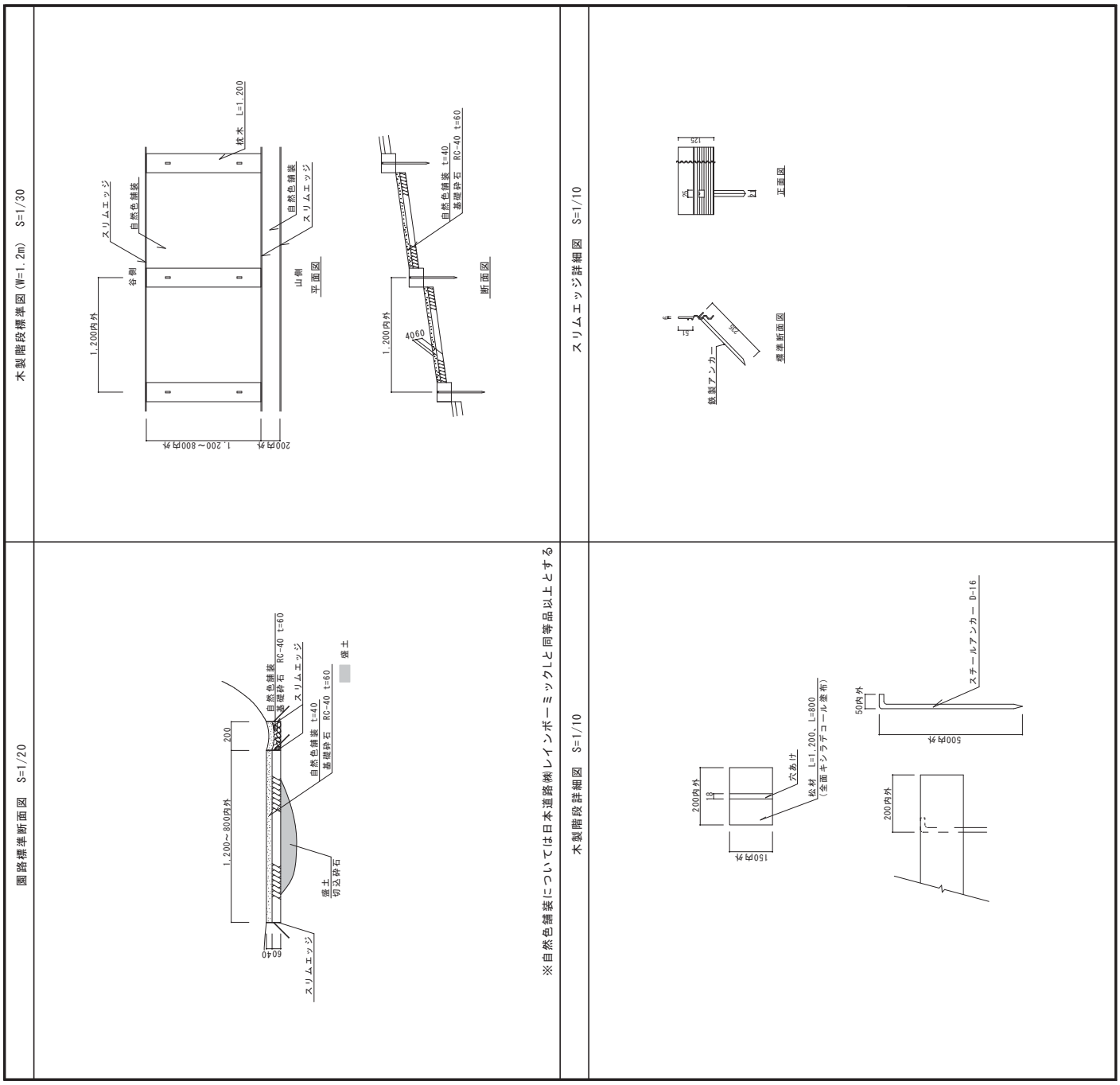


図37　平成18年度整備工事設計図 2

図38　平成24年度整備工事設計図 1

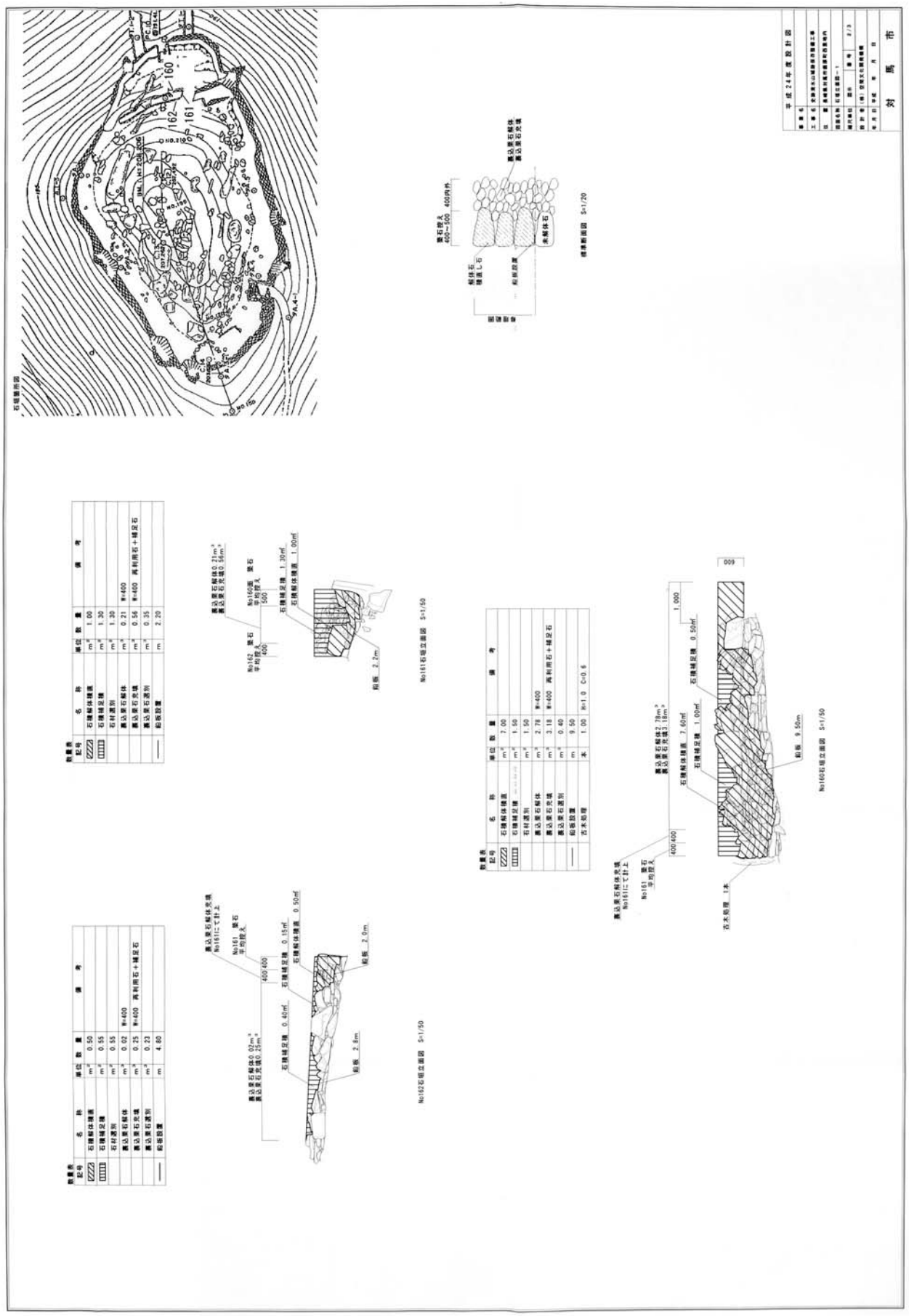


図39　平成24年度整備工事設計図 2

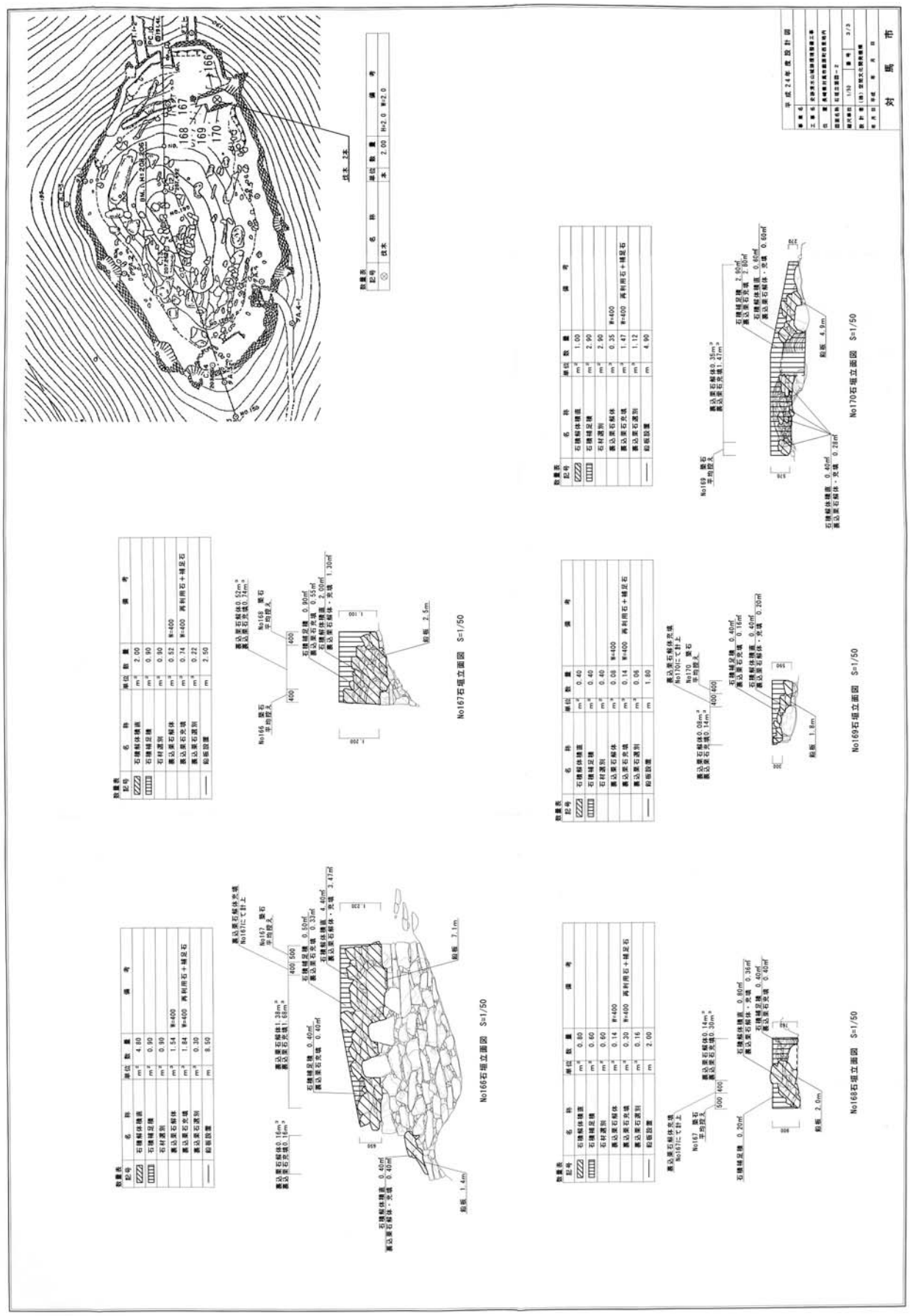


図40　平成24年度整備工事設計図 3

図41　平成25年度整備工事設計図 1

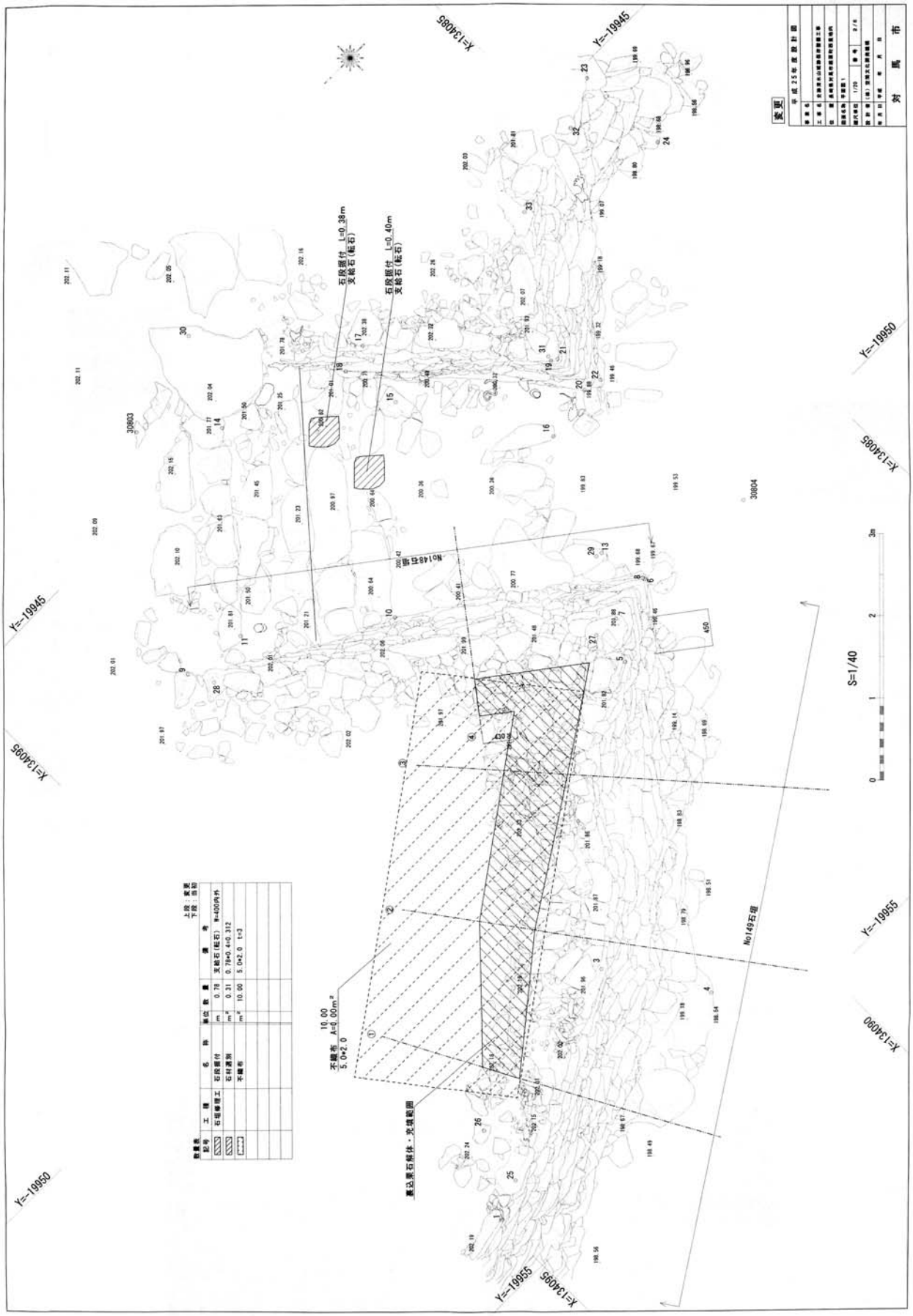


図42　平成25年度整備工事設計図 2

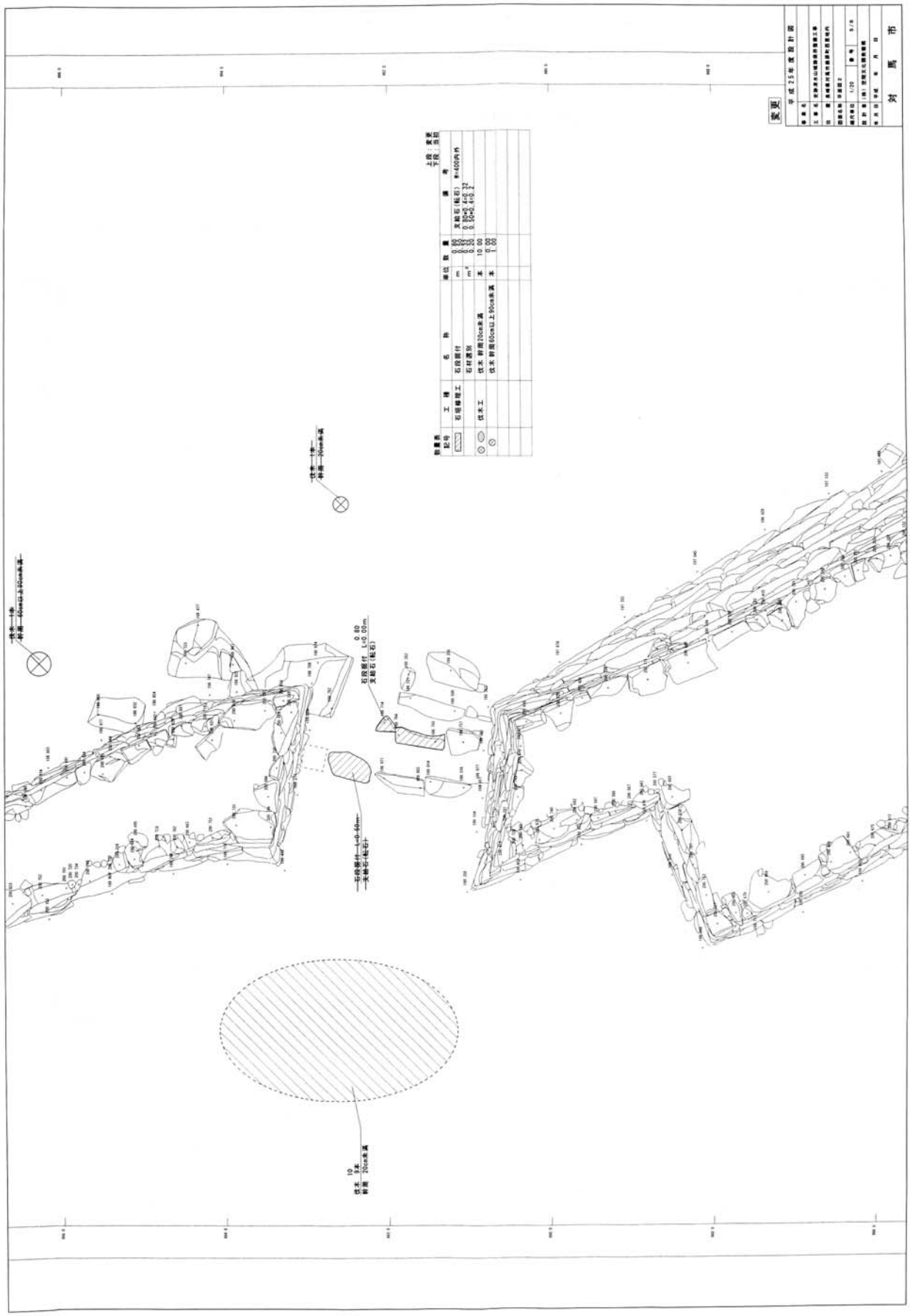


図43　平成25年度整備工事設計図 3

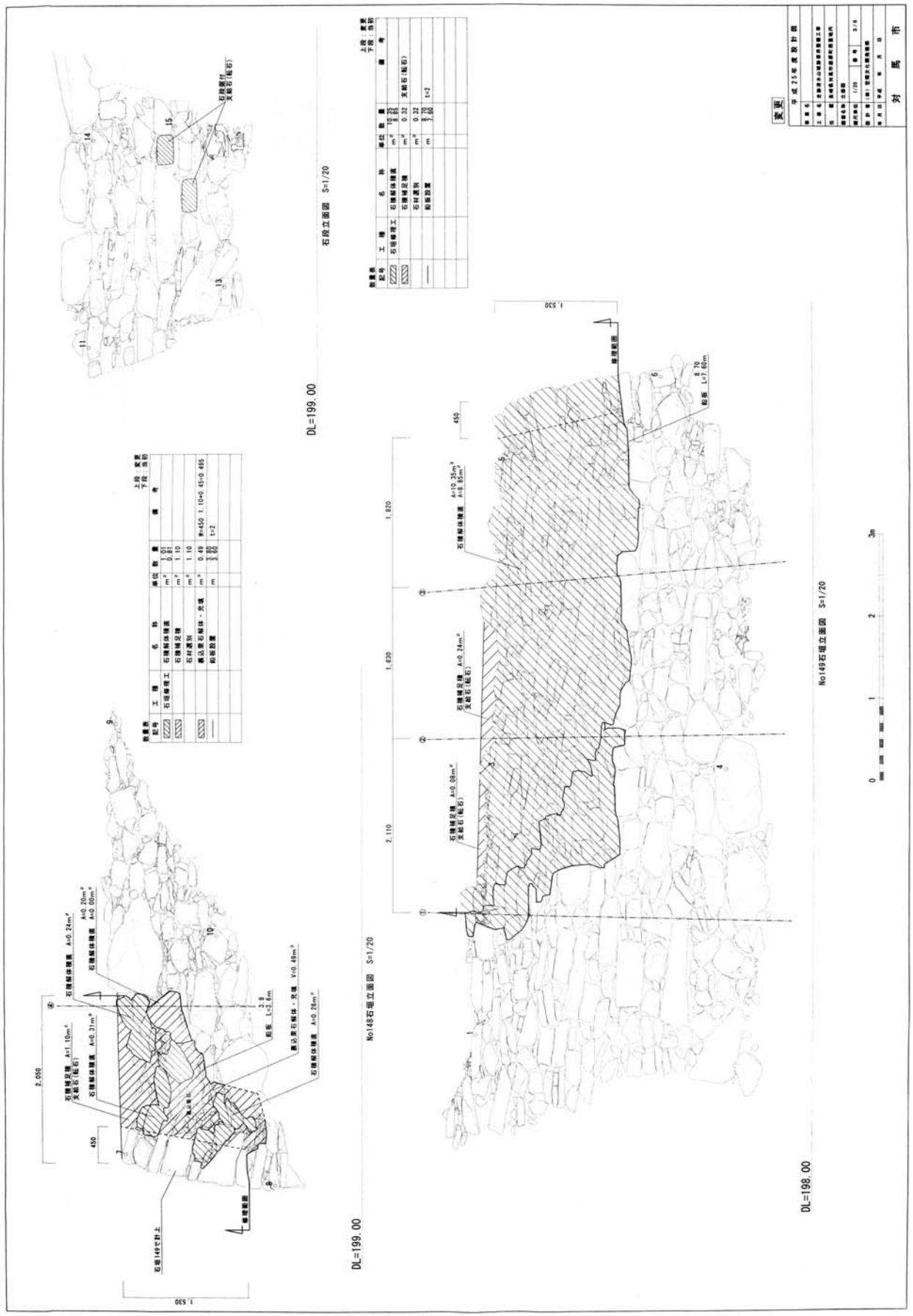


図44　平成25年度整備工事設計図 4

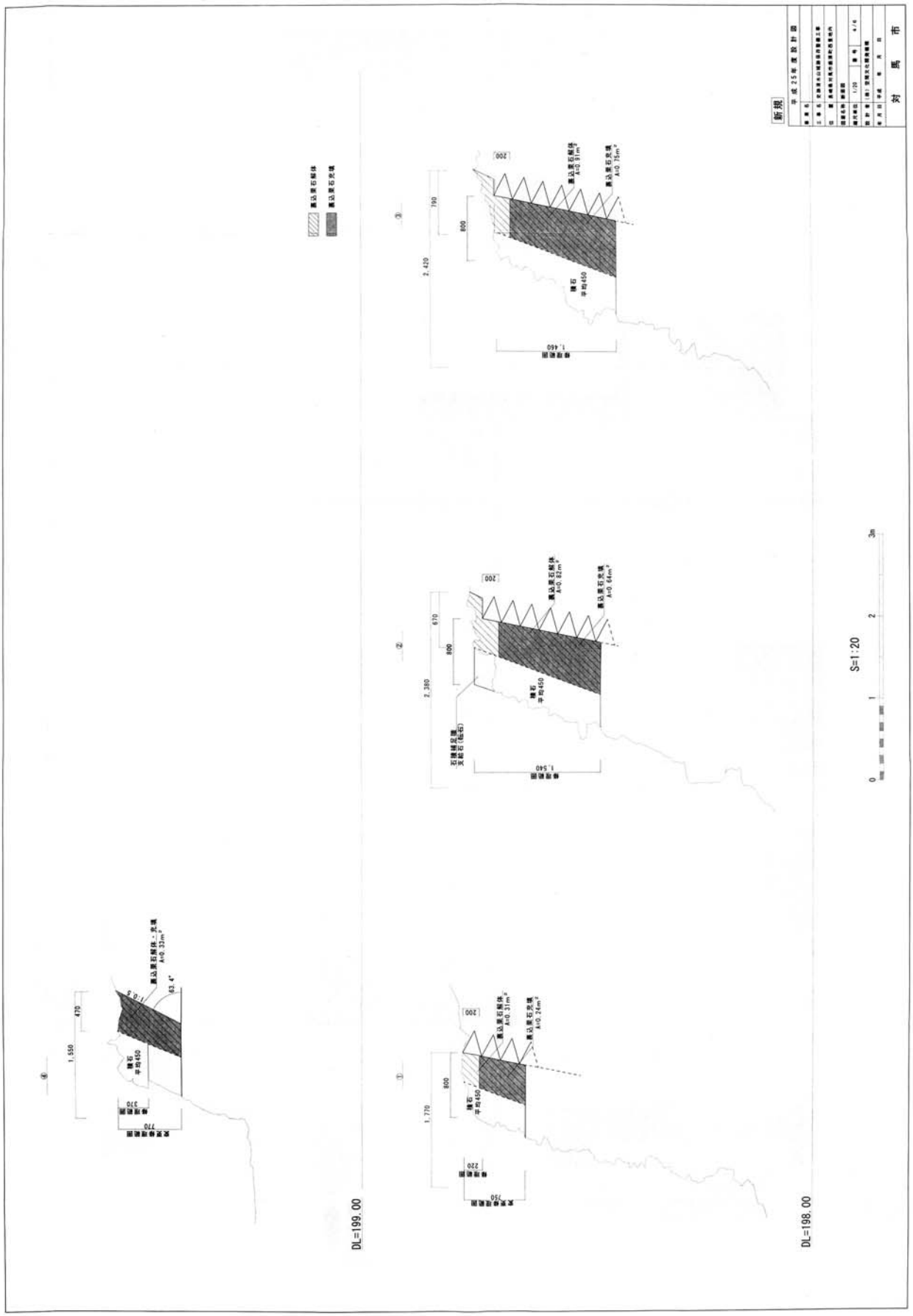


図45　平成25年度整備工事設計図 5

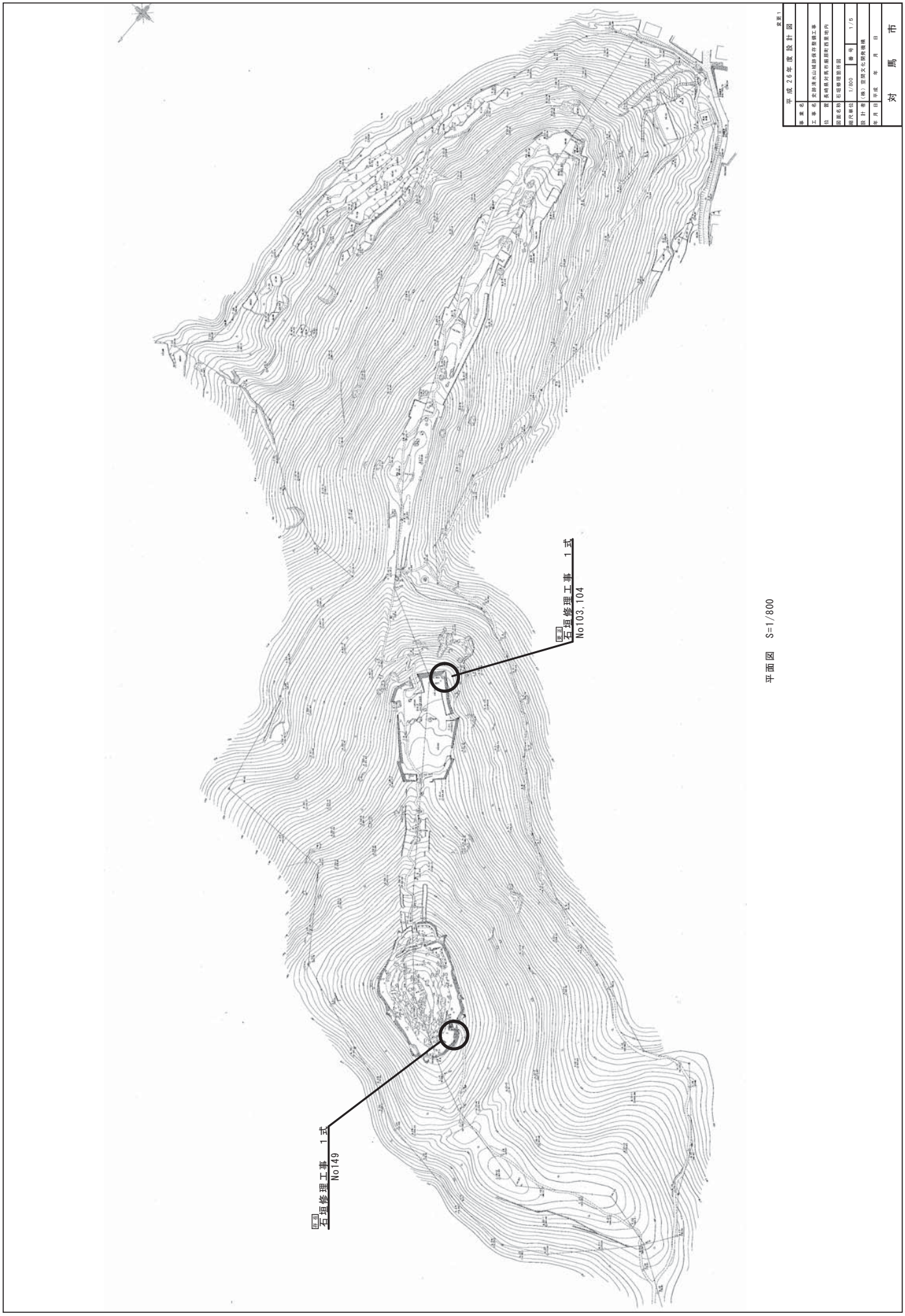


図46　平成26年度整備工事設計図 1

図47　平成26年度整備工事設計図 2

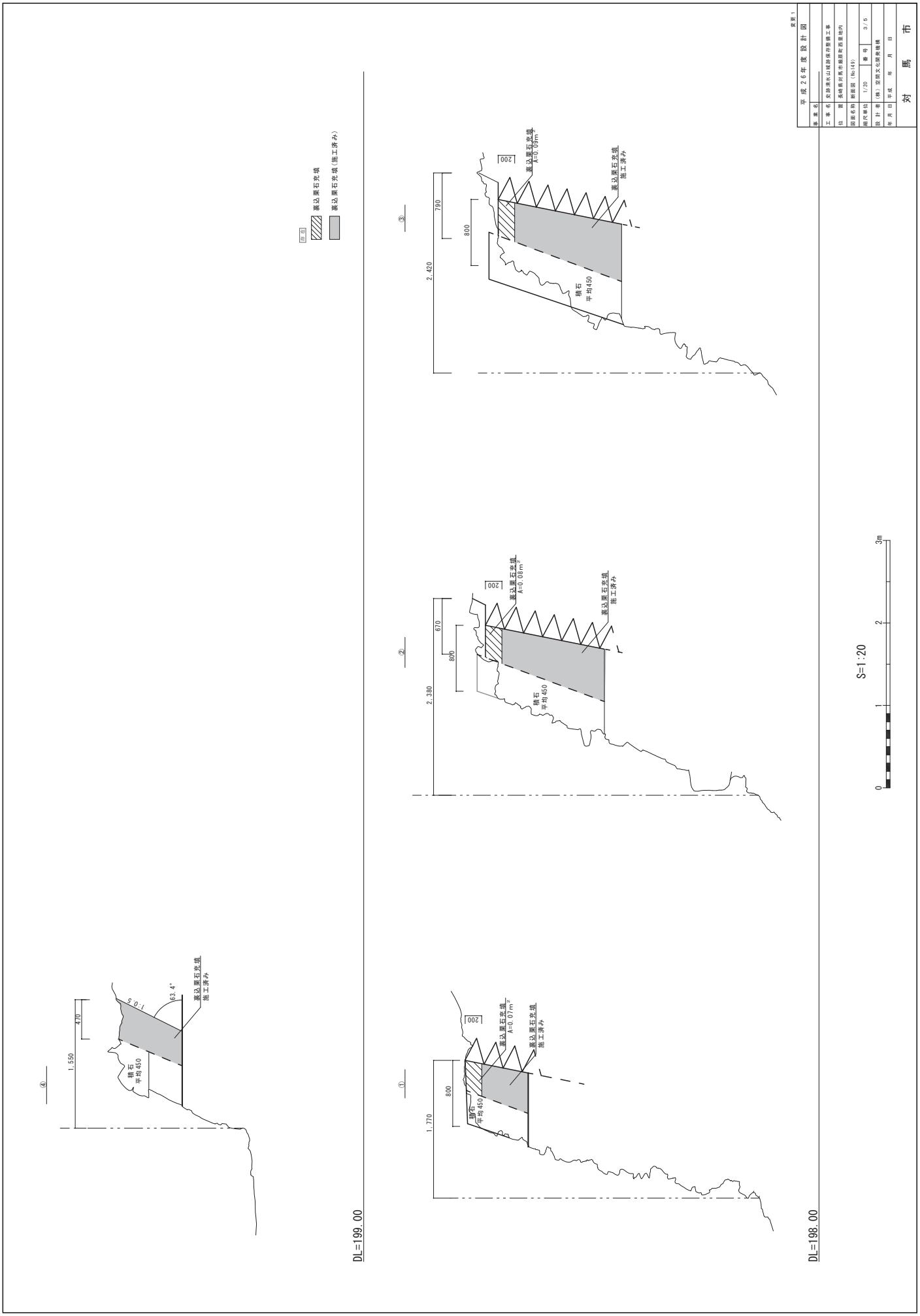


図48　平成26年度整備工事設計図 3

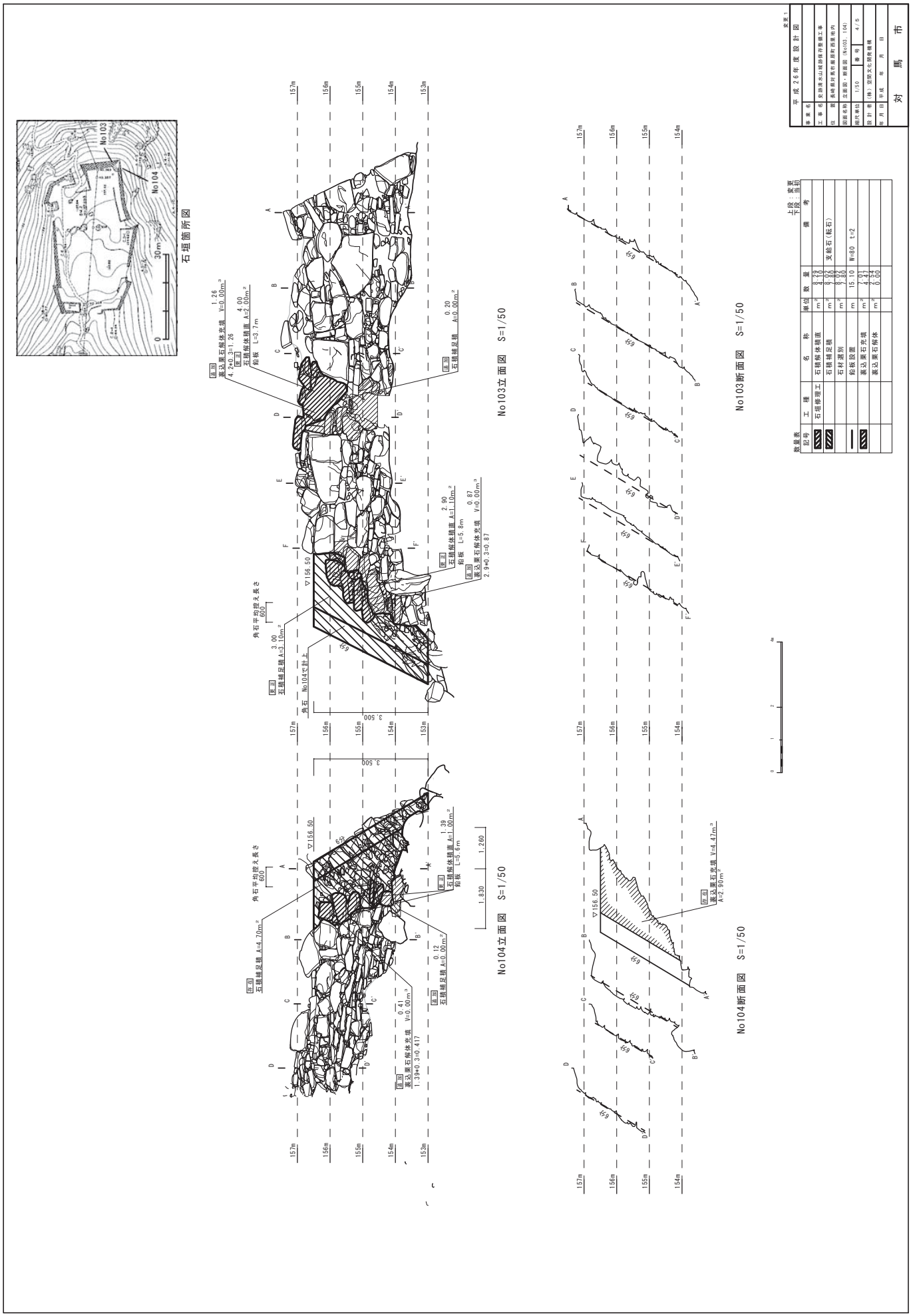
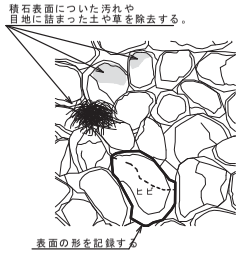


図49　平成26年度整備工事設計図 4

石垣修理仕様・・・

□ 解体工事



①清　　掃

・石垣解体範囲及びその周辺をホウキ、ブラシ等で、積み石の汚れを落とすとともに、目地に詰まった土や草を除去する。なお、必要以上に負荷をかけ、積石を破損しないようにすること。

②石組み調査

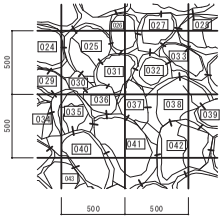
・破石やヒビの入った積石については、解体前にベニア板もしくは番線にて型をとる。

・縦横50cm間隔に墨打ちし、積み石間の接点に印を入れる。
積み直しの際の目安とするため、工事が完了するまで消えないように管理すること。

・石垣の天端位置、高さ、勾配を確認し、杭等で現場に残しておく。

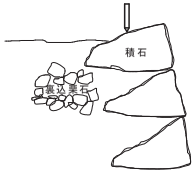
③番号付け　その１

・解体範囲及び隣接石にテープもしくはチョークにて番号を付す。
番号は天端から順に水平に振っていく。　　001,002,003～



④記　　録　その１

・番付け後、石垣立面を撮影する。また、現況図をベースに番付け図を作成する。



⑤番号付け　その２

・積石控え部分に、正面と同じ番号を墨書きする。

⑥石垣解体

・本工事は三又等を使って人力にて、上から水平に栗石、積石の順に解体していく。

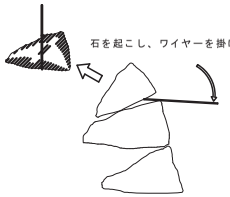
・石の取り外し、吊り上げ作業は慎重に行い、欠損のないように留意する。

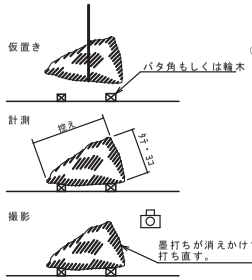
・裏込め栗石は全て再利用することから、土を振るい落とす。

・背面盛土は現状保存を基本とするが、安定を欠く恐れがある場合は、監督員と協議の上安定化を図ることとする。

・解体作業中に発掘調査員が実測図の作成、もしくは写真撮影を行う場合は、指示に従い作業を中断すること。

・当該石垣周辺で転石(崩落石)は、解体石材と同様に取り扱う。
なお、解体石材と区別するため、石材控え部分に『H25-001～』と付す。



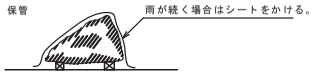


⑦積石運搬・仮置き

・解体した積石は輪記等を下に置いて平置きする。栗石については山積みしておく。

・仮置きした積石は、正面のﾀﾃﾖｺ寸法、控え長さを計測し、石材リストを作成する。

・仮置き状態で写真撮影する。雨が続くと墨打ちが消えてしまうことから、状況に応じてシート等により養生をする。



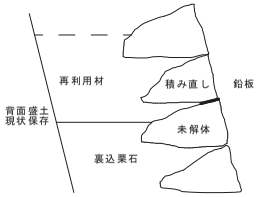
⑧積石集積

・当該石垣の前面に転落している積石を石材仮置き場に運搬する。

・石材は解体石材と同等に取り扱う。

・事前に発掘調査を行い、その成果を踏まえて作業範囲を決定する。

□ 積み直し工事



⑨石積み

・石積みは解体時の状況(実測図、立面写真、墨打ち等)を参考に行う。

・解体した積石は解体前の位置に戻し、消失部分は転石にて積み上げる。

・再利用積石は原則加工せず使用する。

・消失部分は予め石積復元図(割付図)を作成し、監督員の承認を得る。

・丁張りを設置し監督員立ち会いの上で、積み直し勾配、天端高さの確認を行う。

・保存修理工事の記録を現場に残すため、鉛板を解体範囲と未解体部分の間に設置する。

・裏込栗石は解体前の幅で戻していくことを基本とするが、極端に狭く、構造上安定を欠く恐れがある場合は、監督員と協議の上、必要に応じて幅を変更する。

・栗石は再利用材を優先して使用し、不足分は購入する。

・施工中に孕み、ズレ等が生じた場合は、直ちに工事を中止し、監督員の指示を仰ぐ。

・施工時に付した番号(正面のみ)は積み直し後、消去する。

変更１

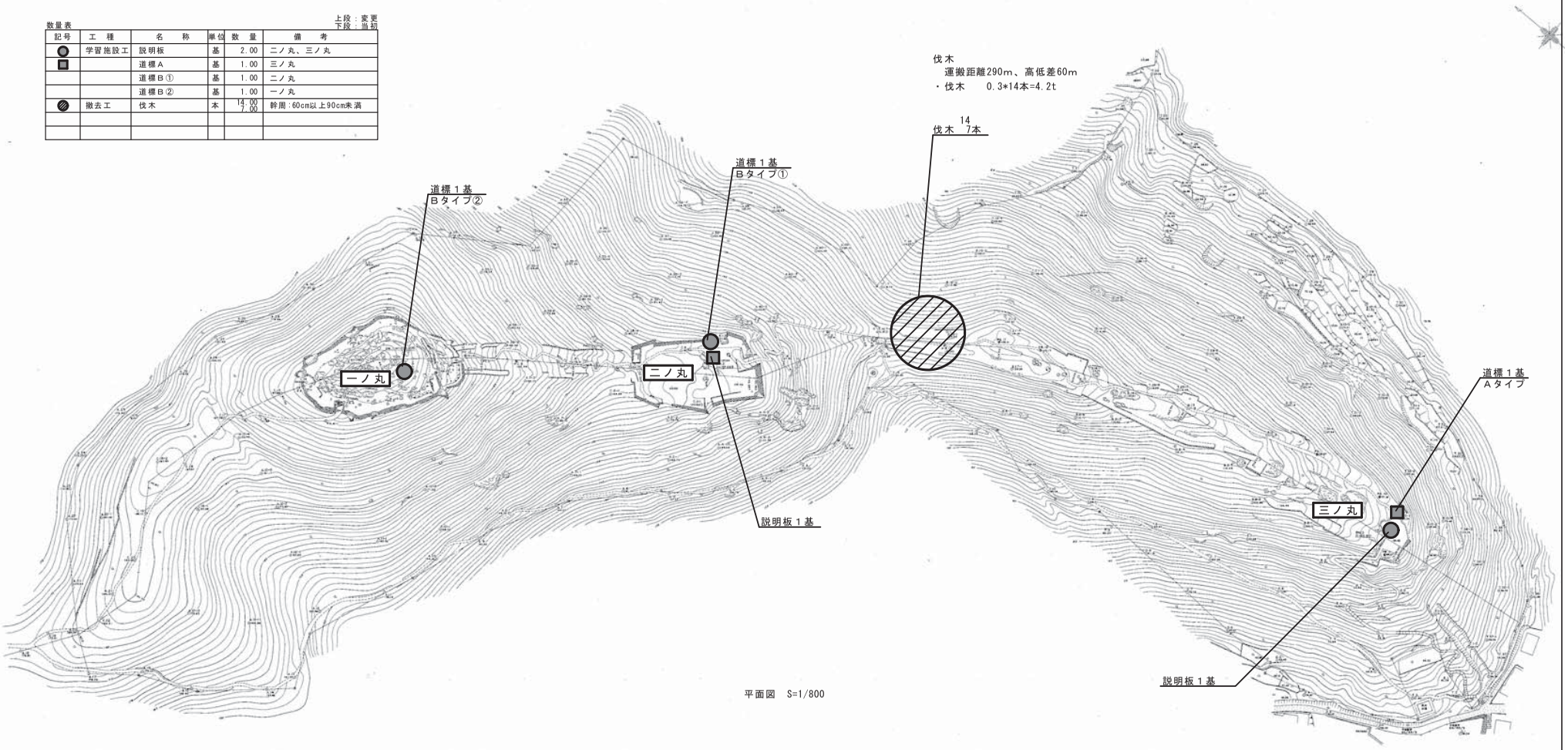
平成26年度設計図			
事業名			
工事名	史跡清水山城跡保存整備工事		
位置	長崎県対馬市厳原町西里地内		
図面名称	石垣修理仕様		
縮尺単位		番号	5/5
設計者	(株)空間文化開発機構		
年月日	平成　年　月　日		
対馬市			

図50　平成26年度整備工事設計図５

数量表

上段：変更
下段：当初

記号	工種	名称	単位	数量	備考
●	学習施設工	説明板	基	2.00	二ノ丸、三ノ丸
■		道標A	基	1.00	三ノ丸
		道標B①	基	1.00	二ノ丸
		道標B②	基	1.00	一ノ丸
▨	撤去工	伐木	本	14.00 7.00	幹周：60cm以上90cm未満



平面図　S=1/800

小運搬

一ノ丸
運搬距離470m、高低差150m

・道標　0.046t
・ｺﾝｸﾘｰﾄ　0.064*2.4=0.153t
合計　0.199t
・RC-40　0.025m³

二ノ丸
運搬距離350m、高低差100m
・説明板　0.035t
・道標　0.046t
・ｺﾝｸﾘｰﾄ　(0.064+0.072)*2.4=0.326t
合計　0.407t
・RC-40　0.032+0.025=0.057m³

三ノ丸
運搬距離150m、高低差40m
・説明板　0.035t
・道標　0.052t
・ｺﾝｸﾘｰﾄ　(0.064+0.072)*2.4=0.326t
合計　0.413t
・RC-40　0.032+0.025=0.057m³

※施工箇所は監督員の指示に従うこと。

変更１

平成27年度設計図			
事業名			
工事名	史跡清水山城跡保存整備工事		
位置	長崎県対馬市厳原町西里地内		
図面名称	工事箇所図		
縮尺単位	1/800	番号	1/2
設計者	(株)空間文化開発機構		
年月日	平成　年　月　日		
対馬市			

図51　平成27年度整備工事設計図１

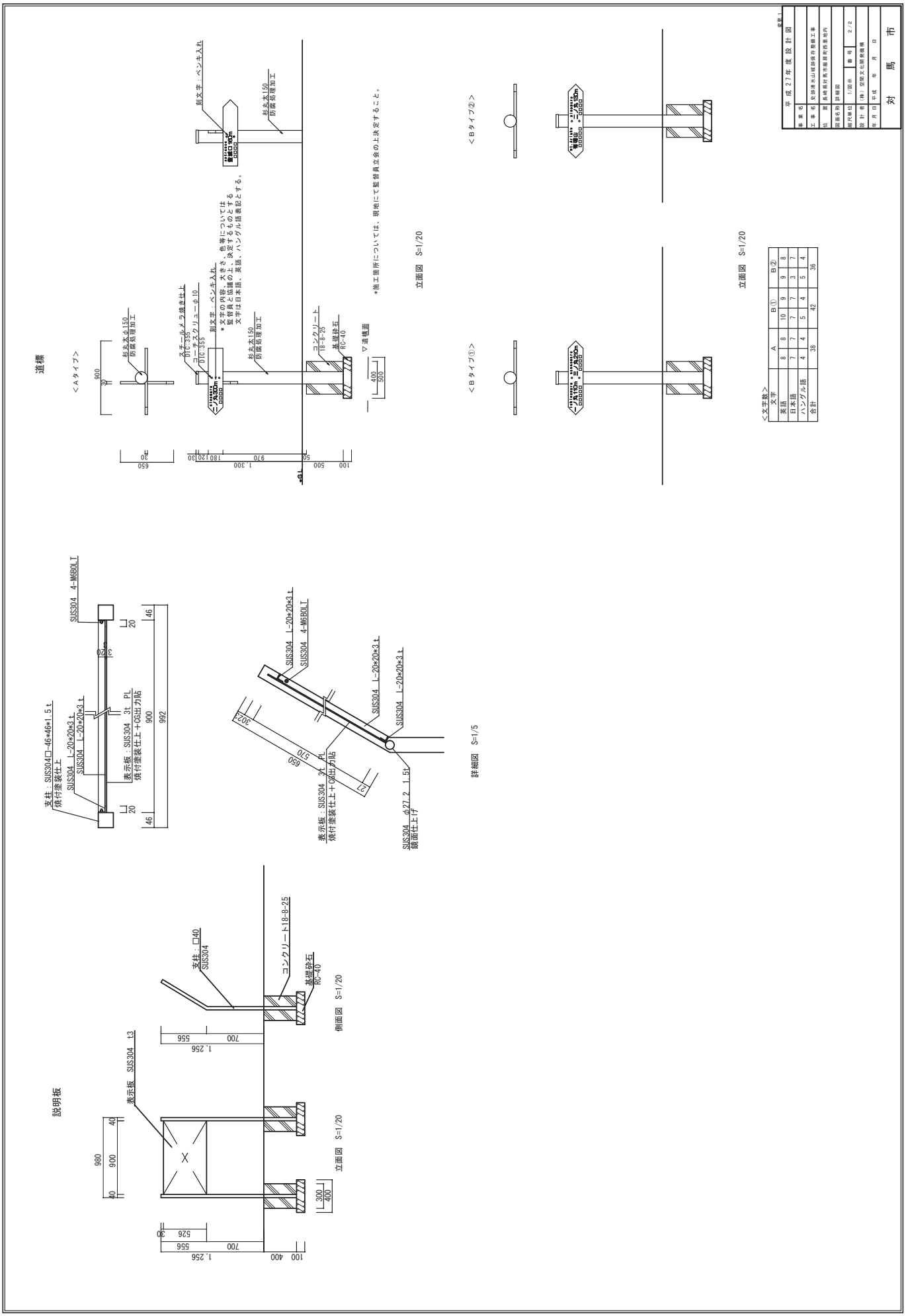


図52　平成27年度整備工事設計図 2

数量表

記号	工　種	名　　称	単位	数　量	備　　考
●	学習施設工	説明板	基	1.00	一ノ丸
■		道標	基	1.00	一ノ丸～有明山

平面図　S=1/800

小運搬

一ノ丸
運搬距離470m、高低差150m

・説明板　0.035t
・ｺﾝｸﾘｰﾄ　0.072*2.4=0.172t
合計　0.207t
・RC-40　0.032m³

一ノ丸～有明山
運搬距離690m、高低差130m

・道標　0.046t
・ｺﾝｸﾘｰﾄ　0.064*2.4=0.153t
合計　0.199t
・RC-40　0.025m³

平成28年度設計図			
事業名			
工事名	史跡清水山城跡学習施設整備工事		
位置	長崎県対馬市厳原町西里地内		
図面名称	工事箇所図		
縮尺単位	1/800	書号	1/2
設計者	（株）空間文化開発機構		
年月日	平成　年　月　日		
対馬市			

図53　平成28年度整備工事設計図１

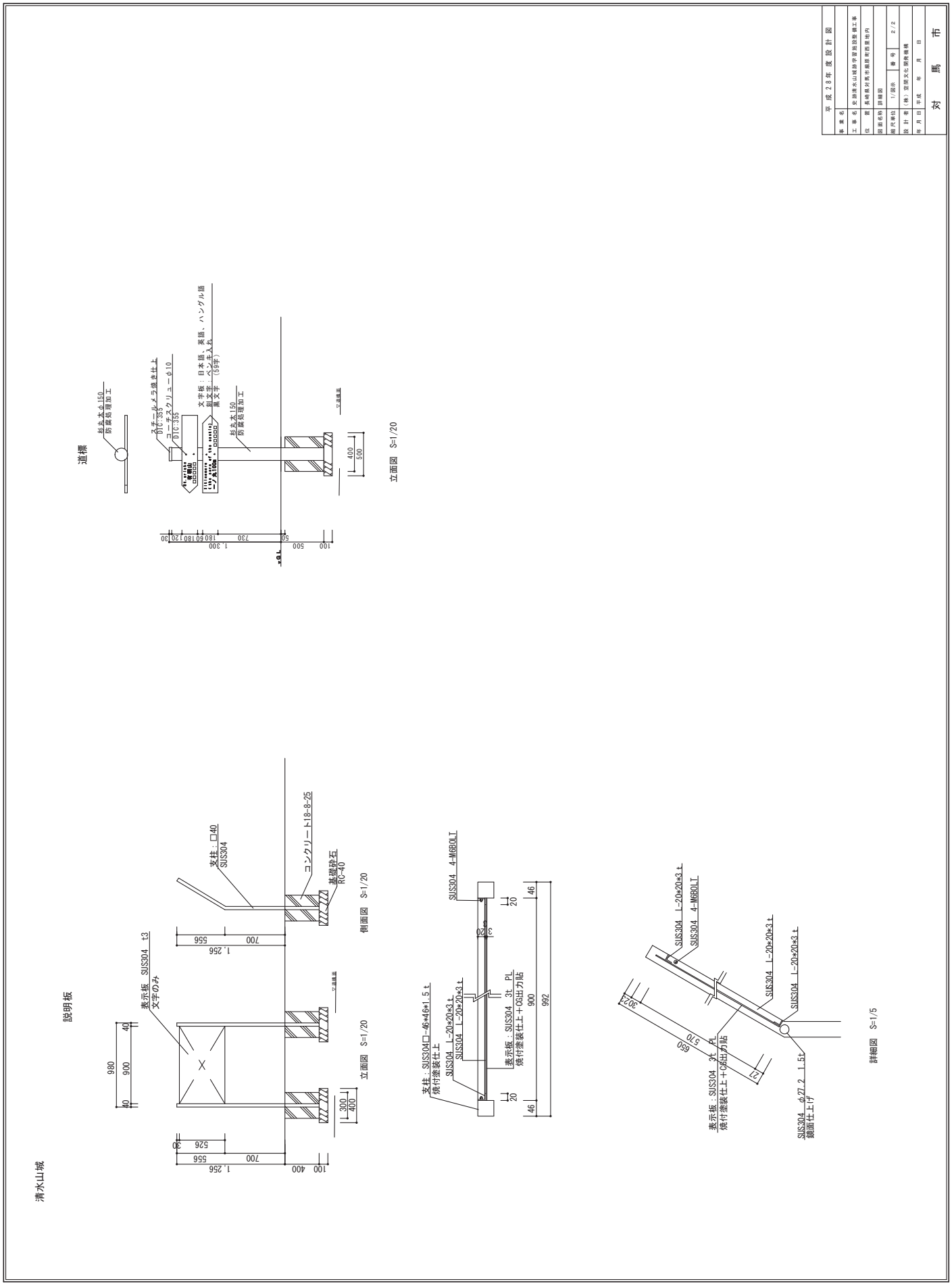
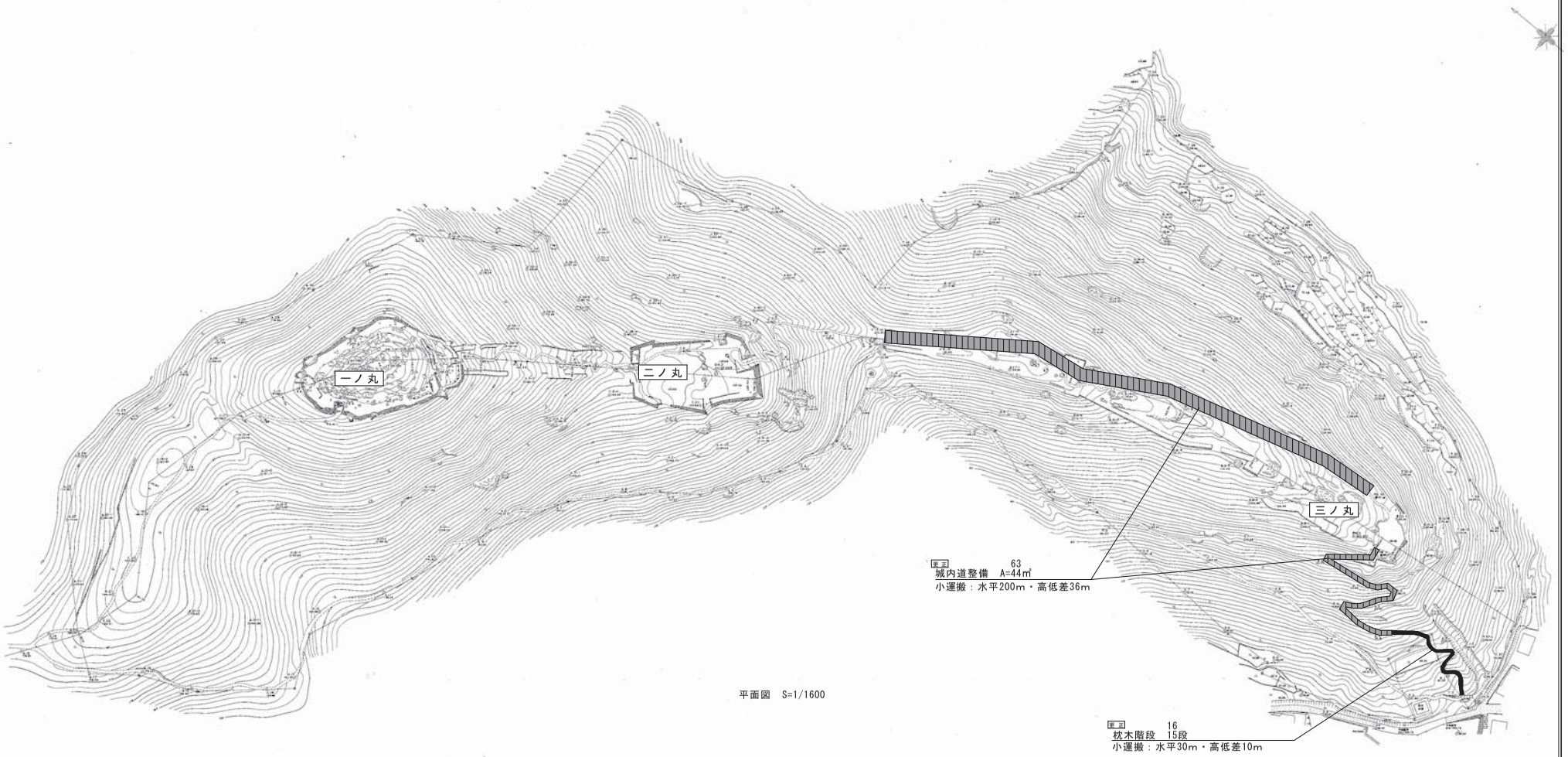


図54　平成28年度整備工事設計図 2

数量表

上段：変更
下段：当初

記号	工種	名称	単位	数量	備考
▨	園路工	枕木階段	段	16.00 15.00	登城口～三ノ丸
▥		城内道整備	㎡	63.00 44.00	



平面図 S=1/1600

小運搬

土舗装材
運搬距離200m、高低差36m
・土舗装材 800kg/10㎡

枕木階段
運搬距離30m、高低差10m
0.011t*16=0.176
・枕木階段 0.011t*15=0.165 t

0 50m

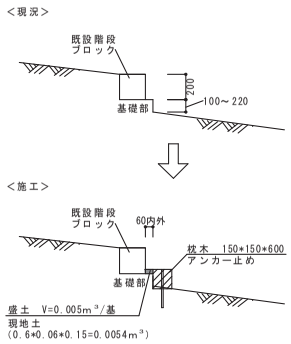
※施工箇所は監督員と協議のもと決定すること。

変更1

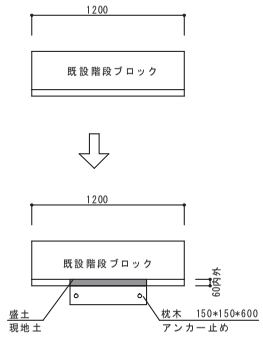
平成28年度設計図			
事業名			
工事名	史跡清水山城跡環境整備工事		
位置	長崎県対馬市厳原町西里地内		
図面名称	工事箇所図		
縮尺単位	1/300	番号	1/2
設計者	(株)空間文化開発機構		
年月日	平成 年 月 日		
対馬市			

図55 平成28年度整備工事設計図3

枕木



断面図　S=1/20



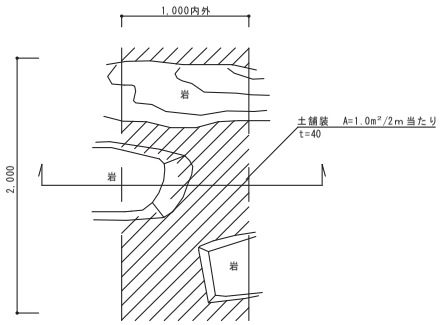
平面図　S=1/20

枕木設置箇所

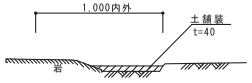
No.	既設ブロック階段			枕木設置
	幅　(mm)	ブロック高	基礎高	
1	1,200	200	150	○
2	1,200	200	200	○
3	1,200	200	100	○
4	1,200	200	50	
5	1,200	200	150	○
6	1,200	200	20	
7	1,200	200	30	
8	1,200	200	50	
9	1,200	200	100	○
10	1,200	200	30	
11	1,200	200	30	
12	1,200	200	30	
13	1,200	200	50	
14	1,200	200	80	
15	1,200	200	50	
16	1,200	200	10	
17	1,200	200	180	○
18	1,200	200	50	
19	1,200	200	50	
20	1,200	200	0	
21	1,200	200	0	
22	1,200	200	100	○
23	1,200	200	0	
24	1,200	200	100	○
25	1,200	200	0	
26	1,200	200	0	
27	1,200	200	50	
28	1,200	200	100	○
29	1,200	200	50	
30	1,200	200	30	
31	1,200	200	180	○
32	1,200	200	150	○
33	1,200	200	80	
34	1,200	200	130	○
35	1,200	200	180	○
36	1,200	200	180	○
37	1,200	200	30	
38	1,200	200	220	○
39	1,200	200	150	○
			計	16

枕木設置箇所
基礎高平均
(150+200+100+150+100+180+100+100+100+180+150+130+180+180+220+150)/16=148
=150

園路整備



平面図　S=1/20



断面図　S=1/20

変更1

平成28年度設計図			
事業名			
工事名	史跡清水山城跡環境整備工事		
位置	長崎県対馬市厳原町西里地内		
図面名称	詳細図		
縮尺単位	1/20	番号	2/2
設計者	(株)空間文化開発機構		
年月日	平成　年　月　日		
対馬市			

図56　平成28年度整備工事設計図4

数量表

上段：変更
下段：当初

記号	工種	名称	単位	数量	備考
⊗	撤去工	伐木	本	1.00	幹周30以上60cm未満
―		既設案内板撤去	基	1.00	
▭	学習施設工	案内説明板	基	1.00	
▨	園路工	城内道整備	m	7.00 0	
▨		枕木階段	段	5 0	
▨		植生土のう積	㎥	4.00	

平面図　S=1/800

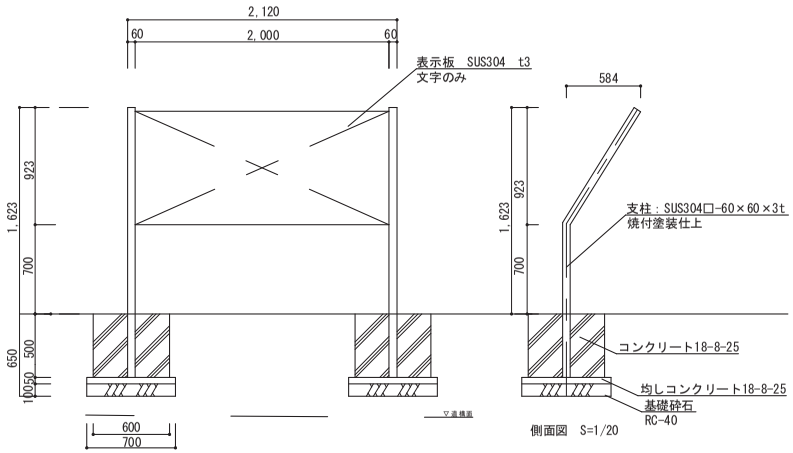
変更１

平成29年度設計図			
事業名			
工事名	史跡清水山城跡保存整備工事		
位置	長崎県対馬市厳原町西里地内		
図面名称	工事箇所図		
縮尺単位	1/800	番号	1/2
設計者	（株）空間文化開発機構		
年月日	平成　年　月　日		
対馬市			

図57　平成29年度整備工事設計図1

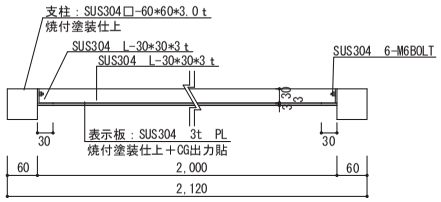
図58　平成29年度整備工事設計図２

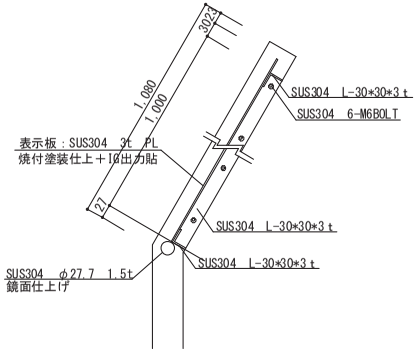
案内説明板



立面図　S=1/20

側面図　S=1/20

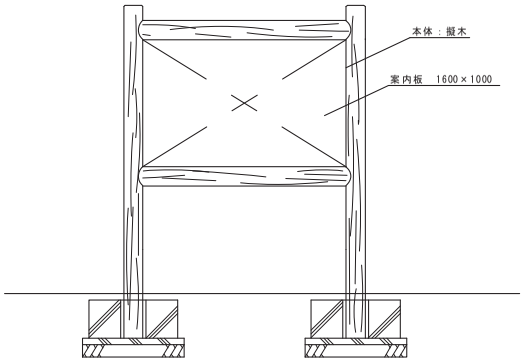




詳細図　S=1/5

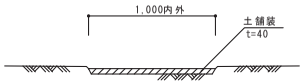
既設案内板撤去

参考図



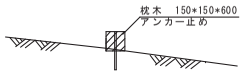
立面図　S=1/20

城内道整備



断面図　S=1/20

枕木階段



変更１

平成29年度設計図			
事業名			
工事名	史跡清水山城跡保存整備工事		
位置	長崎県対馬市厳原町西里地内		
図面名称	詳細図		
縮尺単位	1/図示	番号	2/2
設計者	（株）空間文化開発機構		
年月日	平成　年　月　日		
対馬市			

第７節　関連事業

本報告書に報告している整備事業の一環ではないが、清水山城跡とその整備に深い関係がある事業を紹介する。事業予算は当該史跡整備事業に係る予算ではない。

第１項　土地購入

昭和59年度史跡等購入費補助金を受け、清水山城址土地購入事業と称した国庫補助事業として現在の清水山城跡指定地を購入した。購入した土地の地番と国有林の林班を表４と表５に、事業の収支内訳は表６と表７に示した。表記は当時のまま。また、購入した林班図も合わせて掲載する。

所在地	面積
長崎県下県郡厳原町大字厳原西里字白川73	6,948.08㎡
長崎県下県郡厳原町大字厳原西里字白川74	40,910.65㎡
長崎県下県郡厳原町大字厳原西里字清水山下110	39,177.81㎡
長崎県下県郡厳原町大字厳原西里字金石169	87,036.54㎡
	計　174,073.08㎡

表４　清水山城跡指定地購入地番一覧

林班	面積	備考
有明山国有林44林班よ	9,077.90㎡	人　工　林
有明山国有林45林班た	5,212.43㎡	人　工　林
有明山国有林46林班れ	2,655.60㎡	人　工　林
有明山国有林47林班そ	4,461.64㎡	人　工　林
有明山国有林46林班つ	63,370.40㎡	天　然　林
有明山国有林47林班ロ	2,258.57㎡	天　然　林
	計　87,036.54㎡	

表５　清水山城跡指定地購入林班一覧

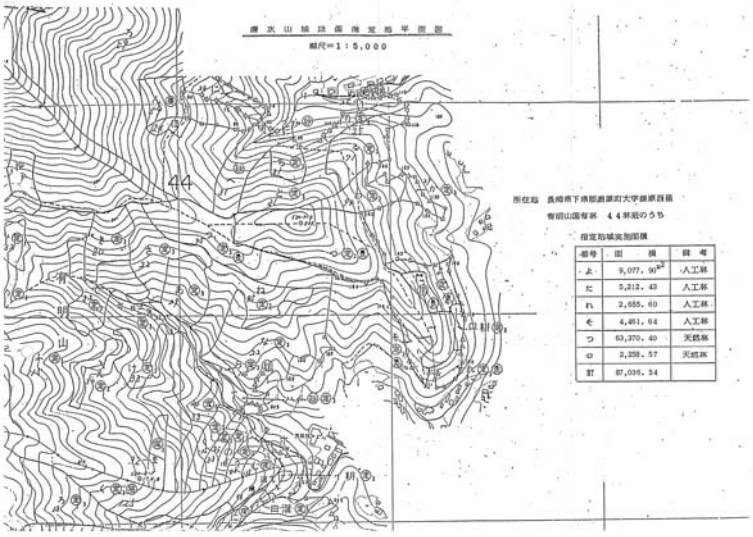


図59　購入林班図

収入の部　　（単位：円）　　（上段：申請額、下段：実績額）

区　　分	昭和59年度 収　入　額	備　　考
所有者（管理団体）負担額	(0) 0	
市町村負担額	(1,345,000) 1,373,140	
募金額	(0) 0	
都道府県補助金	(1,343,000) 1,343,000	
小　　計	(2,688,000) 2,716,140	
国庫補助金	(10,748,000) 10,748,000	
計	(10,748,000) 10,748,000	
雑収入金	(0) 0	
合　　計	(13,436,000) 13,464,140	

支出の部　　（単位：円）　　（上段：申請額、下段：実績額）

区　　分	昭和59年度 支　出　額	備　　考
清水山城跡土地購入	(13,150,000) 13,150,000	
事務費	(286,000) 314,140	
合　　計	(13,436,000) 13,464,140	

表 6　清水山城址土地購入事業収支精算表

支出内訳明細　　（単位：円）

区　分	摘　要	員　数	単　価	金　額	備　考
事　業　費	土地	87,036.54㎡	120円	10,444,000円	千円未満切捨
	立木	1,336.68㎡		2,706,000円	
	幼齢林	15,803.00㎡			
計				13,150,000円	
事　務　費	鑑定料	1式		200,000円	
	旅費	1回	35,580円	35,580円	厳原～熊本
	旅費	1回	34,980円	34,980円	厳原～熊本
	旅費	1回	43,580円	43,580円	厳原～長崎
	旅費計	3回		114,140円	
計				314,140円	
合　　計				13,464,140円	

表 7　清水山城址土地購入事業支出内訳明細表

第２項　案内板

昭和61年度に清水山城跡の登城口に案内板を１基、設置した。これは、厳原町文化財説明板設置工事として町内の文化財に案内板や標柱を設置する事業の一環である。工事は星野建設株式会社対馬出張所が請け負った。契約年月日は昭和62（1987）年３月７日で、工期は昭和62年３月９日から３月31日まで、請負代金は3,500,000円である。参考までに、当該事業の対象と、設置した説明板等の構造を提示しておく。

番号	箇所名	内容	構造
1	清水山城跡	説明文・英訳文	擬木　TR－３BK（1,000×1,500㎜）
2	金石城跡	説明文・英訳文	擬木　TB－116（1,000×1,500㎜）
3	主藤家住宅	説明文・英訳文	擬木　TR－３BK（1,000×1,300㎜）
4	今屋敷の防火壁	説明文・英訳文	スチール枠　FRP（1,000×1,500㎜）
5	多久頭魂神社	説明文・英訳文	擬木　TR－３BK（1,000×1,500㎜）
6	多久頭魂神社梵鐘	説明文・英訳文	擬木　TR－３AK（600×1,000㎜）
7	桟原館の高麗門	説明文・英訳文	擬木　TR－３BK（1,000×1,500㎜）
8	お胴塚	説明文	擬木　標柱（200×200×1,900㎜）
9	お首塚	説明文	擬木　標柱（200×200×1,900㎜）
10	万松院の大スギ	説明文	擬木　標柱（200×200×1,900㎜）
11	頭受け神事と赤米	説明文	擬木　標柱（200×200×1,900㎜）
12	対馬藩主墓碑説明板（19代義智）	説明文・英訳文	擬木　TR－48（200×200㎜）
13	対馬藩主墓碑説明板（20代夫人）	説明文・英訳文	擬木　TR－48（200×200㎜）
14	対馬藩主墓碑説明板（20代義成）	説明文・英訳文	擬木　TR－48（200×200㎜）
15	対馬藩主墓碑説明板（21代夫人）	説明文・英訳文	擬木　TR－48（200×200㎜）
16	対馬藩主墓碑説明板（21代義真）	説明文・英訳文	擬木　TR－48（200×200㎜）
17	対馬藩主墓碑説明板（23代義方）	説明文・英訳文	擬木　TR－48（200×200㎜）
18	対馬藩主墓碑説明板（24代義誠）	説明文・英訳文	擬木　TR－48（200×200㎜）

表８　昭和61年度　厳原町文化財説明板設置工事箇所一覧表

本文写真５　昭和61年度案内板設置施工状況１

本文写真６　昭和61年度案内板設置施工状況２

第４章　まとめ

第１節　成果と課題

平成29年度において、清水山城跡の整備はひとまず第１期を終了した。対馬藩主宗家墓所等保存整備委員会が主管する整備事業では、金石城跡に続き、２番目である。これまで、遺構の修理や園路整備、学習施設の設置などを実施してきたが、金石城跡と同様に清水山城跡も全体としての整備はまだ途上である。今期以降、やはり保存管理計画、整備基本計画を立て、第２期の整備に取り組まなければならない。そのために、金石城跡と同じく、平成８年に策定した整備基本計画を再度振り返り、掲げられていた目標を点検し、達成できた事項とできなかった事項、次期整備に実施すべき事項について、成果と課題としてまとめる。

第１項　目標の概括

第３章第４節に掲載した「整備基本計画」「史跡清水山城跡及び周辺整備計画」「①現況」「②整備方針」「③整備計画概要」で示された内容について、地区ごとに確認していく。

１　達成事項と未遂事項

「①現況」の項で「イ．状況・課題等」として示された課題と達成状況は以下のとおりである。

（１）城跡遺構分布地区

ここで示された課題をまとめると次の４点になる。

①石垣等遺構の崩れやハラミ

②樹木の生長による石垣等の損傷

③既存木による眺望阻害

④案内板や道標の不備

①については、平成10年に刊行した石垣調査報告書でまとめた修理方針に基づいて順次、修理を行い、遺構の状態を改善した。崩落により見学者への危険が予測される、修理の緊急性が高い箇所と、短期間にき損が拡大する可能性が指摘される箇所については完了した。しかし、崩落やハラミを起こしている箇所はまだ多く、築城当時の景観を復原するにはまだ相当箇所の修理が必要である。②については、石垣等遺構に直接または接した樹木を中心に伐採、抜根を実施して解消、予防した。当面、樹木の生長により石垣をき損する恐れは排除できたと言える。しかし、毎年出てくる実生木や生長する既存木が遺構に影響を与える可能性があり、状況を観察しながら継続的に除草等の維持管理を続けることが必要である。③については、大規模な伐採の実施で、各曲輪からの眺望は確保できた。しかし、周辺にある樹木の生長で視界が再び狭くなってきている。史跡内外からの視点を意識し、継続的に樹木の高さを調整する必要がある。④については、各曲輪の説明板、要所ごとの道標、史跡の案内板などを設置し、不備を解消した。今後は、設置した施設の維持管理に努める必要がある。

課題は完全に解消されたわけではないが、所期の目的はほぼ達成したと言えるだろう。

（２）斜面地区

ここではとくに解決すべき課題を示されてはいないが、城跡遺構分布地区を支える貴重な地区として、役割と意味を明示している。明示した役割と意味の維持が課題と解釈できるだろうか。地区は市

有地であり、開発も行われず、役割と意味の維持は達成されていると言える。状態の適切な保全が今後も必要である。

2　整備事項

「③整備計画概要」で掲げられた計画として、大きく調査と環境整備工事の二項目がある。

（1）調査等

ここでは現況地形測量、石垣等遺構調査、自然環境調査、実施設計の４項目が挙げられている。自然環境調査を除き、すべて実施した。自然環境調査について、石垣等の遺構調査時に実施したが概要把握に止まっている。当初の予定はほぼ達成されたと言える。

（2）環境整備工事

ここでは各地区における課題解決のための工事が計画事項として挙げられている。５項目はいずれも実施してきたが、「１　達成事項と未遂事項」で記したように、将来に実行すべき点が残っている。中でも、石垣・石塁等保存修復整備工事と遊歩道整備工事については、緊急を要する箇所と見学時に求められる最低限の箇所を対象に実施したが、施工が必要な箇所はまだ非常に多く残っている。支障木伐採工事は計画作庭時の目標に到達する程度には、実施できたと考えて良いだろう。一方で、状況を注視しながら、適宜実施を続けていく必要がある。休養・便益・安全施設設置工事については、継続的に施工し、必要な箇所に適切なものを設置できたと考える。

第２項　成果

成果は金石城跡の整備事業報告書でも概括したが、清水山城跡も同様である。第１項で事業の経過は詳述したが、基本計画で目指した構想は、社会情勢や環境に合わせて内容を精査し、形を変えながらもおよそ具現化されてきた。調査や測量、工事で得られた成果は、すでに示したとおりである。遺構の保護と将来への継承に繋がる修理を実行し、見学に有効な施設や環境を備え、景観を向上させた。事業は、基本となる方針は維持したまま、突発的に浮上した問題や要請、検討の結果導かれた必要事項に対応するために、適宜計画を修正して実施してきた。その方策はあるいは応急的に映るかもしれないが、流動する状況への柔軟な態勢として評価しても良いのではないか。

第３項　課題

成果の一方で、明らかになった問題点もある。金石城跡で指摘したものと同じである。

（ア）人員不足による職員への高負荷

（イ）職員への高負荷による執務の遅滞

（ウ）史跡複数の並行整備による事業の高度化と複雑化

（エ）史跡複数の並行整備による執務の煩雑化と労力の増大

（オ）ア～エによる事業実施期間の長期化

（カ）ア～オによる労力（予算含む直接的、間接的経費）の増大

（キ）ア～カによる整備水準低下

ここでまとめた項目を俯瞰（ふかん）して指摘できる最大の問題点は、最終的に導かれる（キ）を防ぐため、更に（ア）～（カ）が増大する悪循環に陥る点にある。当該事業における整備は、最低限必要な水準

は維持し、かつ、より適当な程度の段階に到達できたと評価して構わないだろう。しかし、結果として（カ）の状態となったことは事業経過に明らかである。つまり、整備事業における最も大きな課題は、労力（コスト）削減である。様々な面での省力化が、結果として整備水準の引き上げに繋がる。高水準の整備は、史跡の長期的で適切な保存や継承に結びつき、各種分野での活用に有効となる。課題の解決策は、（ア）の解消であり、すなわち態勢の適正化である。

そして、実際的な課題として、第１項で概括した当該事業における未遂行の事項実施が挙げられる。その中の一項目に関連する、平成32年度に開館予定の対馬博物館を組み込んだ史跡の活用方法の検討と確立は、ソフト面における重要な課題である。

第２節　展望

清水山城跡の整備も金石城跡と同じく、新たな保存と活用に向けて次の段階に移行する。第１期の整備事業では、学習施設及び便益施設の設置と、遺構の修理、環境の整備を実施してきた。説明板や道標、案内板は必要箇所に配置が済み、休養や景色の観賞に使用するベンチは設置を終えた。見学時に要する最低限の学習施設等は充足したと考える。き損や変形が著しく、対応を急ぐべき状態の石垣は修理した。これで、見学時の危険性は軽減され、喫緊に遺構のき損が発生する可能性も回避できた。一方で、城内園路の舗装は総延長に比べるとごく一部である、歩行時の負担軽減のためには、さらに多くの箇所の整備が必要である。石垣等遺構の修理も急を要する箇所を集中しておこなったもので、全域を見れば多くの箇所に変形やハラミ、崩落が残っている。平成10年に出された石垣調査で「修復」と「復元」が必要だと指摘された26箇所（隣接しており、一体と捉えられる箇所は１と数えた）のうち、修理したのは６箇所である。残りの20箇所は第２期整備事業において修理を行わなければならない。さらに、一ノ丸、二ノ丸、三ノ丸を繋ぐ回廊状の石塁だが、報告書で「復元」に分類された虎口を１箇所施工したのみで、ほかはまったく手つかずである。報告時には危険性の観点から要修理箇所として指摘しているため石塁は該当していないが、遺存状態は要修理を指摘された箇所と比べても著しく悪い。現状のままでは崩落が進んでいき、将来は遺構の原形が窺えなくなることが予測できる。築城当時の状態に復元することは、景観の向上だけでなく、遺構の保護にも結びつく。石垣や石塁の修理は第２期で引き続き実行すべき、大切な目標に据えたい。史跡の構造や価値を理解し、学習効果を高めるためにも、遺構の保存修理は必須である。

第２期の整備では、より実践的な活用を念頭に置いた整備を念頭に実施することが肝要である。その際、これまで並行して実施してきた対馬藩主宗家墓所や金石城跡の整備も合わせて計画を立てなければならない。計画の様相は平成８年策定の基本計画と同じだが、次回は博物館の活動や増大する観光客、当時から大きく変貌した都市構造、周辺環境、社会情勢も踏まえての策定となる。

平成28年度に金石城跡の第１期整備事業が終了し、平成30年度には対馬藩主宗家墓所の第１期整備事業が終了する。平成30年度には３史跡の整備事業について、活用面を踏まえて総括する中で、第２期の整備計画で盛り込むべき要点も整理したい。金石城跡の整備事業報告書にも記述した。

総括を経て新しく作成する計画の検討作業には広く深い情報収集と分析が前提条件であり、整理した情報に基づいた計画策定には相当な労力が必要である。態勢が十分でなければ、適切な計画は策定できない。計画に謳う整備を実現するためには、高い理想を見据えた上で現実的な内容にしなければ

ならず、計画を実施していくには、ふさわしい態勢で臨むことが要件となる。

文化庁が平成26年10月31日に発行した『適正な埋蔵文化財行政を担う体制等の構築について』に、「「把握・周知」「調整」「保存」「活用」を一層重視した能動的な体制に改善することが強く望まれる」とある。「把握・周知」から「活用」までの実行に専門職員が不可欠であることは言うまでもない。文化財は社会の中で生まれてきた存在であるがゆえに、取得できる情報は社会や地域の本質を表している。有効に活用することでまちづくり、地域づくりに威力を発揮するだけでなく、学習・教育資料としても重要な役割を果たす。しかし、活用するためには文化財が内包する価値、本質を引き出し、顕在化する必要がある。そして、そのためには、専門的な知識と技術を有した職員がいなければならないのである。文化財を通して地域社会の本質に向き合い、その地域らしさを住民が確認し、地域の望ましい姿を描くことは大きな意味がある。文化財を資料として学習や教育の場に活かし、地域の成り立ちを学び、伝え、愛着を持ち、望み描いた地域を作り上げていくことは、過去を未来に活かす取り組みである。文化財は地域社会を醸成させ、場合によっては再構築していく取り組みに貢献できる。描いた地域の将来像を具体化していく原動力となり得る。そのためにも史跡の価値を再認識し、適切に保存することで後世に長く継承し、活用していくことが望まれる。当然、観光面での活用や、地域づくりへの活用へも重要である。しかし偏重し、囚(とら)われてはいけない。本筋からそれないよう注意が必要である。

対馬市は地方公共団体として自らの任務を全うし、地域の取り組みを支え、共同して、あるいは率先して実施していくことが肝心である。適切な体制の構築は、そのための前提である。

そのための一助として、本報告書が利用されることを切望する。

引用・参考文献

厳原町1996『史跡対馬藩主宗家墓所等保存整備基本計画報告書』
史跡等整備の在り方に関する調査研究会編2004『史跡等整備の手引き』文化庁文化財部記念物課
埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会2007『埋蔵文化財の保存と活用（報告)』文化庁
埋蔵文化財発掘調査体制等の整備充実に関する調査研究委員会2014『適正な埋蔵文化財行政を担う体制等の構築について』文化庁
尾上博一編2010『史跡対馬藩主宗家墓所本堂修理工事報告書』対馬市教育委員会
尾上博一編2010『旧金石城庭園　金石城跡保存整備事業に伴う範囲確認調査報告書（遺構編)』対馬市文化財調査報告書　第６集　対馬市教育委員会
尾上博一編2011『旧金石城庭園　金石城跡保存整備事業に係る保存整備工事報告書』対馬市教育委員会
尾上博一編2015『矢立山古墳群保存整備事業報告書　史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業』対馬市文化財整備報告書　第１集　対馬市教育委員会
尾上博一編2016『旧金石城庭園　金石城跡保存整備事業に伴う範囲確認調査報告書（遺物写真編)』対馬市文化財調査報告書　第10集　対馬市教育委員会
尾上博一編2017『金石城跡保存整備事業報告書』対馬市文化財整備報告書　第２集　対馬市教育委員会

写　　真

扉写真　金石城跡・清水山城跡・対馬藩主宗家墓所（東から）

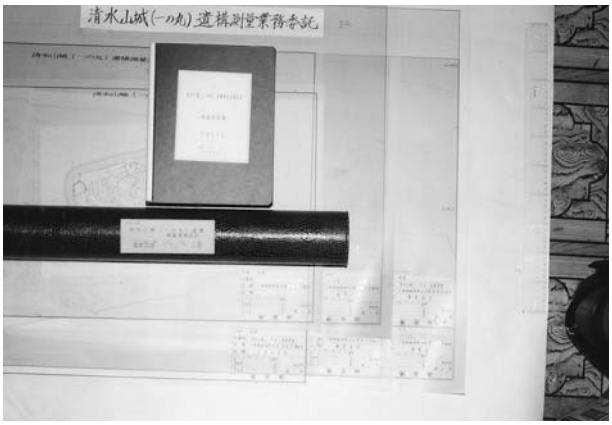


写真１　平成６年度遺構測量業務（一ノ丸）成果品

写真２　平成６年度遺構測量業務(一ノ丸)平板測量状況

写真３　平成６年度遺構測量業務(一ノ丸)詳細測量状況

写真４　平成６年度遺構測量業務(一ノ丸)縦断測量状況

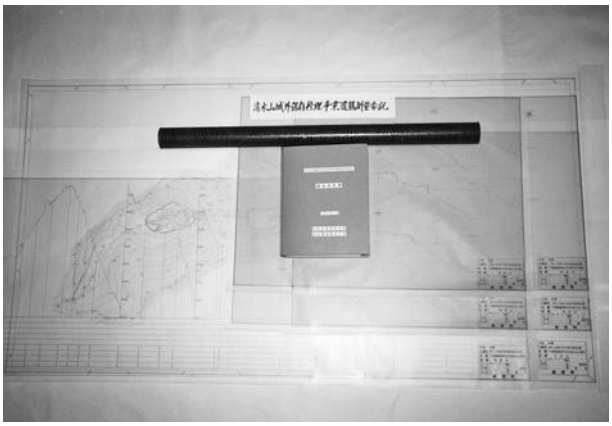


写真５　平成７年度遺構測量業務（指定地）成果品

写真６　平成７年度遺構測量業務(指定地)平板測量状況

写真７　平成７年度遺構測量業務(指定地)縦断測量状況

写真８　平成７年度遺構測量業務(指定地)詳細測量状況

写真９　樹木伐採業務（一ノ丸）着工前

写真10　樹木伐採業務（一ノ丸）完了

写真11　樹木伐採業務（一ノ丸～二ノ丸）着工前

写真12　樹木伐採業務（一ノ丸～二ノ丸）完了

写真13　樹木伐採業務（二ノ丸）着工前

写真14　樹木伐採業務（二ノ丸）完了

写真15　樹木伐採業務（二ノ丸）着工前

写真16　樹木伐採業務（二ノ丸）完了

写真17　樹木伐採業務（二ノ丸）作業状況

写真18　樹木伐採業務（二ノ丸～一ノ丸）完了

写真19　樹木伐採業務（三ノ丸～二ノ丸）完了

写真20　樹木伐採業務（二ノ丸～一ノ丸）完了

写真21　樹木伐採業務（三ノ丸）完了

写真22　樹木伐採業務（二ノ丸）完了

写真23　樹木伐採業務（一ノ丸）完了

写真24　樹木伐採業務（全体）完了

写真25　石垣修復工（三ノ丸１－１）着工前

写真26　石垣修復工（三ノ丸１－１）完成

写真27　石垣修復工（三ノ丸１－２）着工前

写真28　石垣修復工（三ノ丸１－２）完成

写真29　石垣修復工（三ノ丸３－３）着工前

写真30　石垣修復工（三ノ丸３－３）完成

写真31　石垣修復工（三ノ丸４－４）着工前

写真32　石垣修復工（三ノ丸４－４）完成

写真33　石垣修復工（三ノ丸）土砂掘削状況

写真34　石垣修復工（三ノ丸）裏込め栗石解体状況

写真35　石垣修復工（三ノ丸）石垣解体状況

写真36　石垣修復工（三ノ丸）石垣解体状況

写真37　石垣修復工（三ノ丸）石積み状況

写真38　石垣修復工（三ノ丸）石積み状況

写真39　石垣修復工（三ノ丸）石積み状況

写真40　石垣修復工(三ノ丸)裏込め栗石敷き均し状況

写真41　石垣修復工（三ノ丸）土砂掘削状況

写真42　石垣修復工（三ノ丸）裏込め栗石解体状況

写真43　石垣修復工（三ノ丸）石垣解体状況

写真44　石垣修復工（三ノ丸）石積み状況

写真45　石垣修復工（三ノ丸）石積み状況

写真46　石垣修復工(三ノ丸)裏込め栗石敷き均し状況

写真47　石垣修復工（三ノ丸）不織布設置状況

写真48　石垣修復工（三ノ丸）赤土敷き均し状況

写真49　石垣修復工（三ノ丸）着工前

写真50　石垣修復工（三ノ丸）完成

写真51　石垣修復工（三ノ丸）着工前

写真52　石垣修復工（三ノ丸）完成

写真53　石垣修復工（三ノ丸）着工前

写真54　石垣修復工（三ノ丸）完成

写真55　石垣修復工（三ノ丸）着工前

写真56　石垣修復工（三ノ丸）完成

写真57　石垣修復工（三ノ丸）石垣解体工作業状況

写真58　石垣修復工(三ノ丸)石積積み直し工作業状況

写真59　石垣修復工(三ノ丸)石積積み直し工作業状況

写真60　石垣修復工(三ノ丸)石積積み直し工作業状況

写真61　石垣修復工(三ノ丸)裏込栗石敷き均し工作業状況

写真62　石垣修復工（三ノ丸）不織布設置状況

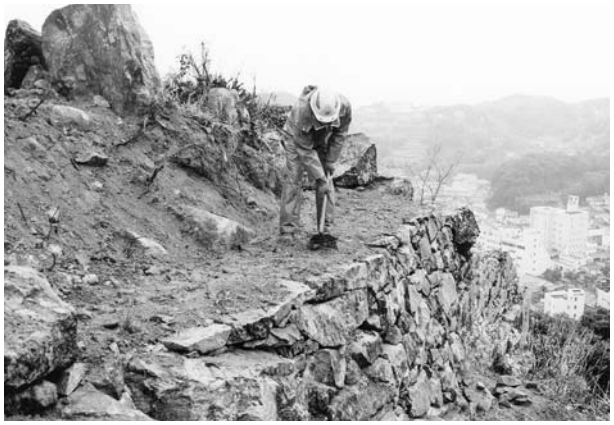


写真63　石垣修復工（三ノ丸）天端埋め戻し状況

写真64　石垣修復工（三ノ丸）伐採状況

写真65　石垣修復工（三ノ丸Ａ面・Ｂ面）着工前

写真66　石垣修復工（三ノ丸Ａ面・Ｂ面）完成

写真67　石垣修復工（三ノ丸Ｃ面正面）着工前

写真68　石垣修復工（三ノ丸Ｃ面正面）完成

写真69　石垣修復工（三ノ丸Ｃ面側面）着工前

写真70　石垣修復工（三ノ丸Ｃ面側面）完成

写真71　石垣修復工（三ノ丸Ａ面）施工状況

写真72　石垣修復工(三ノ丸Ａ面)床掘完了根石検出状況

写真73　石垣修復工（三ノ丸Ａ面）裏込栗石施工状況

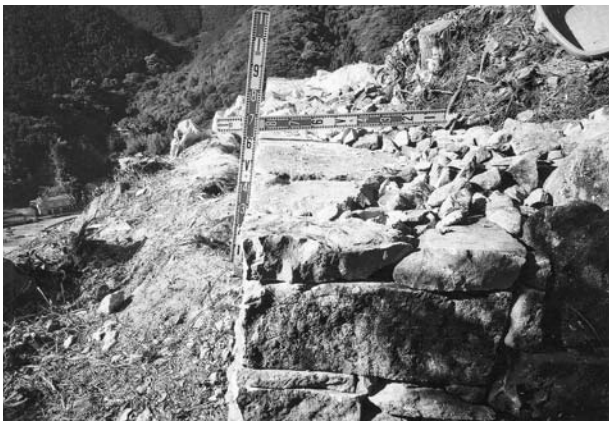


写真74　石垣修復工（三ノ丸Ａ面）裏込栗石出来形

写真75　石垣修復工(三ノ丸Ａ面)埋め戻し・盛土出来形

写真76　石垣修復工（三ノ丸Ｂ面）施工状況

写真77　石垣修復工（三ノ丸Ｂ面）施工状況

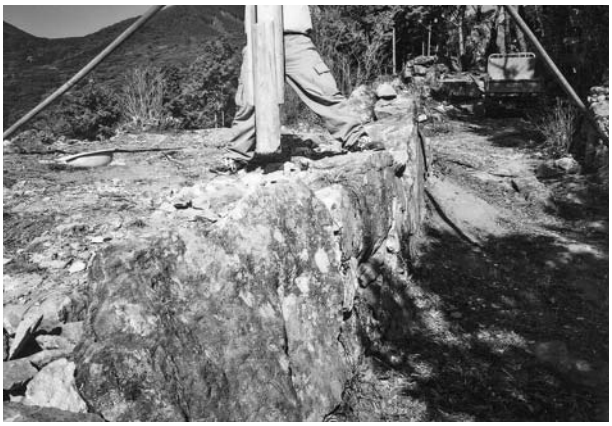


写真78　石垣修復工（三ノ丸Ｂ面）裏込栗石施工状況

写真79　石垣修復工（三ノ丸Ｂ面）裏込栗石出来形

写真80　石垣修復工(三ノ丸Ｂ面)埋め戻し・盛土出来形

写真81　石垣修復工（三ノ丸Ｃ面）施工状況

写真82　石垣修復工（三ノ丸Ｃ面）床掘出来形

写真83　石垣修復工（三ノ丸Ｃ面）裏込栗石施工状況

写真84　石垣修復工（三ノ丸Ｃ面）裏込栗石出来形

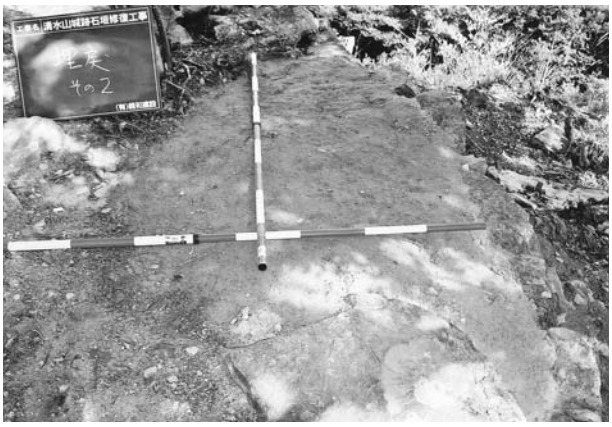


写真85　石垣修復工（三ノ丸Ｃ面）埋め戻し出来形

写真86　石垣修復工（三ノ丸）石材採取状況

写真87　石垣修復工（三ノ丸）竣工検査状況

写真88　石垣修復工（三ノ丸）竣工検査状況

写真89　道標設置工着工前

写真90　道標設置工完成

写真91　道標設置工床掘状況

写真92　道標設置工床掘出来形

写真93　道標設置工コンクリート打設

写真94　道標設置工床埋め戻し

写真95　除草伐開工着工前

写真96　除草伐開工完成

写真97　道標設置工（登城口）着工前

写真98　道標設置工（登城口）完成

写真99　道標設置工（登城口）基礎床掘状況

写真100　道標設置工(登城口)基礎コンクリート打設状況

写真101　道標設置工（登城口）道標設置状況

写真102　ベンチ設置工（三ノ丸）着工前

写真103　ベンチ設置工（三ノ丸）完成

写真104　ベンチ設置工(三ノ丸)杉丸太ベンチ現場搬入状況

写真105　園路工（№62～100）着工前

写真106　園路工（№62～100）完成

写真107　園路工（№150～200）着工前

写真108　園路工（№150～200）完成

写真109　園路工（№100～150）人力敷き均し

写真110　園路工（№120～）素掘側溝掘削

写真111　園路工（№120～）下地転圧状況

写真112　園路工（№120～）砕石転圧状況

写真113　園路工（№132.5～）アンカー打ち込み状況

写真114　園路工材木搬入枕木

写真115　園路工材木搬入防腐剤塗り込み

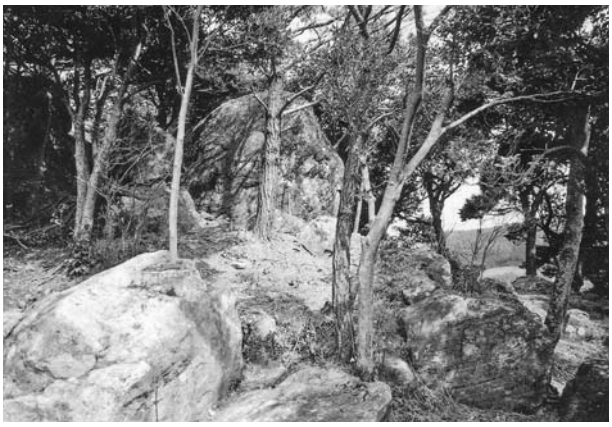


写真116　伐木工（三ノ丸）整理伐伐採前

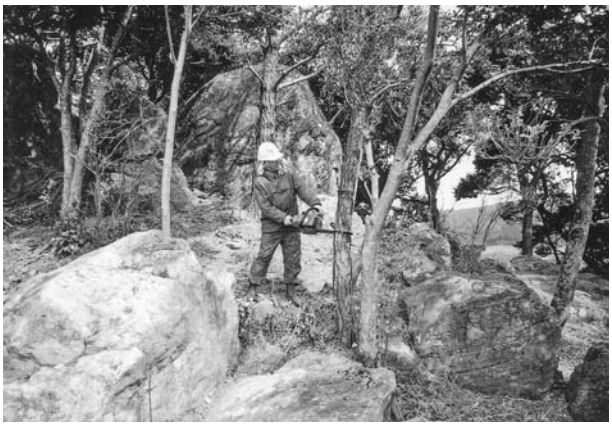


写真117　伐木工（三ノ丸）整理伐伐採状況

写真118　伐木工（三ノ丸）整理伐伐採完了

写真119　伐木工（三ノ丸）整理伐伐採前

写真120　伐木工（三ノ丸）整理伐伐採完了

写真121　園路工（No.8～9）着工前

写真122　園路工（No.8～9）完成

写真123　園路工（No.5）路盤工砕石転圧状況

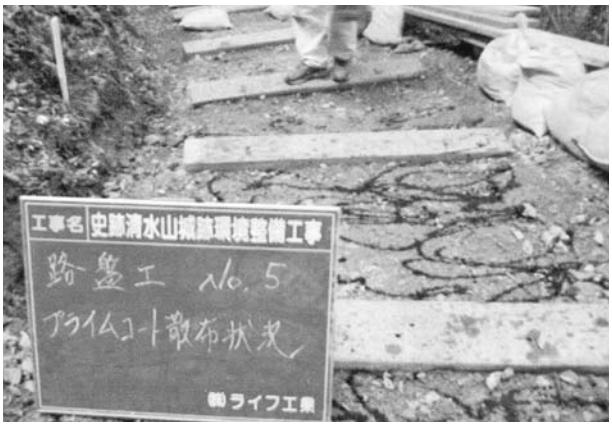


写真124　園路工(No.5)路盤工プライムコート散布状況

写真125　園路工(No.5)舗装工アスファルト自然色舗装状況

写真126　園路工(No.5)舗装工アスファルト自然色舗装転圧状況

写真127　園路工（No.7）路盤工砕石敷き均し状況

写真128　園路工（No.7）路床工路床人力掘削状況

写真129　遊歩道整備工着工前

写真130　遊歩道整備工人力盛土（埋め戻し）施工状況

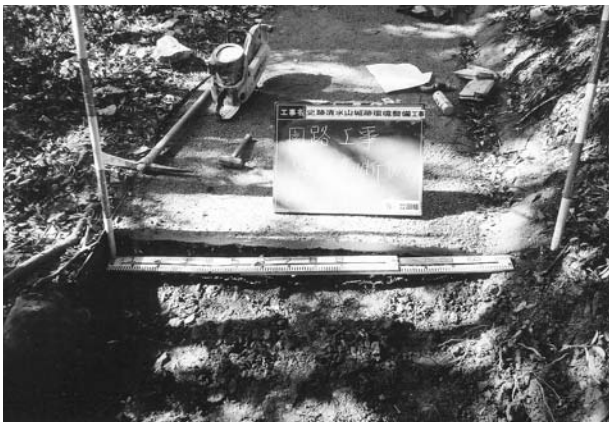


写真131　遊歩道整備工既存路盤切断

写真132　遊歩道整備工枕木キシラデコール塗布状況

写真133　遊歩道整備工スリムエッジ取付状況

写真134　遊歩道整備工路盤砕石敷き再生クラッシャーラン敷込

写真135　遊歩道整備工自然色舗装施工状況

写真136　遊歩道整備工完了

写真137　石垣修理工（一ノ丸№160～170）着工前

写真138　石垣修理工（一ノ丸№160～170）完成

写真139　石垣修理工（一ノ丸№166）着工前

写真140　石垣修理工（一ノ丸№166）完成

写真141　石垣修理工（一ノ丸№161～162）着工前

写真142　石垣修理工（一ノ丸№161～162）完成

写真143　石垣修理工（一ノ丸№168～170）着工前

写真144　石垣修理工（一ノ丸№168～170）完成

写真145　石垣修理工（一ノ丸№170）着工前

写真146　石垣修理工（一ノ丸№170）完成

写真147　石垣修理工（一ノ丸№160～162）着工前

写真148　石垣修理工（一ノ丸№160～162）完成

写真149　石垣修理工（一ノ丸№160）着工前

写真150　石垣修理工（一ノ丸№160）完成

写真151　石垣修理工伐木（２本）作業状況

写真152　石垣修理工古木処理作業状況

写真153　石垣修理工（一ノ丸）墨打ち状況

写真154　石垣修理工（一ノ丸）墨打ち完了

写真155　石垣修理工（一ノ丸）番号打ち状況

写真156　石垣修理工（一ノ丸）番号打ち完了

写真157　石垣修理工（一ノ丸）石垣解体状況

写真158　石垣修理工（一ノ丸）石垣解体状況

写真159　石垣修理工（一ノ丸）石垣解体状況

写真160　石垣修理工（一ノ丸）石垣解体状況

写真161　石垣修理工（一ノ丸）積石検測

写真162　石垣修理工（一ノ丸）石垣仮置き状況

写真163　石垣修理工(一ノ丸)栗石ふるいわけ作業状況

写真164　石垣修理工（一ノ丸）石積み状況

写真165　石垣修理工（一ノ丸）裏込栗石積み作業状況

写真166　石垣修理工（一ノ丸）裏込栗石検測

写真167　石垣修理工（一ノ丸）鉛板設置

写真168　石垣修理工（一ノ丸）石材接着作業状況

写真169　石垣修理工（一ノ丸）着工前

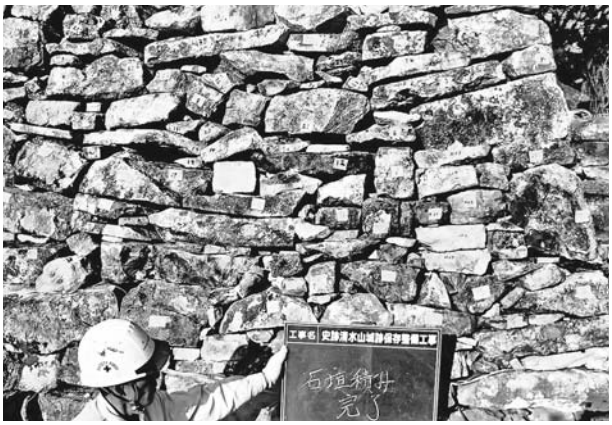


写真170　石垣修理工（一ノ丸）完成

写真171　石垣修理工（一ノ丸）着工前

写真172　石垣修理工（一ノ丸）完成

写真173　石垣修理工（一ノ丸）着工前

写真174　石垣修理工（一ノ丸）完成

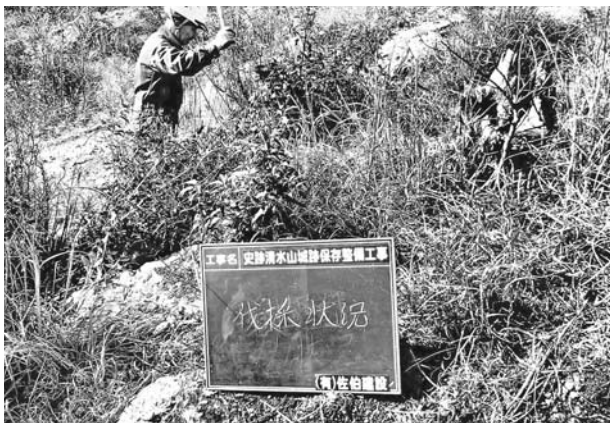


写真175　伐木工（一ノ丸）伐採状況

写真176　石垣修理工（一ノ丸）石材番号付け状況

写真177　石垣修理工（一ノ丸）石垣解体状況

写真178　石垣修理工（一ノ丸）裏込栗石敷き均し状況

写真179　石垣修理工（一ノ丸）石段据付状況

写真180　石垣修理工（一ノ丸）石材ボンド接着状況

写真181　石垣修理工（一ノ丸）鉛板設置状況

写真182　石垣修理工（一ノ丸）石垣修理完了（天端）

写真183　石垣修理工（一ノ丸）石垣修理完了

写真184　石垣修理工（一ノ丸）石垣修理完了

写真185　石垣修理工（二ノ丸No.104）着工前

写真186　石垣修理工（二ノ丸No.104）完成

写真187　石垣修理工（二ノ丸No.103①）着工前

写真188　石垣修理工（二ノ丸No.103①）完成

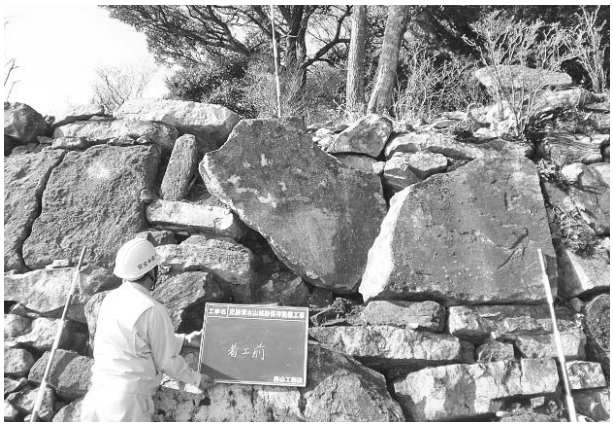


写真189　石垣修理工（二ノ丸No.103②）着工前

写真190　石垣修理工（二ノ丸No.103②）完成

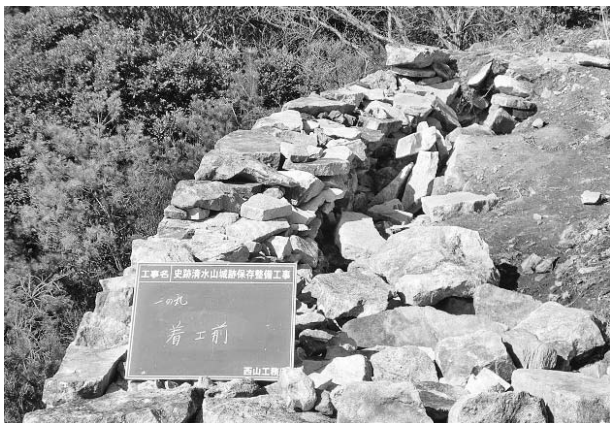


写真191　石垣修理工（一ノ丸）裏込栗石充填着工前

写真192　石垣修理工（一ノ丸）裏込栗石充填竣工

写真193　石垣修理工（一ノ丸）裏込栗石充填着工前

写真194　石垣修理工（一ノ丸）裏込栗石充填竣工

写真195　石垣修理工（二ノ丸No.103①）番号付け完了

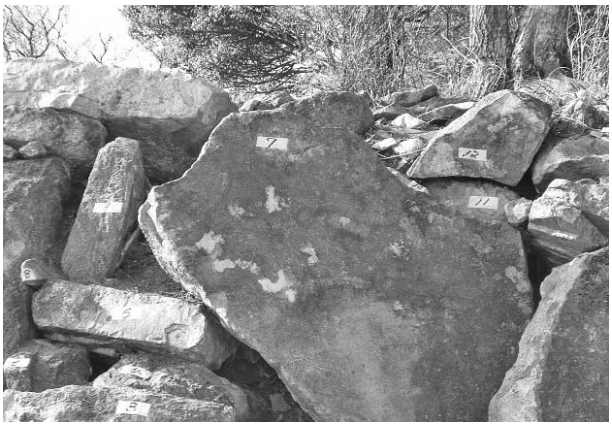


写真196　石垣修理工（二ノ丸No.103②）番号付け完了

写真197　石垣修理工（二ノ丸No.103②）石積解体状況

写真198　石垣修理工(二ノ丸No.103②)石積積み直し状況

写真199　石垣修理工(二ノ丸No.103①～No.104)石積解体状況

写真200　石垣修理工(二ノ丸No.103①～No.104)既存石積露出状況

写真201　石垣修理工(ニノ丸No.103①～No.104)石積補足積み１層目石積み完了

写真202　石垣修理工(ニノ丸No.103①～No.104)石積補足積み３層目石積み状況

写真203　石垣修理工(ニノ丸No.103①～No.104)裏込栗石充填状況

写真204　石垣修理工(ニノ丸No.103①～No.104)天端石積み完了

写真205　石垣修理工(ニノ丸No.103②)裏込栗石転圧状況

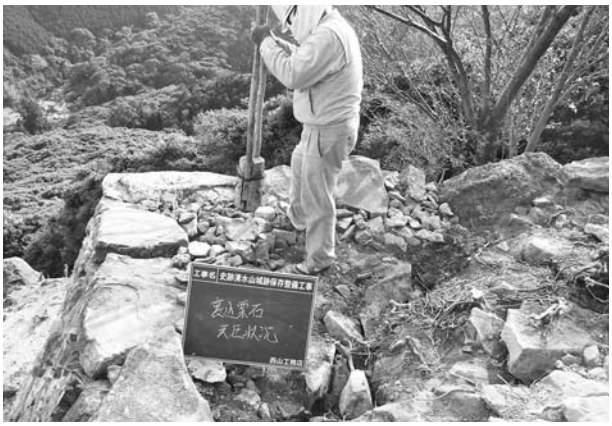


写真206　石垣修理工(ニノ丸No.103①～No.104)裏込栗石転圧状況

写真207　石垣修理工（ニノ丸No.103②）出来形天端

写真208　石垣修理工(ニノ丸No.103①～No.104)出来形天端

写真209　撤去工伐木着工前

写真210　撤去工伐木完成

写真211　学習施設工説明板（二ノ丸）着工前

写真212　学習施設工説明板（二ノ丸）完成

写真213　学習施設工道標Ｂ①（二ノ丸）着工前

写真214　学習施設工道標Ｂ①（二ノ丸）完成

写真215　学習施設工道標Ｂ②（一ノ丸）着工前

写真216　学習施設工道標Ｂ②（一ノ丸）完成

写真217　学習施設工道標Ａ（三ノ丸）着工前

写真218　学習施設工道標Ａ（三ノ丸）完成

写真219　学習施設工説明板（三ノ丸）着工前

写真220　学習施設工説明板（三ノ丸）完成

写真221　撤去工伐木作業状況

写真222　撤去工伐木作業状況

写真223　学習施設工説明板（二ノ丸）床掘状況

写真224　学習施設工道標Ｂ①（二ノ丸）床掘状況

写真225　学習施設工道標Ｂ②（一ノ丸）床掘状況

写真226　学習施設工道標Ａ（三ノ丸）床掘状況

写真227　学習施設工道標Ｂ①(二ノ丸)基礎ブロック設置状況

写真228　学習施設工説明板(二ノ丸)基礎ブロック設置状況

写真229　学習施設工道標Ｂ②(一ノ丸)基礎ブロック設置状況

写真230　学習施設工道標Ｂ②（一ノ丸）設置状況

写真231　学習施設工道標Ａ（三ノ丸）案内板取付状況

写真232　学習施設工説明板（二ノ丸）設置状況

写真233　学習施設工説明板着工前

写真234　学習施設工説明板完成

写真235　学習施設工道標着工前

写真236　学習施設工道標完成

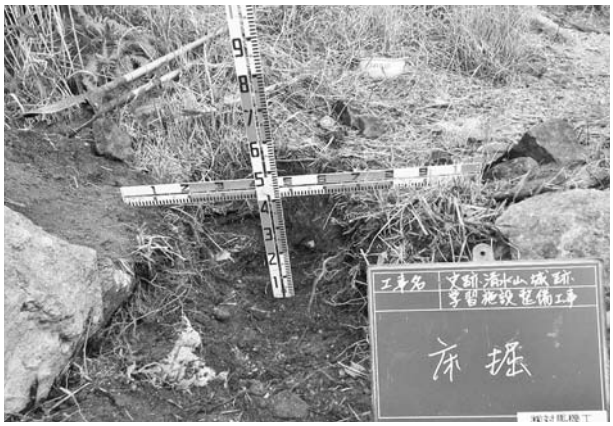


写真237　学習施設工説明板床掘状況

写真238　学習施設工説明板作業状況

写真239　学習施設工道標作業状況

写真240　学習施設工道標作業状況

写真241　園路工枕木階段着工前

写真242　園路工枕木階段完成

写真243　園路工枕木階段着工前

写真244　園路工枕木階段完成

写真245　園路工枕木階段枕木据え置き

写真246　園路工枕木階段アンカー打ち込み

写真247　園路工枕木階段枕木・アンカー

写真248　園路工城内道整備着工前

写真249　園路工城内道整備完成

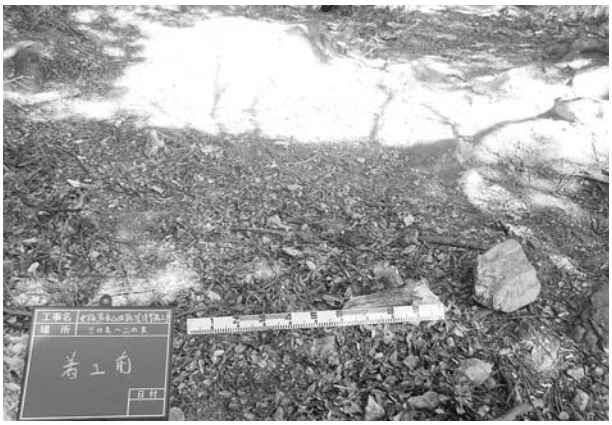


写真250　園路工城内道整備着工前

写真251　園路工城内道整備完成

写真252　園路工城内道整備不陸整正

写真253　園路工城内道整備転圧

写真254　園路工城内道整備スーパーガンコマサ敷き均し

写真255　園路工城内道整備スーパーガンコマサコテ仕上げ

写真256　園路工城内道整備スーパーガンコマサコテ散水締め固め

写真257　着工前（撤去工・学習施設工・園路工）

写真258　着工前（園路工）

写真259　撤去工伐木作業状況

写真260　撤去工既存案内板撤去作業状況

写真261　撤去工既存案内板撤去作業状況（基礎撤去）

写真262　学習施設工案内説明板床掘状況

写真263　学習施設工案内説明板基礎砕石敷設状況

写真264　学習施設工案内説明板均しコンクリート設置状況

写真265　学習施設工案内説明板基礎ブロック設置作業状況

写真266　学習施設工案内説明板基礎ブロック設置状況

写真267　学習施設工案内説明板基礎ブロック埋設作業状況

写真268　学習施設工案内説明板設置作業状況

写真269　園路工枕木階段設置作業状況

写真270　園路工真砂土舗装スーパーガンコマサ施工状況

写真271　園路工完成

写真272　撤去工・学習施設工・園路工完成

写真273　一ノ丸南東側虎口（外）

写真274　一ノ丸南東側虎口（内）

写真275　一ノ丸北西側虎口

写真276　二ノ丸南東側城壁

写真277　二ノ丸南東側虎口

写真278　水の手一帯

写真279　三ノ丸南側虎口

写真280　三ノ丸平坦部

報告書抄録

ふりがな	しみずやまじょうあと
書名	清水山城跡
副書名	清水山城跡保存整備事業報告書
巻次	
シリーズ名	対馬市文化財調査報告書
シリーズ番号	第３集
編著者名	尾上博一
編集機関	対馬市教育委員会
所在地	〒817-0322　長崎県対馬市美津島町雞知甲1287番地１　電話0920-54-2341
発行年月日	西暦2018年３月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	整備期間	整備面積 ㎡	整備原因
		市町村	遺跡番号					
清水山城跡 しみずやまじょうあと	長崎県 ナガサキケン 対馬市 ツシマシ 厳原町 イズハラマチ 西里 ニシザト 字白川 アザシラカワ 字清水山下 アザシミズヤマシタ 字金石 アザカネイシ	42441		34°12′31″ ～ 34°12′17″	139°36′47″ ～ 139°36′24″	平成９年度 ～ 平成29年度	87,200.00	史跡整備

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
清水山城跡	城館跡	近世	石垣		史跡

対馬市文化財整備報告書　第３集

清水山城跡

清水山城跡保存整備事業報告書

平成30年３月31日

編集・発行　対馬市教育委員会
〒817-0322　長崎県対馬市美津島町雞知甲1287番地１
Tel 0920－54－2341　Fax 0920－54－4046

印　　刷　株式会社　昭和堂
〒854-0036　長崎県諫早市長野町1007－２
Tel 0957－22－6000　Fax 0957－27－0003

PDF 作成：平成30(2018)年３月20日　株式会社　昭和堂